

令和8年度

防災情報ネットワーク事業

北上地域防災情報システム等保守点検業務

特別仕様書

東北農政局

北上土地改良調査管理事務所

第1章 総則

(適用範囲)

第1-1条 令和8年度防災情報ネットワーク事業 北上地域防災情報システム等保守点検業務（以下「本業務」という。）の施行に当たっては、農林水産省農村振興局制定「電気通信設備点検業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）に基づき実施するほか、共通仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目的)

第1-2条 本業務は、防災情報ネットワーク事業に基づき設置したデータ転送設備、Webカメラ及び地震観測機器の保守点検、ウイルス対策ソフトのインストール等を行い、国営造成土地改良施設の安定した防災情報の収集、伝達及び蓄積の維持を図るものである。

(場所)

第1-3条 本業務において対象とする施設は以下のとおりであり、別添「位置図」に示すとおりである。

番号	地区名	施設名	住所
①	馬淵川沿岸地区	大志田ダム	岩手県二戸郡一戸町大字宇別字道白地先
②	雫石川沿岸地区	煙山ダム	岩手県紫波郡矢巾町煙山地先
③	山王海地区	山王海ダム※1	岩手県紫波郡紫波町土館
④	山王海地区	葛丸ダム	岩手県花巻市石鳥谷町大瀬川地先
⑤	岩手山麓地区	岩洞ダム	岩手県盛岡市藪川字外山地先
⑥	藤沢地区	相川ダム※2	宮城県登米市東和町錦織字八森山山沢(左岸)
⑦	藤沢地区	千松ダム	岩手県一関市藤沢町大籠字大籠(左岸)
⑧	迫川上流地区	荒砥沢ダム※1	宮城県栗原市栗駒文字荒砥沢地先
⑨	迫川上流地区	小田ダム※1	宮城県栗原市一迫字長崎不動
⑩	迫川上流地区	一の堰頭首工 ※1	宮城県栗原市栗駒文字天神
⑪	大崎地区	岩堂沢ダム※1	宮城県大崎市鳴子温泉字奥羽岳地内
⑫	鳴瀬川地区	二ツ石ダム	宮城県加美郡加美町宮崎字北
⑬	中田地区	糠塚排水機場 ※1	宮城県登米市中田町石森
⑭	旧迫川地区	南方揚水機場 ※1	宮城県登米市米山町中津山

太字ゴシック体は地震計点検対象施設

※1：6ヶ月点検のみ（転送サーバ、入出力インターフェース）

※2：ウイルス対策ソフトインストール対象

(作業概要)

第1-4条 本業務における作業概要は以下のとおりである。

- (1) データ転送設備等保守点検作業 14 施設
- (2) 地震観測機器点検作業 2 施設
(荒砥沢ダム、小田ダム)
- (3) ウイルス対策ソフトインストール 1 施設
(相川ダム)

(施設内への立ち入り)

第1-5条 施設内への立ち入りに当たっては、施設管理者等との調整が必要なため、事前に監督職員へ使用する範囲、期間がわかる資料(工程表等)を提出するものとする。

(第三者に対する措置)

第1-6条 既設構造物及び第三者に損害を与えた場合は、受注者の責任において処理するものとする。

(一般事項)

第1-7条 業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は下記のとおりである。

- (1) 本業務の施行に当たっては、関係する諸基準を遵守し点検項目に対して耐久性及び安全性を確認するものとする。
- (2) 作業は原則として施設管理者の勤務時間内に実施するものとする。
- (3) 施設管理者の勤務時間外に点検を必要とする場合は、あらかじめ監督職員の承諾を得るものとする。
- (4) 保守点検のため巡回を開始するときには、あらかじめ監督職員に連絡するものとする。
- (5) 保守点検に必要な測定器、工具等は常に携帯するものとする。
- (6) 屋外の点検対象設備は、川沿い及び山岳へき地にあるため、点検時の気象はもちろん中長期予報にも十分留意するものとする。
- (7) 点検する機器以外の設備については、常にその構造、状態及び取り合い接点等を考慮し作業を実施するものとする。

第2章 作業条件

(作業条件)

第2-1条 本業務の実施に当たっては、以下の事項に留意して作業を進めるものとする。

- (1) 作業の実施に当たっては、事前に作業方法及び具体的な工程計画を立案し、監督職員と十分打合せを行い手戻りのないよう留意しなければならない。
- (2) 既設構造物及び第三者に損害を与えた場合は、受注者の責任において処理しなければならない。
- (3) 現地作業に伴い、除雪等が必要となった場合は監督職員と協議するものとする。

- (4) カメラ等の点検に関する仮設は計上していないが、必要になった場合は監督職員と協議するものとする。
- (5) 点検結果に基づき主要な機器等の交換が必要と判断される場合は、監督職員に報告するものとする。
- (6) 不具合が発生した機器の交換作業を行う場合は、受注者において原因等を報告し、発注者から指示を受けるものとする。
- (7) 撤去材が発生した場合は、廃棄物処理法に基づく適正な処分を行うものとする。

(対象施設及び機器)

第2-2条 本業務の対象施設は、別紙1【対象施設(データ転送設備等一覧表)】、別紙2【対象施設(地震観測機器一覧表)】及び別紙5-1から別紙5-14までのとおりである。

(参考図書)

第2-3条 本業務で参考とする図書は、次のとおりである。

番号	名 称	発行所	制定(改定)年月
1	農業水利施設の機能保全の手引き「水管理制御設備」	農林水産省農村振興局整備部設計課	平成25年5月
2	農業水利施設の機能保全の手引き「電気設備」	農林水産省農村振興局整備部設計課	平成25年5月
3	基幹水利施設指導・点検・整備マニュアル(ダム編)	農林水産省構造改善局	平成7年1月

(貸与資料)

第2-4条 本業務に係る貸与資料は次のとおりである。

名 称	数量
平成25年度 国営造成土地改良施設防災情報ネットワーク事業 山王海地区ほか防災情報機器製作据付工事	1式
平成27年度 国営造成土地改良施設防災情報ネットワーク事業 猿ヶ石用水地区ほか防災情報機器製作据付工事	1式
令和元年度 国営造成土地改良施設防災情報ネットワーク事業 迫川上流地区他防災情報機器製作据付工事	1式
令和元年度 国営造成土地改良施設防災情報ネットワーク事業 山王海地区他転送サーバ更新等工事	1式
令和元年度 国営造成土地改良施設防災情報ネットワーク事業 馬淵川沿岸地区他防災情報機器製作据付工事	1式
令和3年度 国営造成土地改良施設防災情報ネットワーク事業 山王海地区転送サーバ他整備工事	1式

名 称	数量
令和4年度 国営造成土地改良施設防災情報ネットワーク事業 迫川上流地区荒砥沢ダム他地震計保守点検業務	1 式
令和5年度 国営造成土地改良施設防災情報ネットワーク事業 大崎地区岩堂沢ダム防災情報機器製作据付工事	1 式
令和5年度 国営造成土地改良施設防災情報ネットワーク事業 迫川上流地区小田ダム他地震計保守点検業務	1 式
令和6年度 国営造成土地改良施設防災情報ネットワーク事業 鳴瀬川地区二ツ石ダム防災情報機器製作据付工事	1 式
令和6年度 国営造成土地改良施設防災情報ネットワーク事業 山王海地区山王海ダム他地震計保守点検業務	1 式
令和7年度 国営造成土地改良施設防災情報ネットワーク事業 北上地域防災情報システム等保守点検業務	1 式
ウイルス対策ソフト (CD)	1 枚

(参考図書及び貸与資料の取扱い)

第2-5条 第2-3条、第2-4条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 参考図書は、点検作業時点の最新版を使用するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

第3章 作業内容

(作業項目及び数量)

第3-1条 本業務における作業項目及び数量は、次のとおりであり、詳細は別紙3【作業項目内訳表】による。

作業項目

作 業 項 目	施設数	備 考
1. データ転送設備等保守点検作業	14 施設	
2. 地震観測機器点検作業	2 施設	荒砥沢ダム、小田ダム

3. ウイルス対策ソフトインストール	1 施設	相川ダム
--------------------	------	------

(点検作業)

第3-2条 本業務の実施に当たっては、次のとおりとする。

- (1) 作業着手前に業務計画書を作成し初回打合せの際に提出するものとする。
- (2) 点検の日程については、監督職員と調整を行うものとする。
- (3) 点検に要する計測機器及び工具類(付属品を除く)は、受注者が準備するものとする。
- (4) 施設に備え付けの付属品を使用する場合は、予め施設管理者の了解を得るものとする。
- (5) 受注者は、点検作業実施に当たり、安全の確保に努めるものとする。

第4章 提出書類

(提出書類)

第4-1条 共通仕様書第1-8条に示す提出書類は、A4版の装丁とし、監督職員が指定する日までに次に示す部数(承諾後の返却分を含む)を作成し、監督職員に提出するものとする。

業務計画書 2部

また、提出書類に変更が生じた場合はその都度変更書類を提出するものとする。

(点検結果の報告)

第4-2条 本業務に係る点検結果の報告は、次のとおりとする。

(1) データ転送設備等保守点検結果

点検結果の記録簿様式は、事前に監督職員の承諾を得るものとし、6ヶ月点検結果は概ね7月末、12ヶ月点検結果は概ね翌年1月末までに報告するものとする。

(2) 地震観測機器点検結果

点検結果の報告書は、別紙7【地震観測機器点検結果表】に取りまとめ、概ね翌年1月末までに報告するものとする。

第5章 保守点検

(点検に伴う仮設、試験機器、雑品等)

第5-1条 以下の事項については、本業務に含むものとする。

- (1) 点検のための小規模な排水
- (2) 点検用具、計測試験機器の持ち込み
- (3) 点検のための軽微な小材料類
- (4) その他、上記に示すもの以外の雑品及び雑機材

(点検結果)

第5-2条 点検結果については速やかに取りまとめを行い、監督職員へ提出すること。また、点検結果に問題があった場合、原因及び対策、補修方法、概算金額について取りまとめ、監督職員と今後の補修計画について打合せを行うものとする。

(作業の一時中断等)

第5-3条 大雨・洪水等の自然状況や貯水状況等により発注者が作業の一時中断等を指示したときは、受注者はこれに応じなければならない。

第6章 点検管理

(点検管理)

第6-1条 本業務の施工管理は、施設機械工事等施工管理基準によるものとし、同基準に記載のない機器については、対象設備の完成図書及びメーカー取扱説明書によるものとする。

なお、これらに定められていない事項については、関連協会もしくは受注者独自の管理基準を使用する。ただし、独自の管理基準による場合はあらかじめ監督職員の承諾を得なければならない。

第7章 打合せ

(打合せ)

第7-1条 打合せは、次の段階で行うものとする。

- | | |
|-----|---------------------------|
| 初 回 | 作業着手の段階 |
| 第2回 | 6ヶ月点検結果取りまとめ段階 |
| 第3回 | 12ヶ月点検結果及び地震観測機器点検取りまとめ段階 |
| 最終回 | 報告書原稿作成段階 |

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

第8章 成果物

(成果物)

第8-1条 成果物を共通仕様書第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- (1) 成果物の電子媒体(CD-R等) 2部
- (2) 成果物の出力 1部(電子媒体の出力、市販のファイル綴りで可)

(成果物の提出先)

第8-2条 成果物の提出先は、次のとおりとする。

岩手県盛岡市内丸7-25 (盛岡合同庁舎3階)

東北農政局 北上土地改良調査管理事務所

第9章 契約変更

(契約変更の補足説明)

第9-1条 業務請負契約書第2条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第2-1条に示す「作業条件」に変更が生じた場合。
- (2) 第2-2条に示す「対象施設及び機器」に変更が生じた場合。
- (3) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- (4) 第7-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- (5) 第8-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- (6) 突発的な故障等への対応について監督職員が指示した場合。
- (7) 点検結果により機器の修理や部品交換等を追加する場合。
- (8) 履行期限の変更が生じた場合。
- (9) その他両者協議の上必要と認めたもの。

(業務スライドの試行)

第9-2条

- (1) 本業務は、「建設コンサルタント業務等における賃金等の変動に基づく業務費の変更の取扱いについて(試行)」(令和7年12月17日付け7農振第2167号農村振興局整備部設計課長通知)に基づく試行業務である。
- (2) 発注者又は受注者は、履行期間内で業務契約締結の日から12月を経過した後に日本国内における賃金水準又は物価水準の変動により業務費が不相当となったと認めたときは、相手方に対して業務費の変更を請求することができる。
- (3) 発注者又は受注者は、(2)の規定による請求があったときは、変動前残業務費(業務費から当該請求時の履行済部分に相応する業務費を控除した額をいう。以下この条において同じ。)と変動後残業務費(変動後の賃金又は物価を基礎として算出した変動前残業務費に相応する額をいう。以下この条において同じ。)との差額のうち変動前残業務費の1000分の15を超える額につき、業務費の変更に応じなければならない。
- (4) 変動前残業務費及び変動後残業務費は、請求のあった日を基準とし、物価指数等に基づき発注者と受注者とが協議して定める。ただし、協議開始の日から14日以内に協議が整わない場合にあつては、発注者が定め、受注者に通知する。
- (5) (2)の規定による請求は、この条の規定により業務費の変更を行った後再度行うことができる。この場合において、(2)中「業務契約締結の日」とあるのは、「直前のこの条に基づく業務費変更の基準とした日」とするものとする。

- (6) 予期することのできない特別の事情により、履行期間内に日本国内において急激なインフレーション又はデフレーションを生じ、業務費が著しく不適當となったときは、発注者又は受注者は、(2)～(5)の定めにかかわらず、業務費の変更を請求することができる。
- (7) (6)の場合において、業務費の変更額については、発注者と受注者とが協議して定める。ただし、協議開始の日から14日以内に協議が整わない場合にあつては、発注者が定め、受注者に通知する。
- (8) (4)及び(7)の協議開始の日については、発注者が受注者の意見を聴いて定め、受注者に通知しなければならない。ただし、発注者が(2)、(6)の請求を行った日又は受けた日から7日以内に協議開始の日を通知しない場合には、受注者は、協議開始の日を定め、発注者に通知することができる。
- (9) 業務スライドの試行に係る運用については、(1)に記載の通知に基づくものとする。

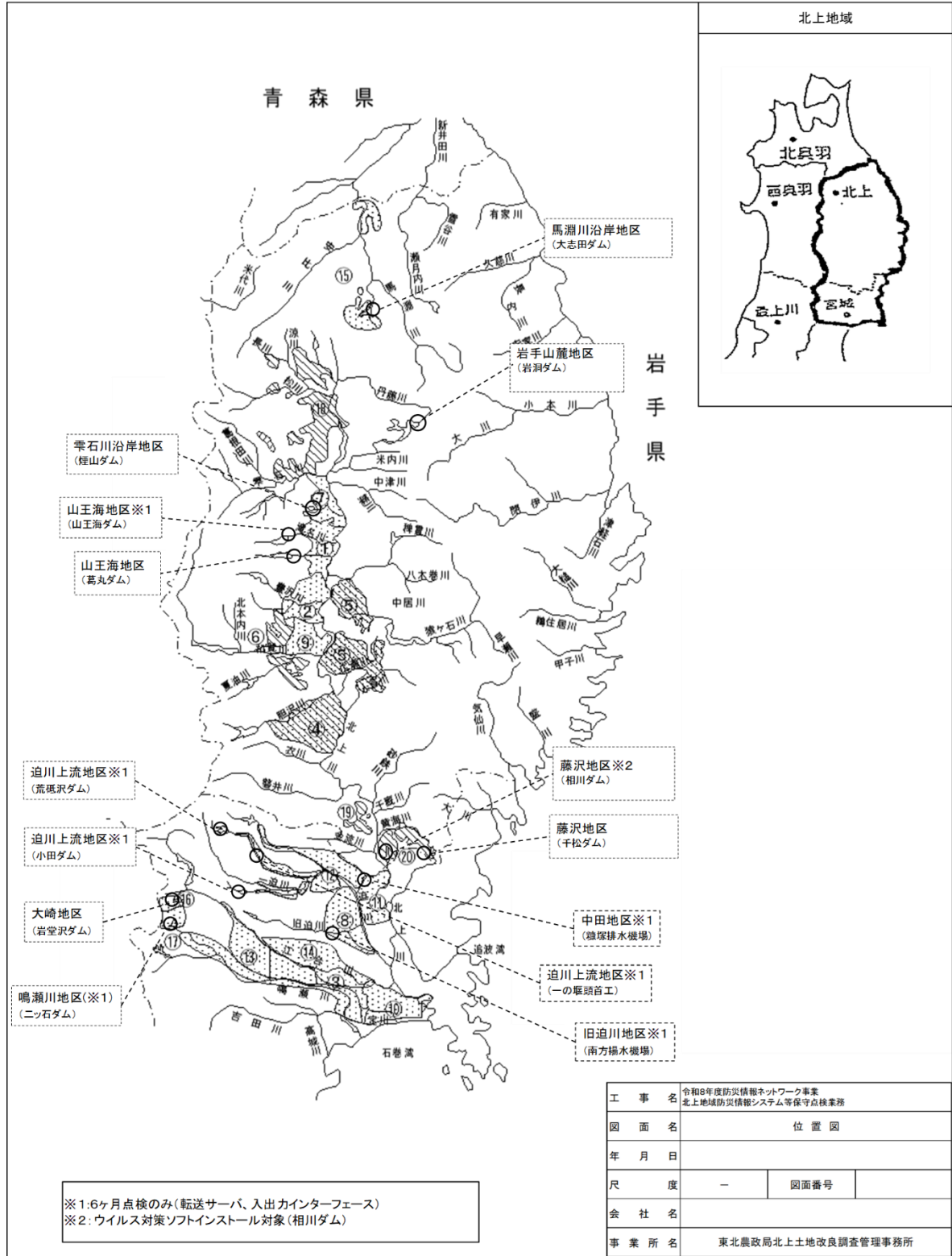
第10章 定めなき事項

(定めなき事項)

第10-1条 この仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

防災情報ネットワーク事業
北上地域防災情報システム等保守点検業務

位置図



地区名・施設名		データ転送設備等												
		端末装置 (転送サーバー)		入出力インター フェイス装置		無停電電源装置 汎用小容量 UPS20KVA以下		端末装置 (LANプリンジ)		積算電力計盤		カメラ装置		通信機器収納盤 (Webカメラ別)
		6ヶ月 点検	12ヶ月 点検	6ヶ月 点検	12ヶ月 点検	12ヶ月 点検	12ヶ月 点検	12ヶ月 点検	12ヶ月 点検	12ヶ月 点検	12ヶ月 点検	12ヶ月 点検	12ヶ月 点検	12ヶ月 点検
馬淵川沿岸	大志田ダム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	煙山ダム	1	1	1	1	2	1	1	1	1	3	1	1	1
山王海	山王海ダム	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	葛丸ダム	—	—	—	—	2	1	1	1	2	—	—	—	—
	岩手山麓	1	1	1	1	1	1	1	1	—	—	—	—	—
	相川ダム	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1
藤沢	千松ダム	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1
	荒砥沢ダム	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
迫川上流	小田ダム	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	一の堰頭首工	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大崎	岩堂沢ダム	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	二ツ石ダム	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1
中田	糠塚排水機場	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	旧迫川	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	14	13	6	11	6	9	7	7	7	12	4	4	4	4

【対象施設（地震観測機器一覧表）】

別紙 2

1. 迫川上流地区 荒砥沢ダム

品名	規格	単位	予定数量	備考
地震検出器	完全防水型 電磁フィードバック方式	台	3	
耐雷器	ラック実装形 F B アンプ A/D変換器含む	台	6	対象地震検出器6台
収録装置	ラック実装形	台	1	対象地震検出器6台
入力中継端子台	40P	台	3	JIS C2811 工業用端子台
接点出力ユニット	ユニット型	台	1	
地震データ 処理装置	液晶ディスプレイ F A パソコン プリンタ	式	1	専用ソフト及び時刻校正 ソフト、データ転送ソフト を含む
G P S アンテナ		基	1	
A C 電源装置	2 極接地線付 コンセント4口出力	台	1	
無停電電源装置	1KVA	台	1	
スイッチングハブ	8ポート	台	1	

2. 迫川上流地区 小田ダム

品名	規格	単位	予定数量	備考
地震検出器	防水型 フォースバランスサーボ 型	台	2	・堤体天端 ・監査廊
収録装置	ラック実装形 対雷器 FB アンプ A/D 変換器 接点ユニット含む	台	1	対象地震検出器 2 台
G P S アンテナ		基	1	
無停電電源装置	2 KVA	台	1	
停電補償用電池 (SM-27 用)		個	1	

1. データ転送設備等保守点検作業

作業項目	作業内容	作業実施欄
1. 作業計画	点検実施計画を作成する。	○
2. 点検作業 (データ転送設備等)	点検対象のデータ転送設備等について、別紙4【保守点検表(データ転送設備等)】に基づき点検作業を行うものとし、作業状況を写真により記録・整理する。	○
3. 技術的所見 とりまとめ	点検結果から技術的所見を報告書に取りまとめる。	○

2. 地震観測機器点検作業

作業項目	作業内容	作業実施欄
1. 業務計画	点検実施計画を作成する。	○
2. 点検作業 (地震観測機器)	点検対象の地震観測機器について、別紙6【地震観測機器点検対象施設図面】及び別紙7【地震観測機器点検結果表】に基づき点検作業を行うものとし、作業状況を写真により記録・整理する。	○
3. 技術的所見 とりまとめ	点検結果から技術的所見を報告書に取りまとめる。	○

3. ウイルス対策ソフトインストール

作業項目	作業内容	作業実施欄
1. ウイルス対策ソフトインストール	ウイルス対策ソフトをインストールする。 【対象：相川ダム】	○

【保守点検表（データ転送設備等）】

端末装置(転送サーバー)

点検項目		点検時期		備考
		6ヶ月	12ヶ月	
1. 電圧等の確認	チェック端子等により各部の電圧を確認する		○	対象外
2. 電池の交換				
3. ハードディスクの確認	稼働時間、不良セクタの有無を確認する		○	
4. 動作確認	アプリケーションプログラムを動作させ、表示、キーボード入力、マウスの動作、LANによるデータの送受信機能等、総合動作を確認する		○	
5. 接続部の確認	コネクタ、プラグライン等の緩み及びヒューズの緩みを確認する		○	
6. インタフ(Windows付属機能)の確認	OS機能のイベントログ(システム及びアプリケーション)を確認し、ハード異常やOS異常の兆候や発生を示すログが無いことを確認する		○	
7. 機械本体の清掃等				
筐体内部の点検等			○	
ファンの点検等	ファンの点検及び清掃をする		○	
F/Dドライブヘッドクリーニング	光学ドライブのクリーニングをする		○	
ディスプレイ部清掃	ディスプレイ部の清掃をする		○	
ディスプレイ画面清掃	ディスプレイ画面の清掃を行う		○	
キーボードの点検等	キーボードの点検及び清掃をする		○	
マウスの点検等	マウスの点検及び清掃をする		○	
異常音等の確認	異常音、異常温度の確認をする		○	
ランプの確認	ランプの点灯状態の確認をする		○	
摩耗部品の交換				対象外
機器据付確認	据付状態を確認をする		○	
1. CPU使用率の点検				
情報処理、サーバー等	処理装置、サーバー等の点検をする	○	○	
端末処理装置(PC、WS)		○	○	
2. ネットワークの点検	インターネットへの接続状況を確認する	○	○	
3. メモリー使用量の点検				
情報処理、サーバー等	処理装置、サーバーの点検をする		○	
端末処理装置(PC、WS)			○	
4. 予備品等の確認	予備品類の保管状態・数量等の確認をする		○	

入出力インタフェース装置

点検項目		点検時期		備考
		6ヶ月	12ヶ月	
1. 電圧等の測定	チェック端子等により各部の電圧確認 電圧等を確認する	○	○	
2. 伝送レベル測定			○	
3. 接続部の点検	接続部を点検する		○	
4. 機器本体の点検				
機器外面の清掃	機器外面を清掃する		○	
機器内部の清掃	機器内部を清掃する		○	
ファンの動作確認				対象外
エアフィルタ・ファンの清掃				対象外
機器据付状態の確認	機器据付状態の確認		○	

無停電電源装置

点検項目	作業内容	点検時期		備考
		6ヶ月	12ヶ月	
1. 表示の確認	ディスプレイ等の表示状態を確認する			対象外
2. 蓄電池の確認	蓄電池交換推奨時期を確認する		○	
3. ファンの確認	ファンの動作を確認する		○	
4. 機器本体の清掃等	機器本体の外面の清掃及び機器取付け状態を確認する		○	
5. 図書類・予備品等の確認	図書類が整理・保管されていることを確認する 予備品類の保管状態・数量等を確認する		○	

端末装置(LAN[ブリッジ・ルーター])

点検項目	作業内容	点検時期		備考
		6ヶ月	12ヶ月	
1. 電池の交換				対象外
2. 接続部の確認	接続部を確認をする		○	
3. 機器本体の清掃等				
機器清掃	機器を清掃する		○	
ファン・フィルターの清掃				対象外
機器据付確認	機器据付を確認する		○	

積算電力盤

対象施設：

点検項目	作業内容	点検時期		備考
		6ヶ月	12ヶ月	
1. 電圧等の確認	電圧等を確認する		○	
2. 復電起動用タイマの動作確認				対象外
3. 接続部の確認	接続部を確認する		○	
4. 機器本体の清掃等	機器本体の清掃等をする		○	

カメラ設備(カメラ装置・機側装置)

点検項目	作業内容	点検時期		備考
		6ヶ月	12ヶ月	
1. 外観の確認	ポール・据付架台を含む機器全体の塗装、錆、ボルト類の緩みを確認する		○	
2. 電源電圧等の確認	電源電圧等を確認する		○	
3. カメラ装置の確認		/	/	
ワイパの確認				対象外
カメラケースの確認	ガラス面の異物付着の確認及び撤去、清掃をする		○	
回転装置の確認	上・下・左・右の動作がスムーズに行えること及び回転動作時の異常音の有無を確認する		○	
接続部の確認	ケーブル破損、端末処理の不具合、接栓の緩み、ネジの締め付け等を確認する		○	
機器本体の清掃等	機器本体の取付状態の確認及び清掃を行う		○	
4. 機側装置の確認		/	/	
避雷器の確認	避雷器を確認する		○	
接続部の確認	ケーブル破損、端末処理の不具合、接栓の緩み、ネジの締め付け等を確認する		○	
機器本体の清掃等	機器本体の取付状態の確認及び清掃をする		○	
5. 図書類・予備品等の確認		/	/	
図書類の確認	図書類が整理・保管されていることを確認する		○	
予備品の確認	予備品類の保管状態・数量等を確認する(カメラ装置を含む)		○	

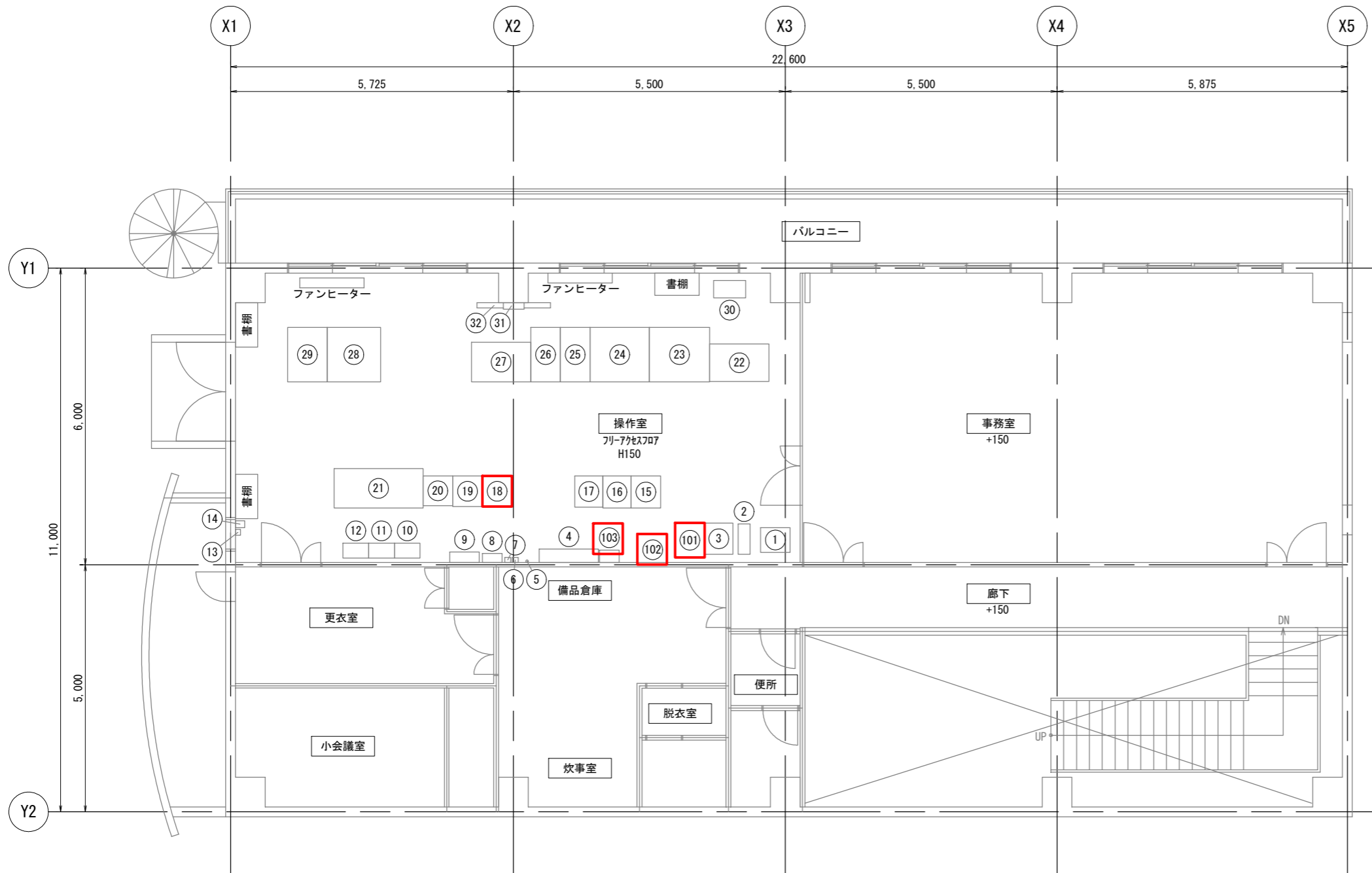
通信機器収納盤

点検項目	作業内容	点検時期		備考
		6ヶ月	12ヶ月	
1. 接続部の点検	接続部を点検する		○	
2. 機器本体の点検		/	/	
機器外面の清掃	機器外面を清掃する		○	
機器内部の清掃	機器内面を清掃する		○	
機器据付状態の確認	機器据付状態を確認する		○	

馬淵川沿岸地区（大志田ダム） 機器配置図

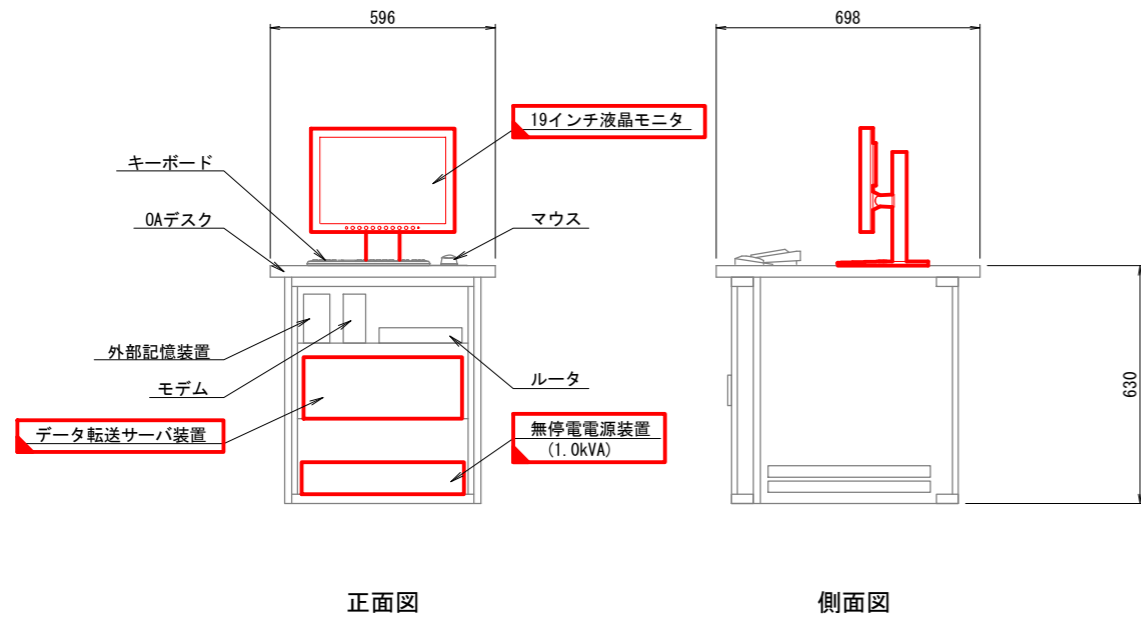
S=1:50

別紙 5 - 1 点検対象施設図面
馬淵川沿岸地区 大志田ダム (1/2)

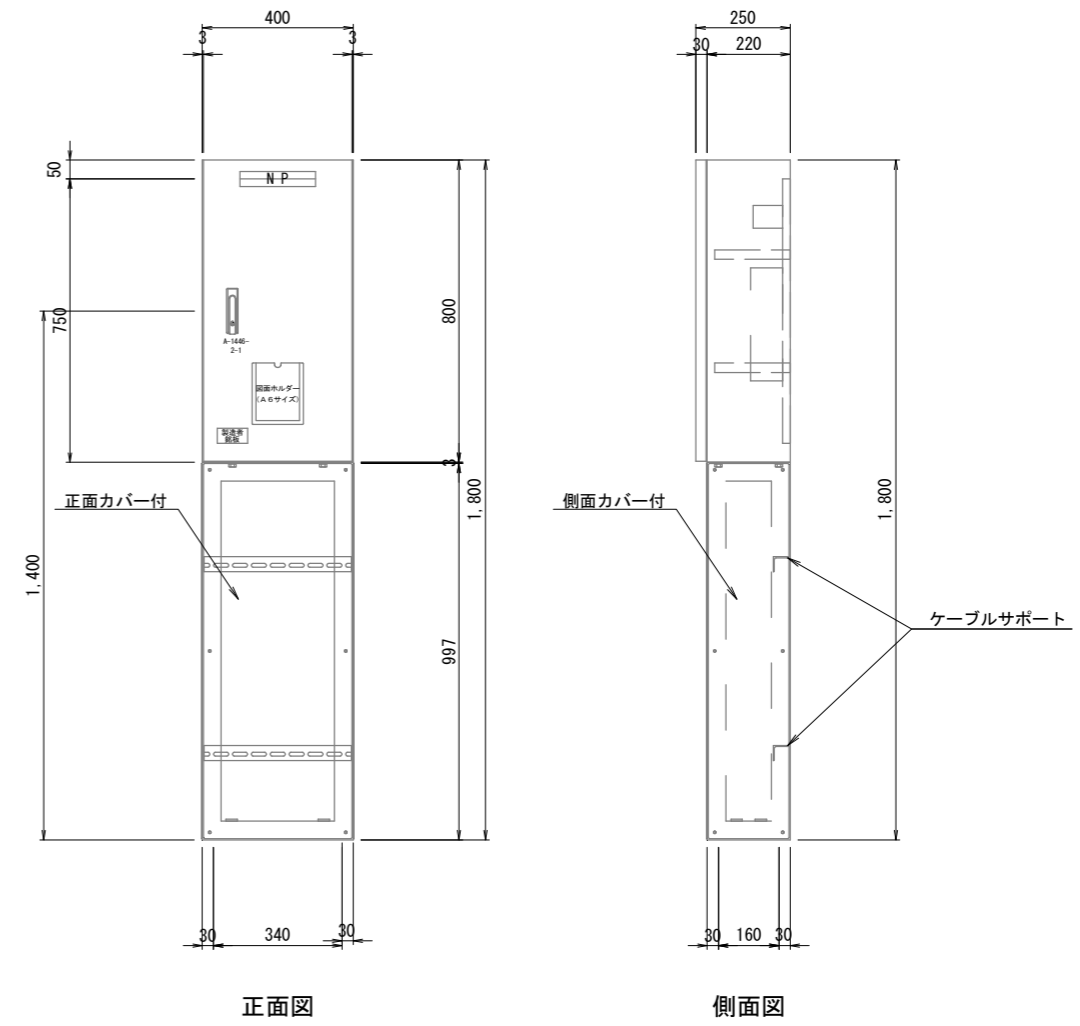


No.	機器名称	W×D×H	備考
①	耐雷変圧器 20KVA	600×500×800	既設
②	無停電電源装置	245×615×580	既設
③	副水位計測装置	570×630×820	既設
④	安定器収納盤	1200×270×2720	既設
⑤	同軸避雷器	φ50×770	既設
⑥	ライトランス	120×100×150	既設
⑦	ライトランス	120×100×150	既設
⑧	回転灯制御盤	400×180×300(下空1000)	既設
⑨	サイレン制御盤	600×210×800(下空1000)	既設
⑩	テレメータ監視装置	520×300×2350	既設
⑪	放流警報制御監視装置	520×300×2350	既設
⑫	警報装置	520×300×2350	既設
⑬	同軸避雷器70MHz帯	—	既設
⑭	70MHz帯妨害除去フィルタ	205×250×1200	既設
⑮	分電盤	600×650×1990	既設
⑯	堤体・地震観測装置	570×650×1990	既設
⑰	気象観測装置	570×630×1990	既設
⑱	入出力処理装置 I	600×620×2050	既設
⑲	入出力中継装置	600×620×2050	既設
⑳	遠方監視制御装置(子局)	600×600×2350	既設
㉑	OAデスク(プリンタ)(ディスプレイ)	1800×800×700	既設
㉒	堤体・地震観測データ処理装置	1200×760×700	既設
㉓	データ処理装置	1220×1100×700	既設
㉔	ガイダンス用端末装置	1200×1100×700	既設
㉕	ディスプレイ制御装置	600×1100×700	既設
㉖	CCTV操作器	600×1100×700	既設
㉗	発電設備表示器、警報通報表示器	1200×800×700	既設
㉘	放流警報操作卓	1080×1100×1100	既設
㉙	馬淵川沿岸農業用水利施設表示端末装置	800×1100×700	既設
㉚	メディアコンバータ収納箱	300×650×600	既設
㉛	電波時計	420×130×309	既設
㉜	プラズマディスプレイ	1490×107×766	既設
⑩①	防災情報NW装置	600×700×630	既設
⑩②	入出力 I / F 装置盤	400×250×800(下空1000)	既設
⑩③	積算電力計盤	400×250×800(下空1000)	既設

防災情報NW装置 外形図



入出力 I/F 装置盤 外形図

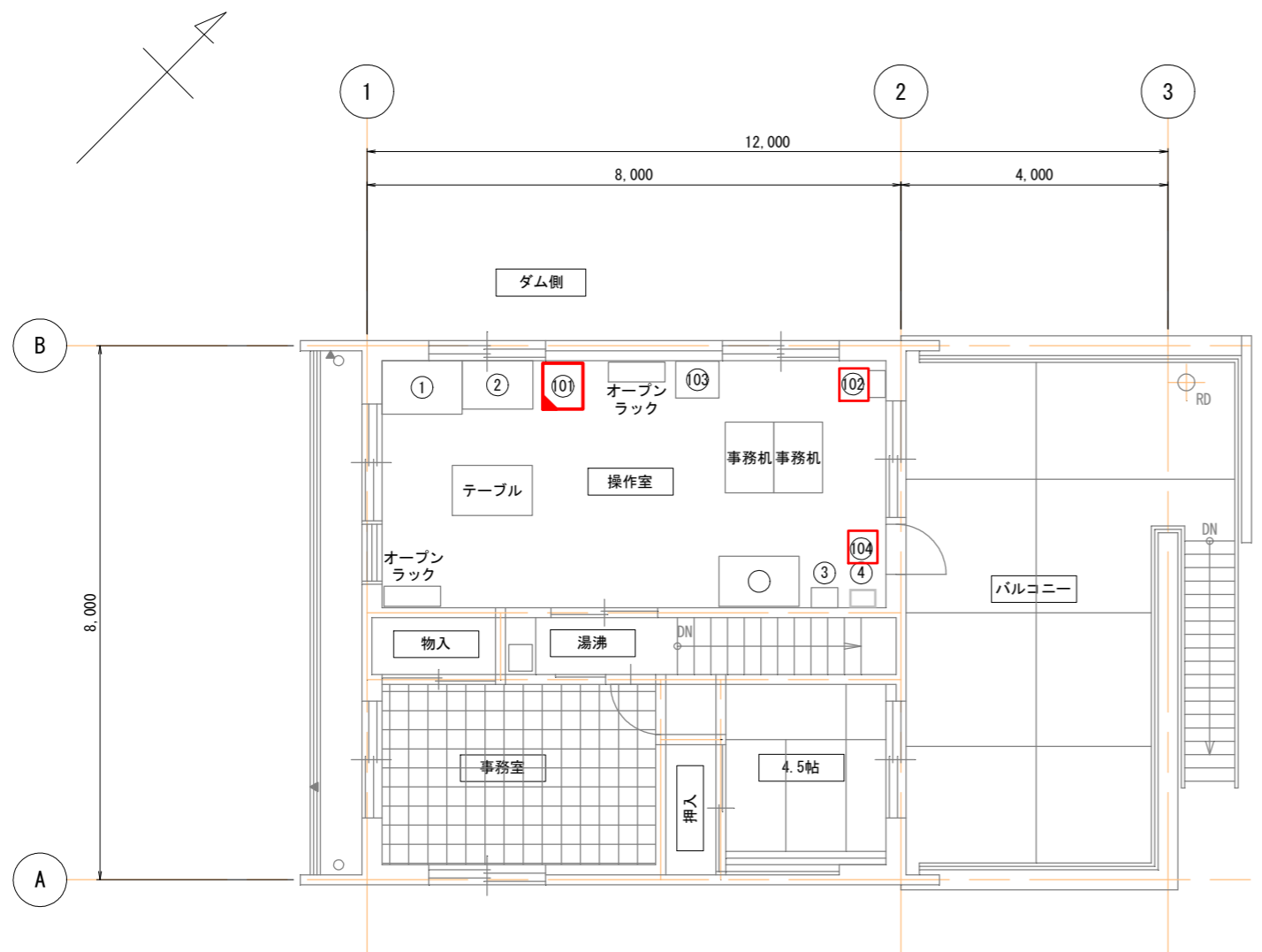


※盤内に PLC を収納

雫石川沿岸地区（煙山ダム） 機器配置図

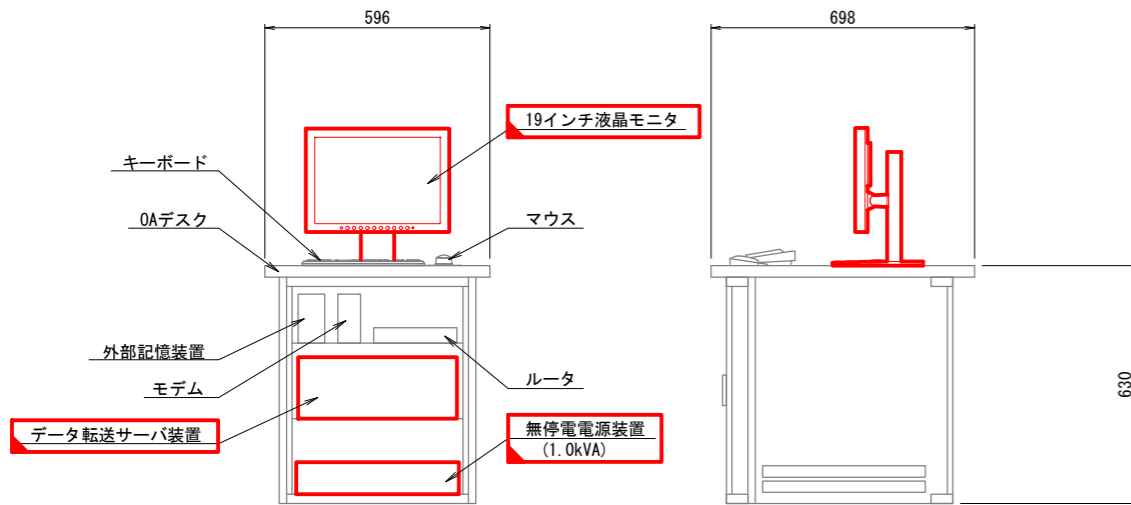
S=1:50

別紙5-2 点検対象対象施設図面
雫石川沿岸地区 煙山ダム(1/3)

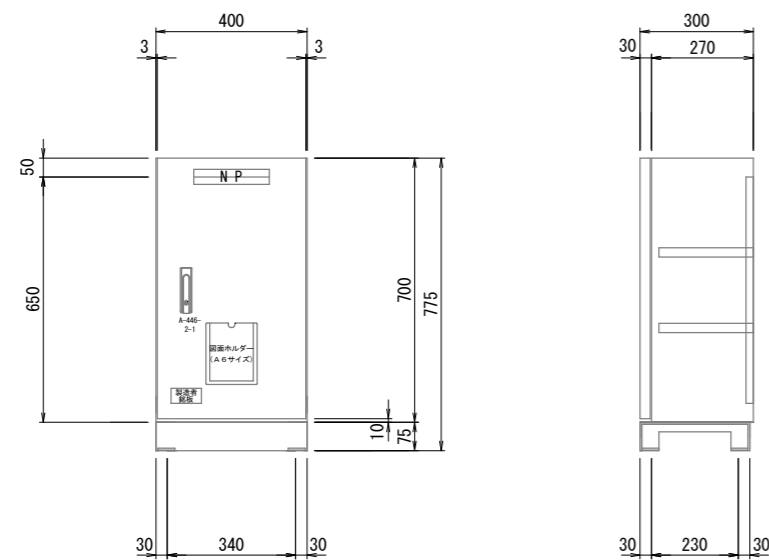


No.	機器名称	W×D×H	備考
①	スチール卓（無線装置等）	1200×800×700	既設
②	木製卓	1060×725×740	既設
③	フィールドサーバ収納盤	400×300×600（下空1455）	既設
④	計装盤	700×300×1200（下空855）	改造
⑤	スチール卓（PC、CRT）	1200×750×700	既設
⑩1	防災情報NW装置	600×700×640	更新
⑩2	積算電力計収納箱	400×250×800（下1000）	既設
⑩3	無停電電源装置（70Wカメラ用）	400×300×600	既設
⑩4	分配器収納盤		更新

防災情報NW装置 外形図



分配器収納盤 外形図

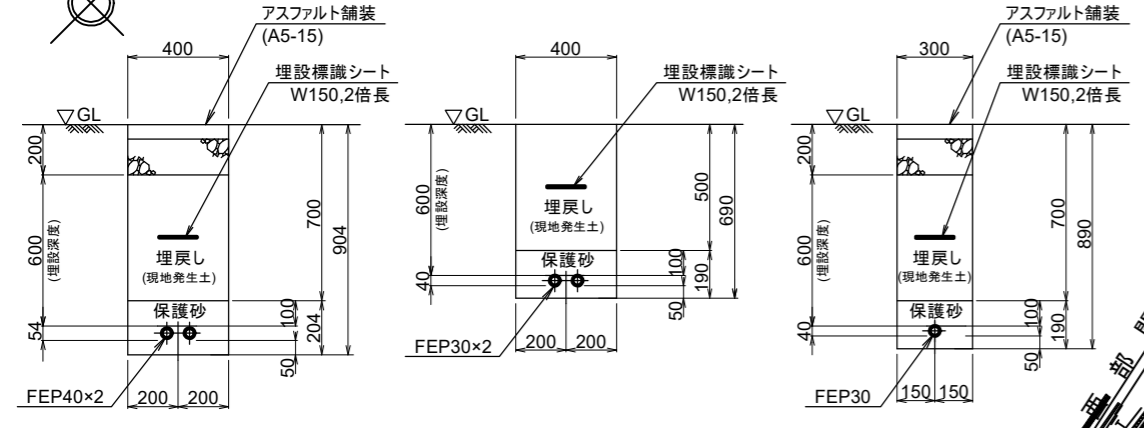


正面図

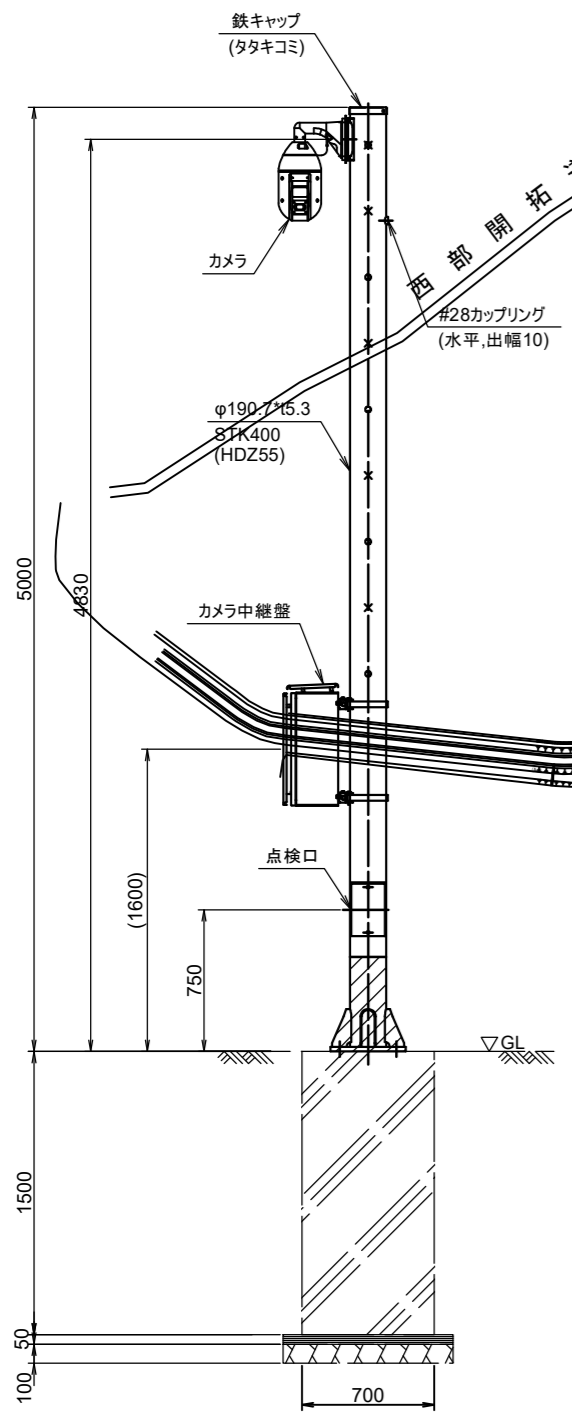
側面図

※盤内に P L C を収納

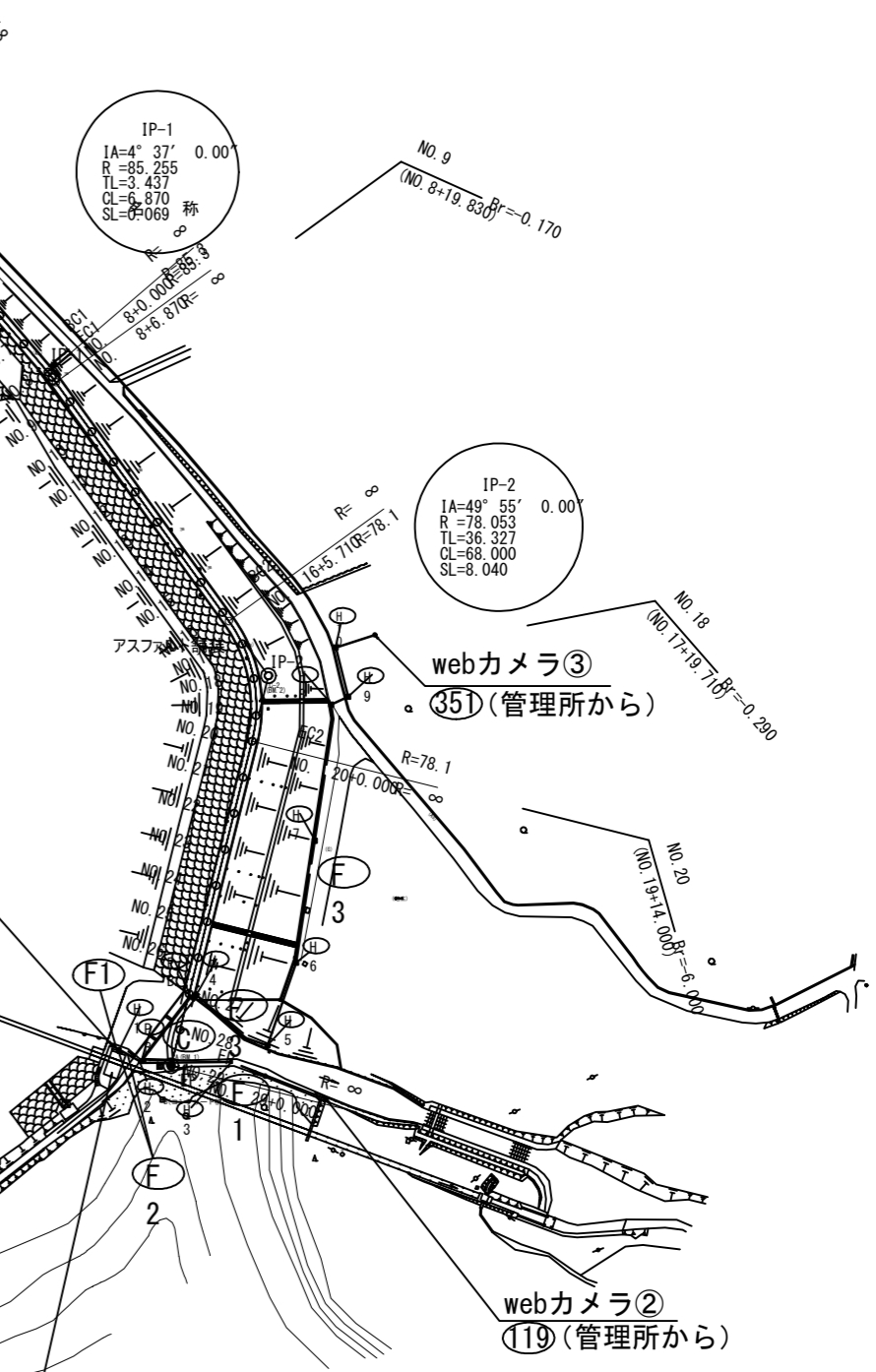
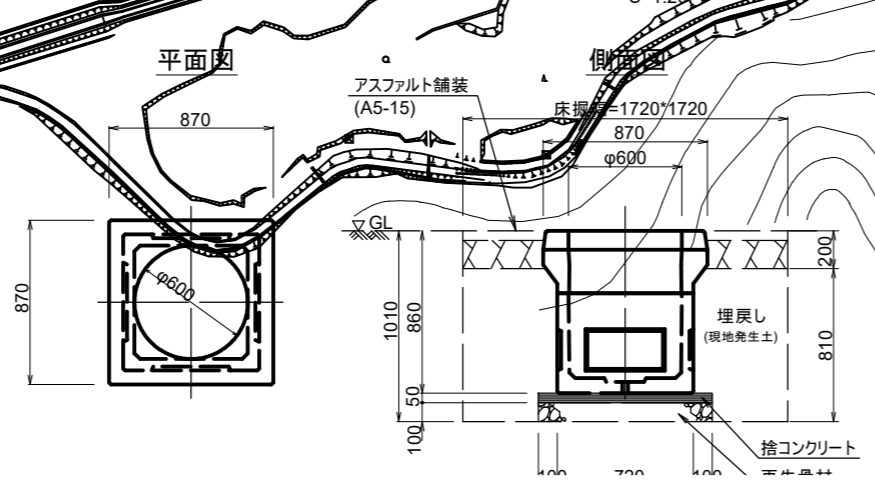
管路掘削工標準図
 S=1:15



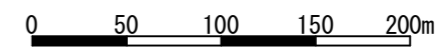
Webカメラ据付図
 S=1:20



ハンドホール
 600*600*600型(H-6)標準図
 S=1:20

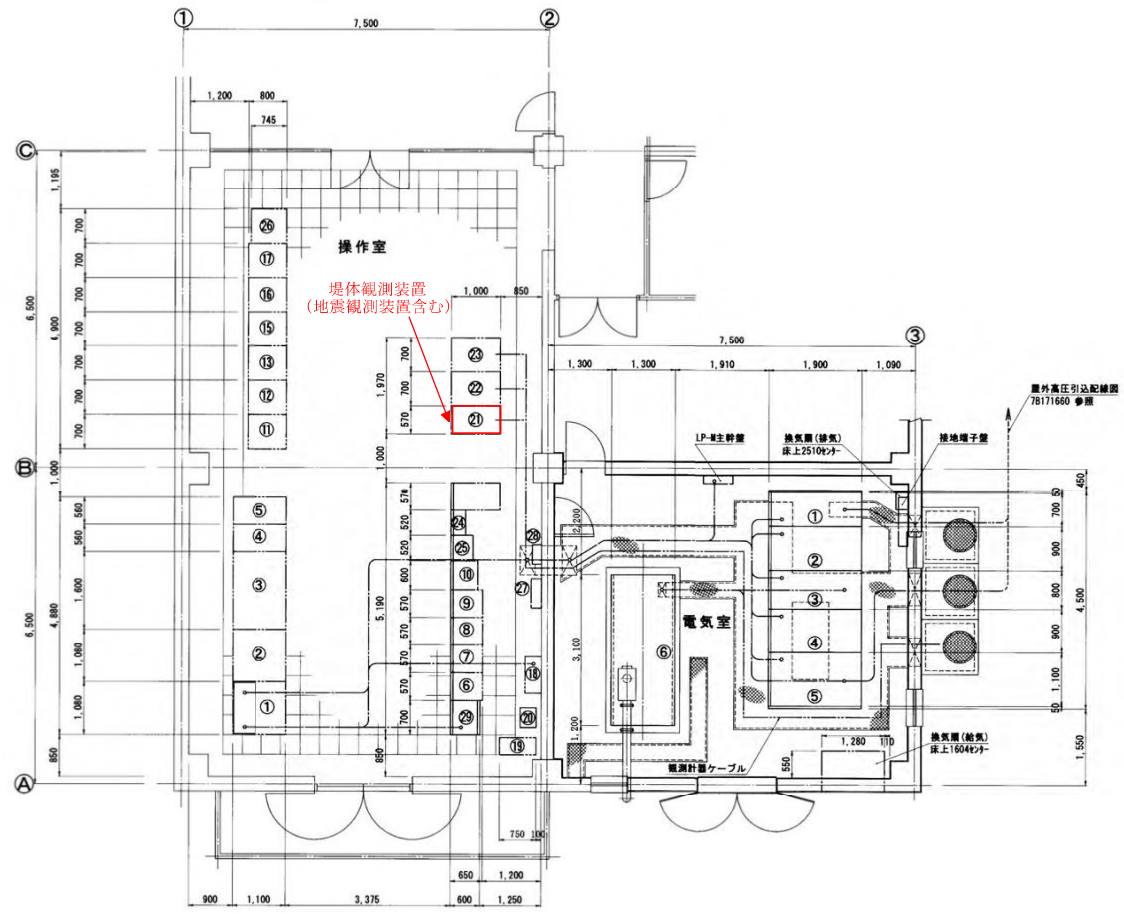


- 概略配線長さ (m)
 配線経路
- C1 CP (G36) x2 露出
 - F1 FEP30x1 GL-600
 - F2 FEP40x2 GL-600
 - F3 FEP30x2 GL-600



平面図

ダム管理事務所 2階機器配置図



操作室機器名称一覧表

番号	記号	名称	備考
①	D 1	受配電監視盤	
②		テレメータ・放流警報操作卓	
③		遠隔手動操作卓	
④		監視操作卓	
⑤		CCTV操作卓	
⑥		TM/TC操作卓	
⑦		入出力処理装置 (I)	
⑧		入出力処理装置 (II)	
⑨		入出力制御装置	
⑩		CCTV制御装置	
⑪		データ処理装置 (I)	
⑫		データ処理装置 (II)	
⑬		表示記録端末装置	
⑭		気象観測装置	
⑮		プリンタ台	
⑯		プリンタ台	
⑰		プリンタ台	
⑱		管理用分電盤	
⑲		無停電電源装置	
⑳		耐震トランス	
㉑		堤体観測装置	
㉒		堤体観測処理装置 (I)	
㉓		堤体観測処理装置 (II)	
㉔		テレメータ・放流警報監視制御装置	
㉕		有線警報装置	
㉖		プリンタ台	
㉗		サイレン用制御盤	
㉘		回転灯制御盤	
㉙	S 1	光伝送装置盤	

電気室機器名称一覧表

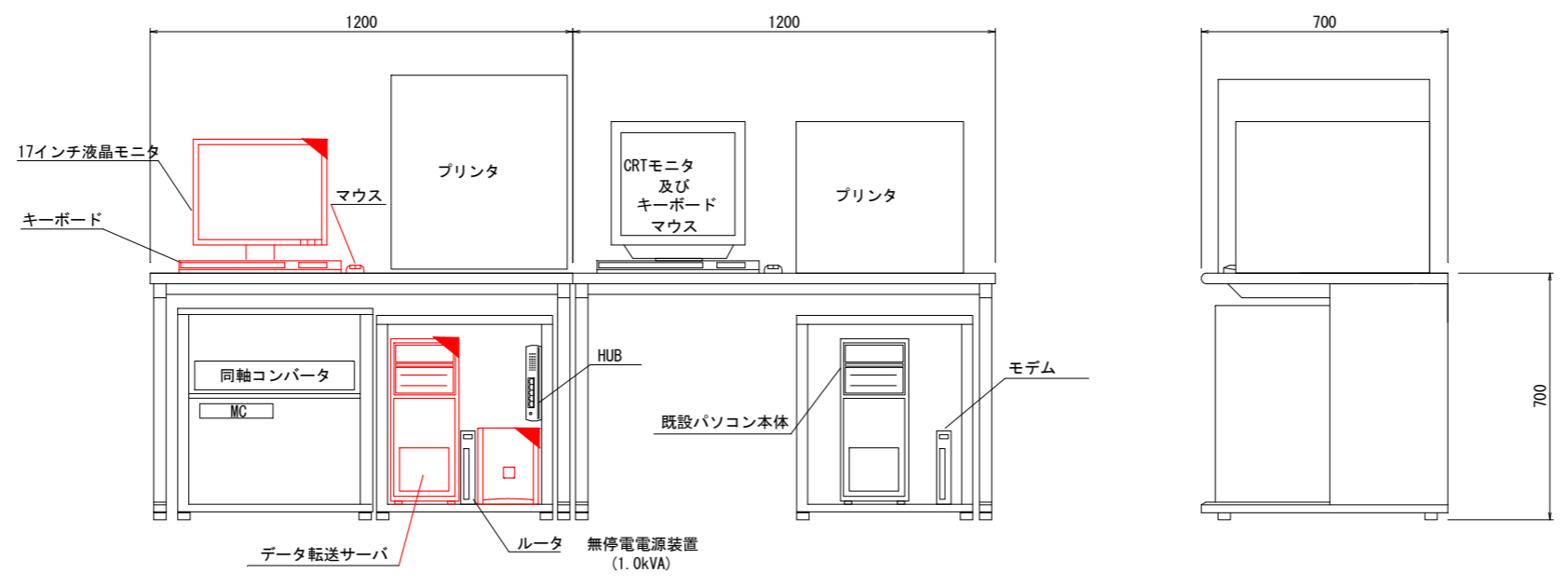
番号	記号	名称	備考
①	M 1	高圧引込受電盤	
②	M 2	主変圧器盤	
③	M 3	切換盤	
④	M 4	動力変圧器盤	
⑤	M 5	照明変圧器盤	
⑥	G 1	非常用発電装置	

観測計器配線一覧表

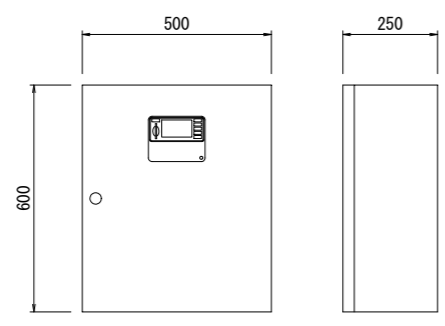
ケーブル名称	配線数	備考
CVVS2 0mm2-24C	1	
KSUUV0 5mm2-20C	4	
KPEVS0 5mm2-37P	4	

山王海地区 (山王海ダム) 機器外観図

防災情報NW装置 外形図 SCALE:1/10

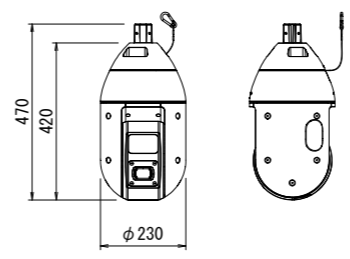


積算電力計収納箱外形図 SCALE:1/10

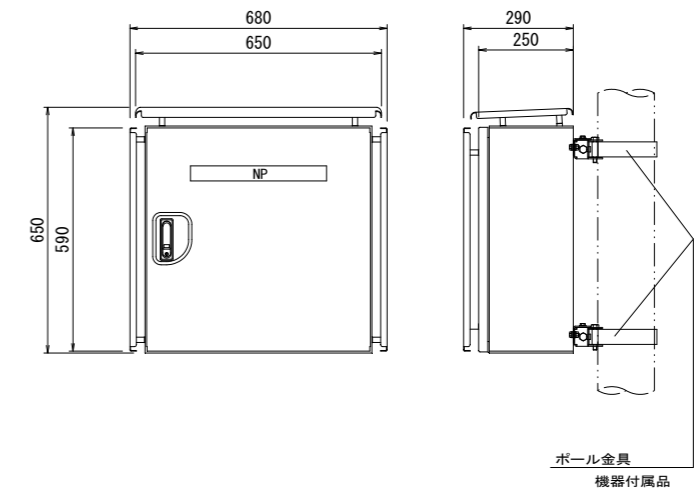


N P	積算動力計箱
材質	SS (指定色塗装)
取付ベース	木板ベース (計器部25mm、スイッチ部15mm)
板厚	扉1.6mm、ボディ1.6mm
ハンドル	封印付キーハンドル

Webカメラ 2台 SCALE:1/10



カメラ中継盤 2面 SCALE:1/10

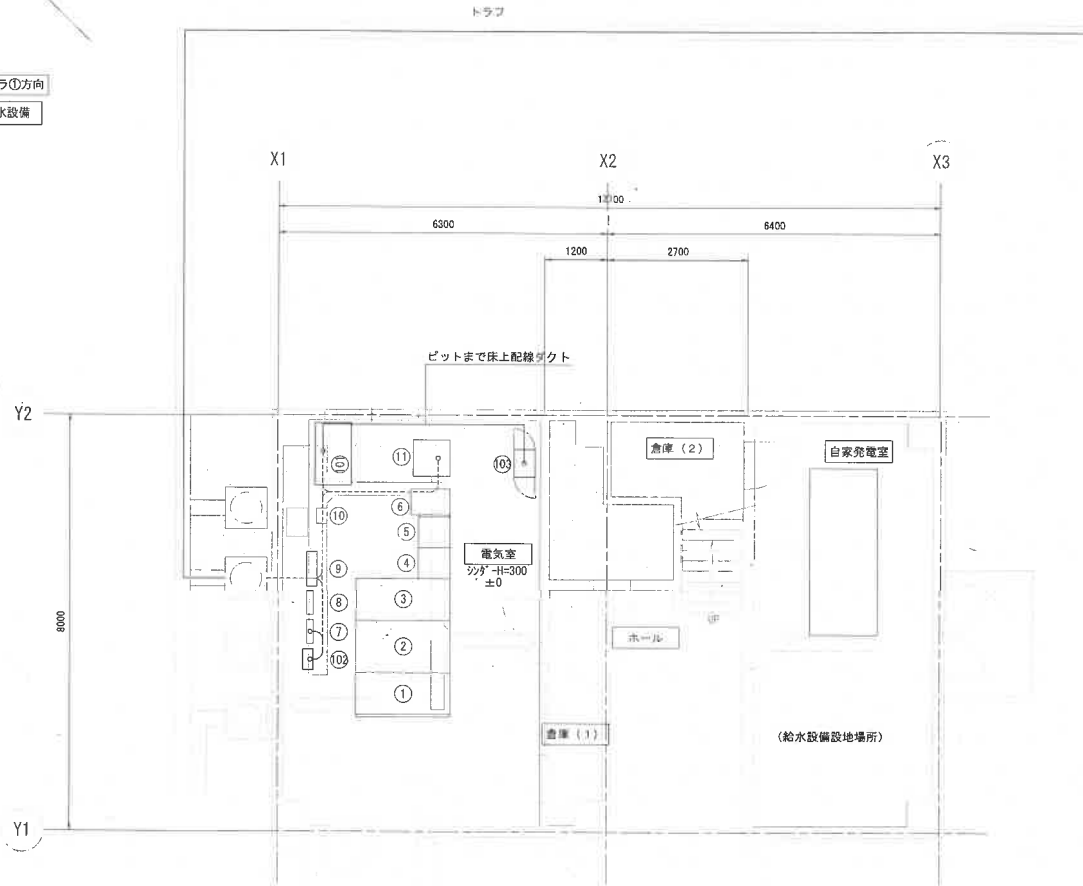




Webカメラ①方向

取水設備

Webカメラ②方向



操作室機器名称一覧表

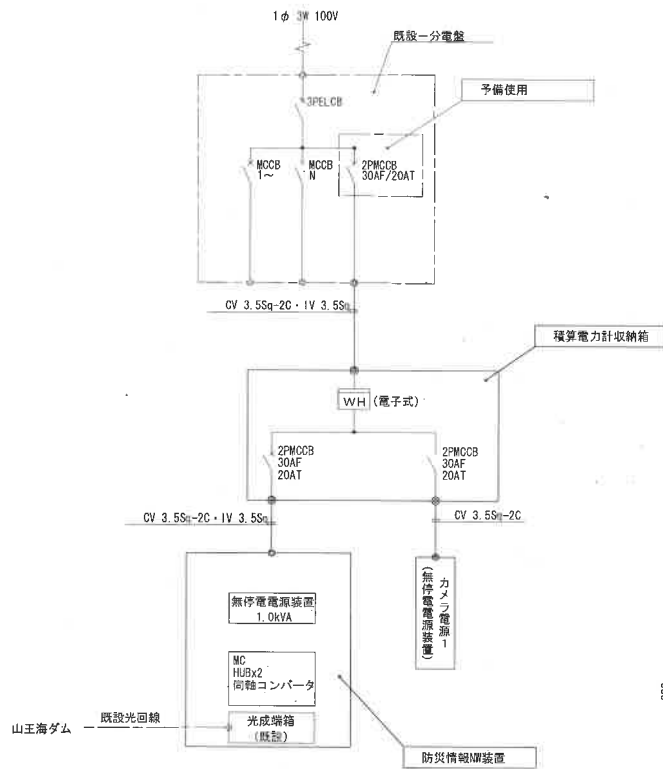
番号	記号	名称	備考
①	MC 1	高圧受電盤	
②	MC 2	動力変圧器盤	
③	MC 3	低圧変圧器盤	
④	MC 4	動力分電盤	
⑤	MC 5	低圧分電盤	
⑥		C V C F 盤	
⑦		管理用分電盤	
⑧		ダム流量分電盤	
⑨		サイレン制御盤	
⑩		接地端子箱	
⑪		光伝送装置	
⑫			
⑬			
⑭			
⑮			
⑯			
⑰			
⑱			
㉑			
㉒			
㉓			
㉔			
㉕			
㉖			
㉗			
㉘			
㉙			
㉚			
㉛			
㉜			
㉝			
㉞			
㉟			
㊱			
㊲			
㊳			
㊴			
㊵			
㊶			
㊷			
㊸			
㊹			
㊺			
㊻			
㊼			
㊽			
㊾			
㊿			
100		防災情報NW装置	新設
100		積算電力計収納箱	新設
100		無停電電源装置 (カメラ用 70W)	新設

特記事項
1. 外形及び寸法は参考とする。

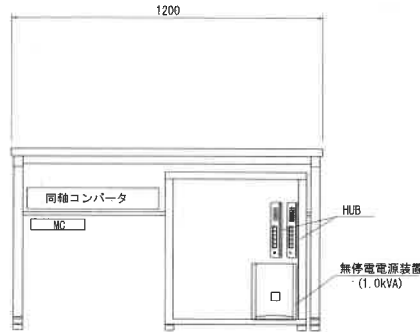
自家発電装置
(運転時間8時間)

山王海地区 葛丸ダム 機器構成図

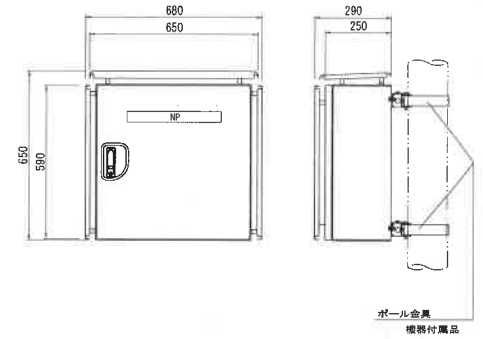
ネットワーク機器単線結線図 NONSCALE



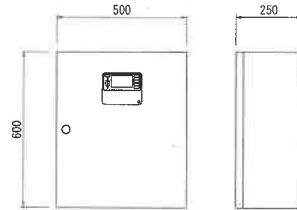
防災情報NW装置 外形図 SCALE:1/10



カメラ中継盤 1面 SCALE:1/10

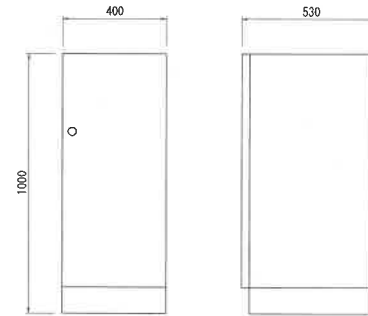


積算電力計収納箱外形図 SCALE:1/10

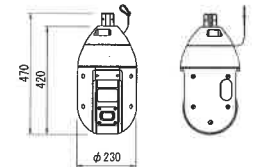


N P	積算電力計器
材質	SS (指定他塗装)
取付ベース	木取付ベース (計器幅25mm、スイッチ幅15mm)
板厚	扉1.6mm、ボディー1.6mm
ハンドル	封印付キーハンドル

無停電電源装置 (カメラ用) (70W) SCALE:1/10



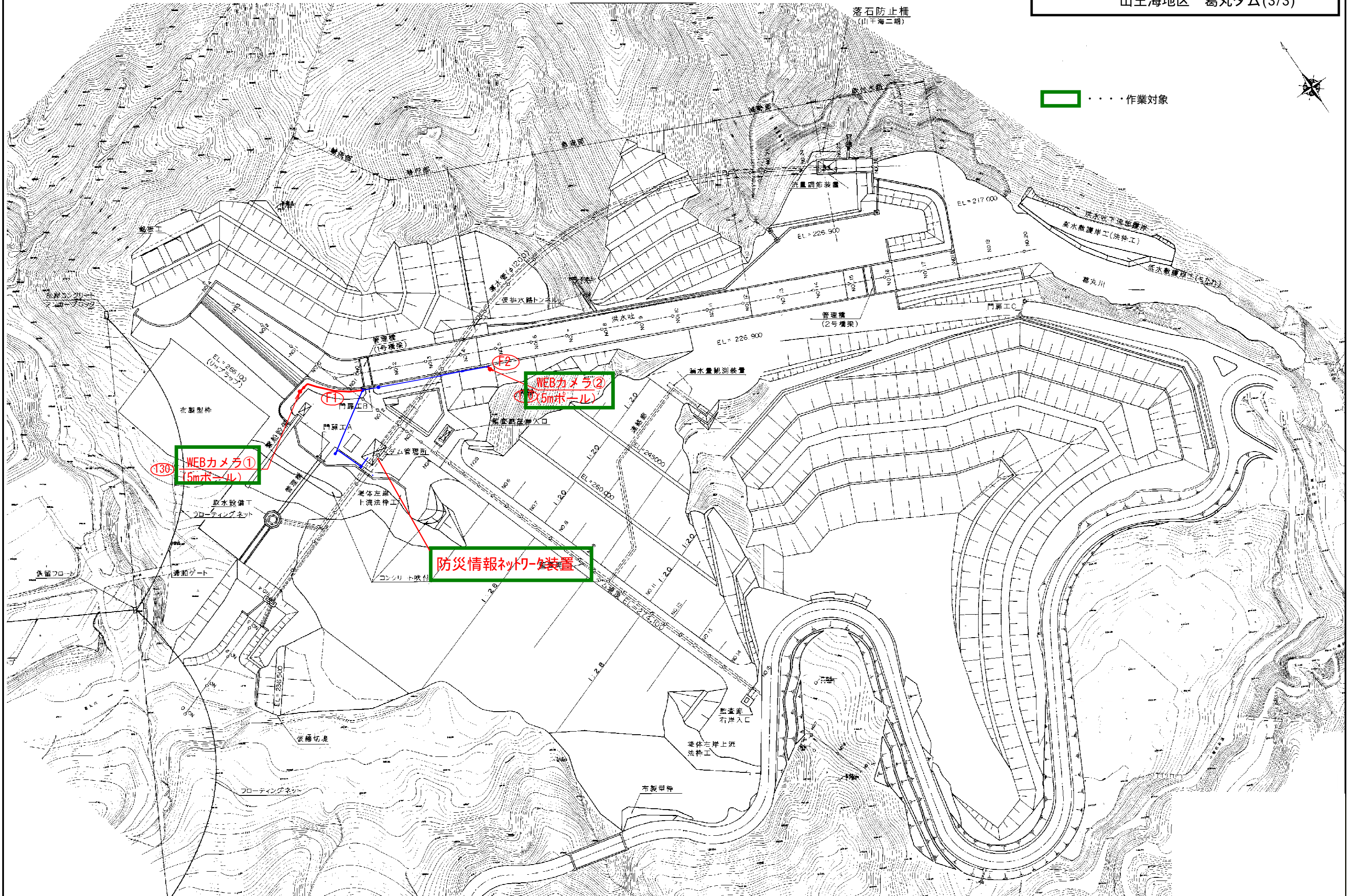
Webカメラ 2台 SCALE:1/10



葛丸ダム

落石防止柵
(山王海二期)

.....作業対象



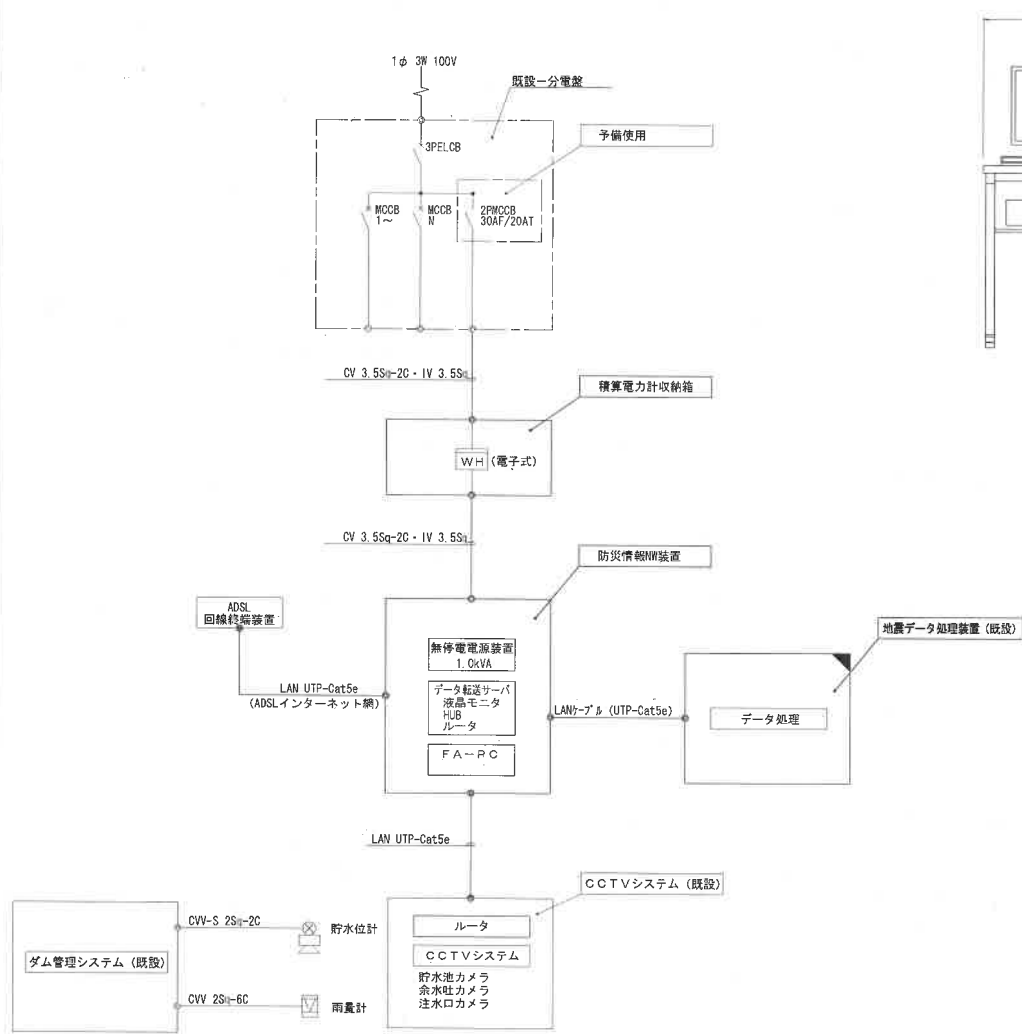
別紙 5 - 5 点検対象施設図面
岩手山麓地区 岩洞ダム(2/2)

岩手山麓地区 岩洞ダム 機器構成図

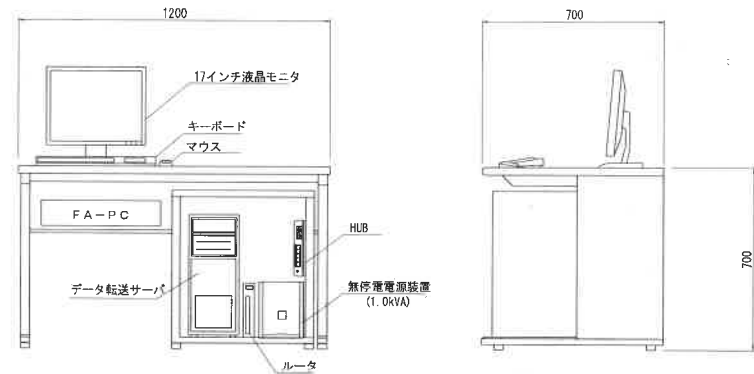
特記事項
1. 外形及び寸法は参考とする。

自家発電装置無
(可搬式発電機)

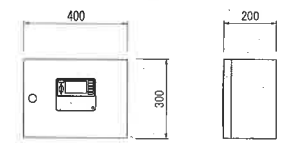
ネットワーク機器単線結線図 NONSCALE



防災情報NW装置 外形図 SCALE:1/10



積算電力計収納箱外形図 SCALE:1/10

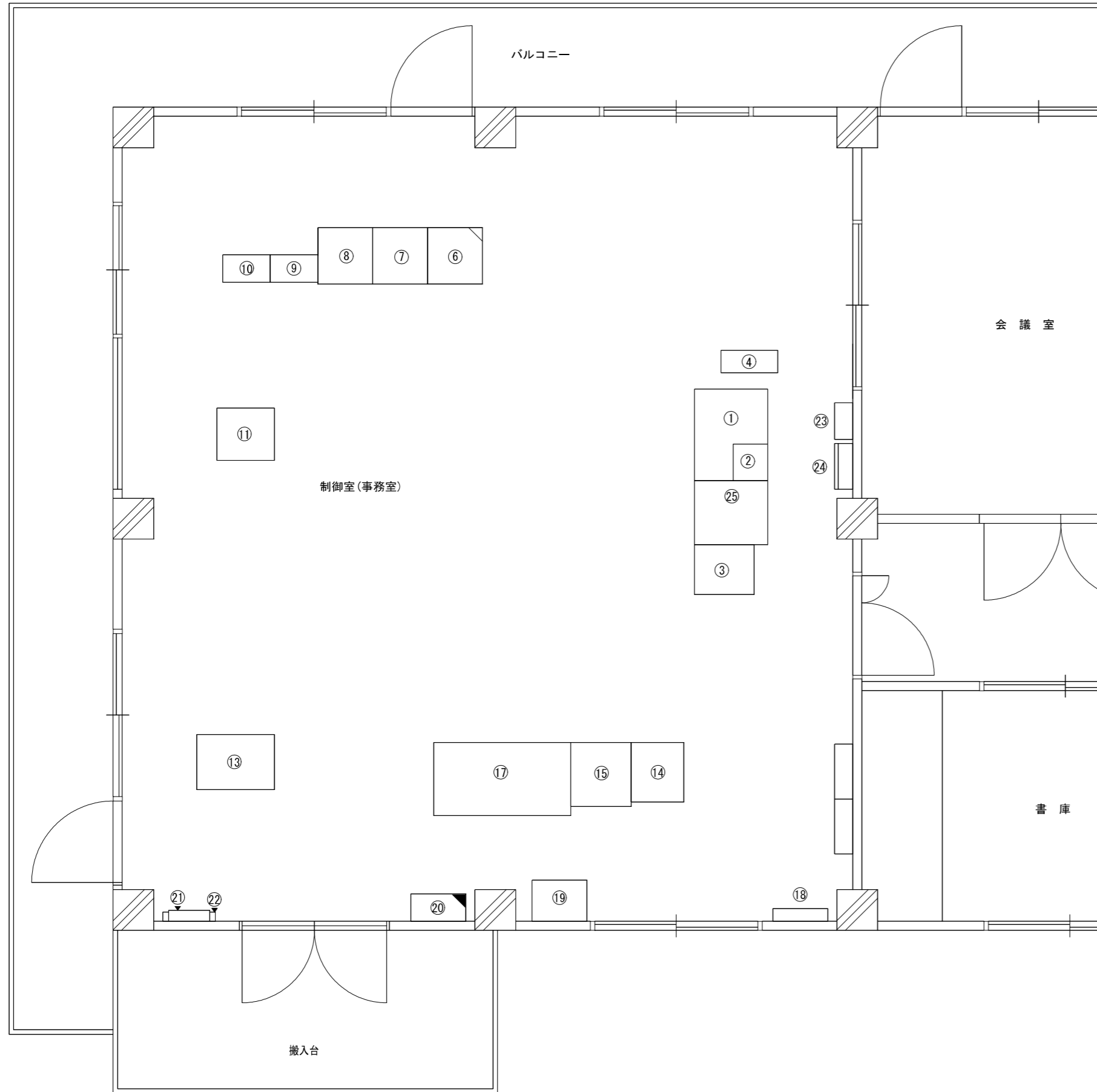


N P	積算電力計箱
材質	SS (非磁性鋼板)
取付ベース	木製ベース (前面部25mm、スイッチ部15mm)
板厚	厚1.6mm、ボディー1.6mm
ハンドル	封田付キーハンドル

相川ダム管理所 機器配置図

S-1/25

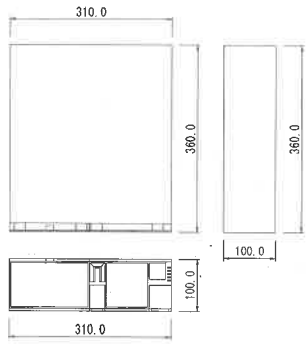
別紙 5-6 点検対象対象施設図面
藤沢地区 相川ダム (1/3)



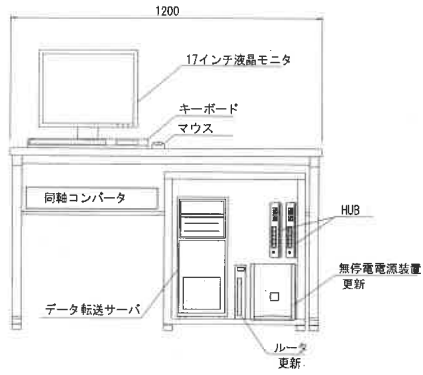
No	盤名称	寸法	備考
①	放流操作装置	W:1000×D:800×H:1160	
②	警報通報操作表示器	W:400×D:377.5×H:140	
③	カラーページプリンタ	W:560×D:700×H:1180	
④	無停電電源装置 5kVA	W:245×D:650×H:585	
⑤			
⑥	情報入力・提供装置	W:600×D:617×H:2050	
⑦	入出力装置	W:600×D:617×H:2050	
⑧	光ケーブル・中継端子盤	W:600×D:617×H:2050	
⑨	T M ・ A L 親局装置	W:520×D:300×H:2350	
⑩	有線観測 A L 装置	W:520×D:300×H:2350	
⑪	気象観測装置	W:570×D:630×H:1000	
⑫			
⑬	防災情報ネットワーク	W:570×D:690×H:	
⑭	堤体観測装置	W:575×D:650×H:	
⑮	地震観測装置	W:575×D:650×H:	
⑯			
⑰	堤体観測装置用プリンタ	W:1500×D:800×H:	
⑱	同軸避雷器収納箱	W:600×D:140×H:	
⑲	分電盤	W:600×D:450×H:1900	
⑳	データ転送装置盤	W:600×D:300×H:1000	一部撤去
㉑	端子盤	W:450×D:120×H:	
㉒	電話主装置	W:573×D:100×H:	
㉓	積算電力計収納箱	W:400×D:200×H:300	
㉔	サイレン制御盤	W:500×D:200×H:	
㉕	千松ダム表示操作端末装置	W:700×D:800×H:720	

相川ダム 機器外観図

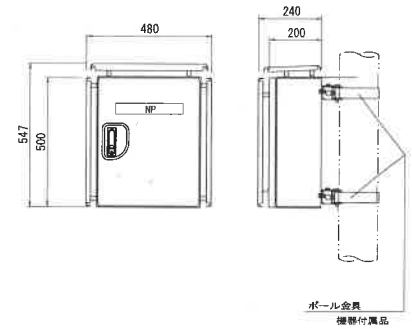
地震データ伝送装置 外形図 SCALE:1/5



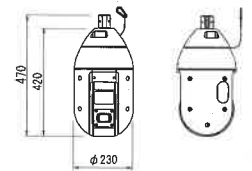
防災情報NW装置 外形図 SCALE:1/10
(既設 参考図)



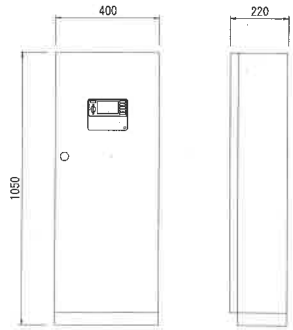
カメラ中継盤 SCALE:1/10
3面 (既設 参考図)



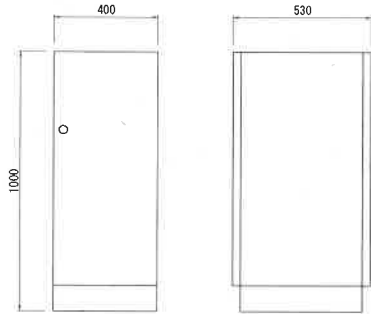
Webカメラ SCALE:1/10
3台 (既設 参考図)



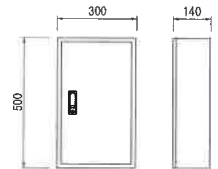
積算電力計収納箱外形図 SCALE:1/10
(既設 参考図)



無停電電源装置 (カメラ用) SCALE:1/10
(既設 参考図) (70W)



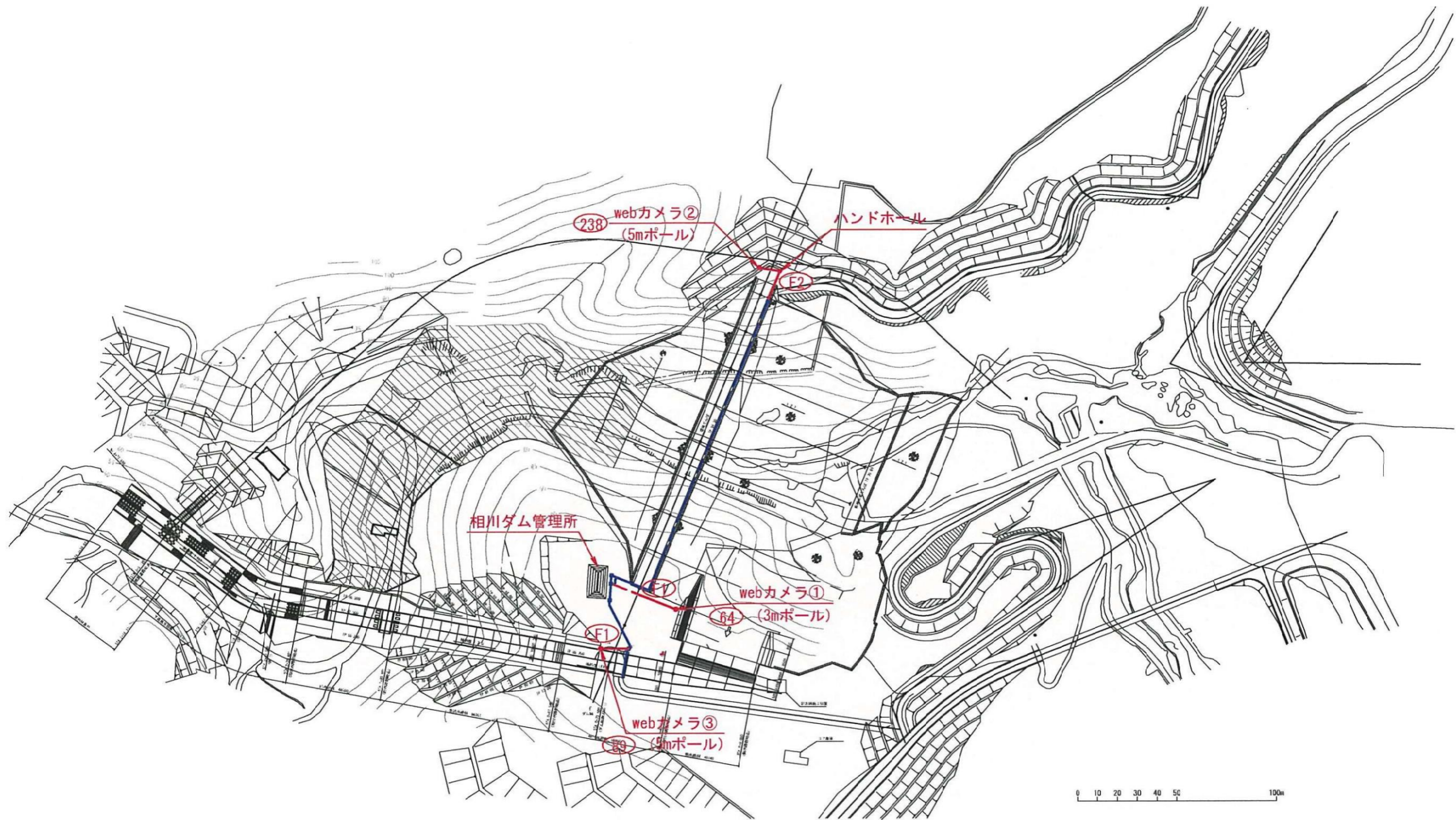
分電盤 SCALE:1/10
(既設 参考図)





相川ダム

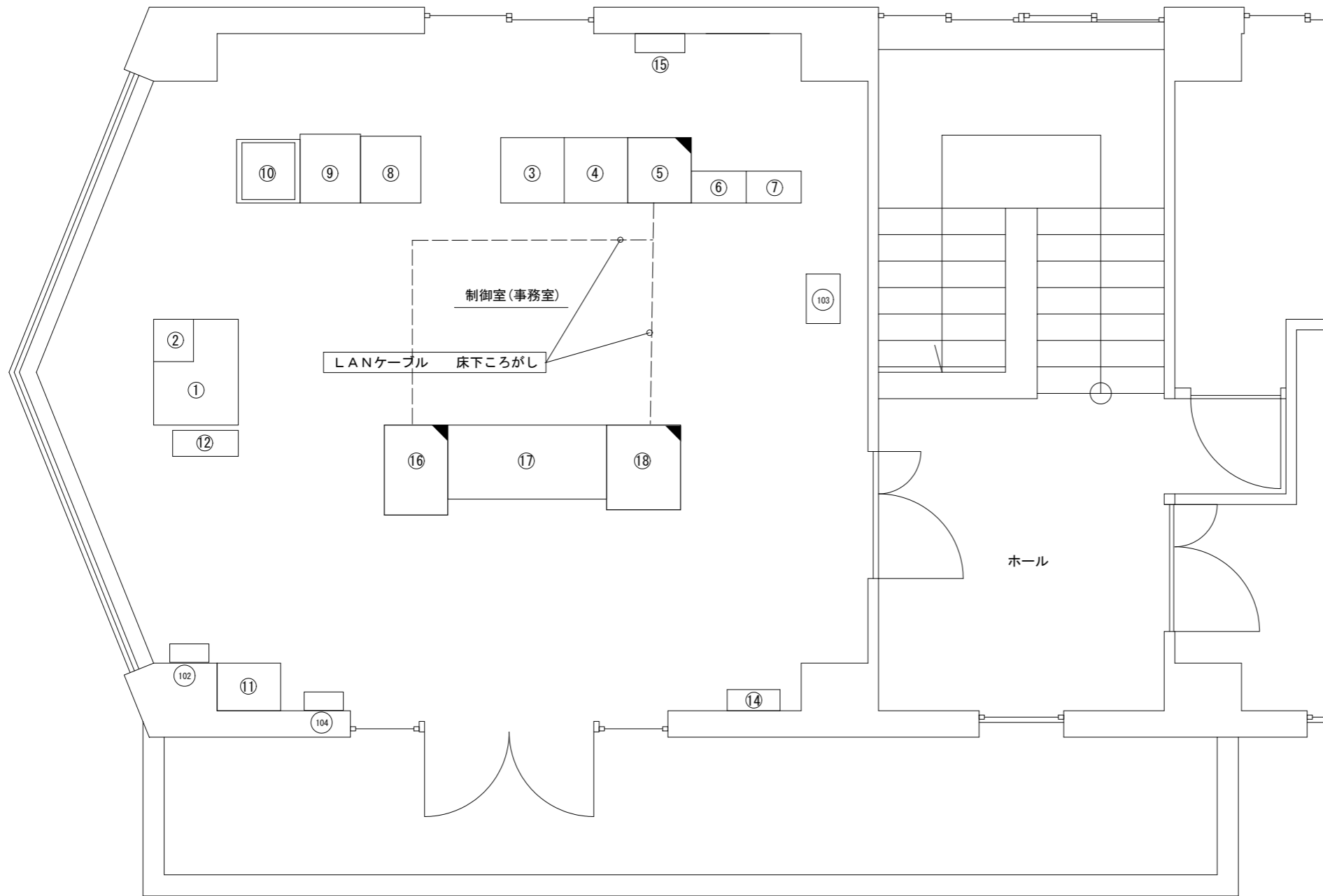
別紙 5 - 6 点検対象対象施設図面
藤沢地区 相川ダム(3/3)



千松ダム管理所 機器配置図

S-1/25

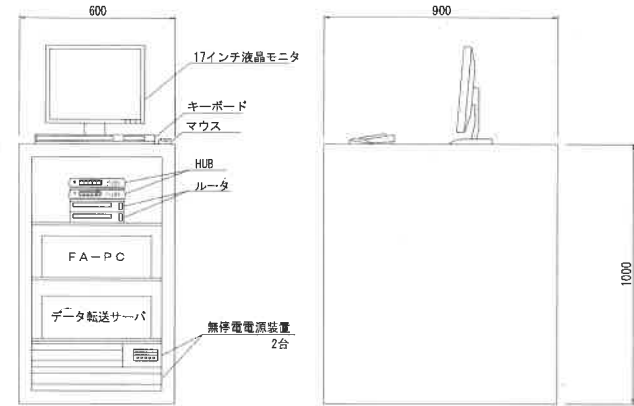
別紙 5 - 7 点検対象対象施設図面
藤沢地区 千松ダム(1/3)



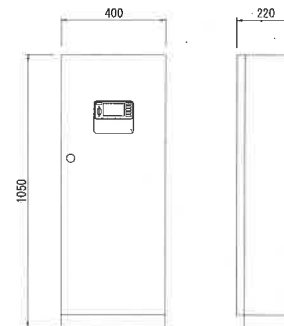
盤一覧表

No	盤名称	寸法	備考
①	放流操作装置	W:1000×D:800×H:1160	
②	警報通報操作表示器	W:400×D:377×H:140	
③	光ケーブル・中継端子盤	W:600×D:617×H:2050	
④	入出力装置	W:600×D:617×H:2050	
⑤	情報入力・提供装置	W:600×D:617×H:2050	改造
⑥	T M / A L 親局装置	W:520×D:300×H:2350	
⑦	有線観測 A L 装置	W:520×D:300×H:2350	
⑧	気象観測装置	W:570×D:630×H:1000	
⑨	堤体観測装置	W:570×D:650×H:	
⑩	堤体観測装置用プリンタ	W:600×D:600×H:	
⑪	分電盤	W:600×D:450×H:1900	
⑫	無停電電源装置	W:245×D:650×H:585	
⑭	サイレン制御盤	W:500×D:200×H:	
⑮	電話主装置	W:470×D:200×H:340	
⑯	データ転送サーバ		改造
⑰	作業机		
⑱	相川ダム表示操作端末装置	W:700×D:800×H:720	改造
102	積算電力計収納箱		
103	無停電電源装置(70Wカメラ用)		
104	収納ボックス(分配器)		

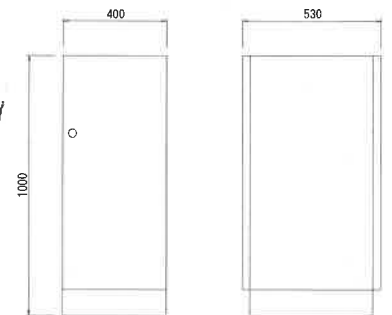
防災情報NW装置 外形図 SCALE:1/10



積算電力計収納箱外形図 SCALE:1/10

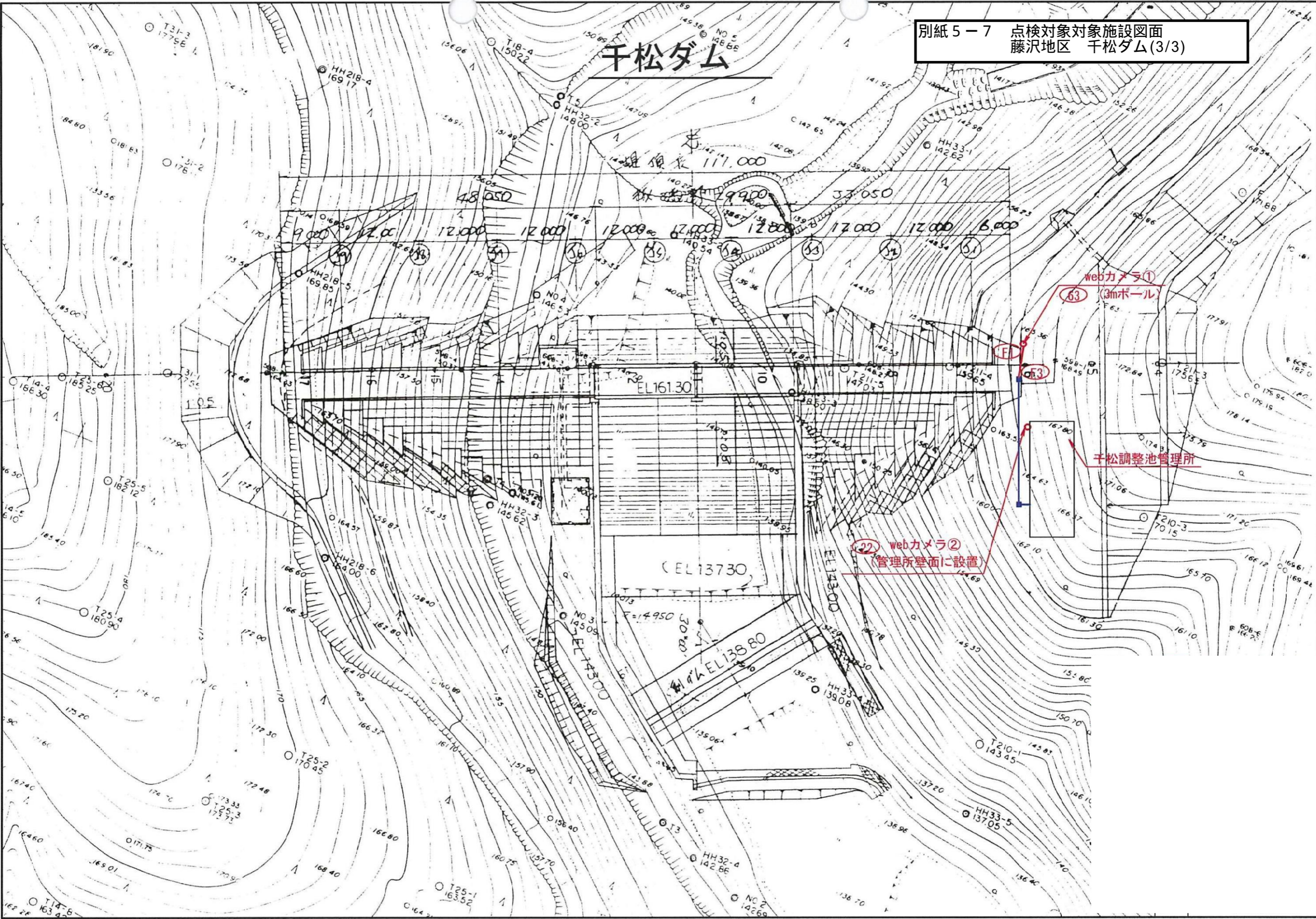


無停電電源装置 (カメラ用)
(70W)



N P	積算電力計箱
材質	SS (S47/1)
板厚	厚1.0mm ボディ=1.0mm
ハンドル	平座キーハンドル

別紙 5-7 点検対象対象施設図面
藤沢地区 千松ダム(3/3)

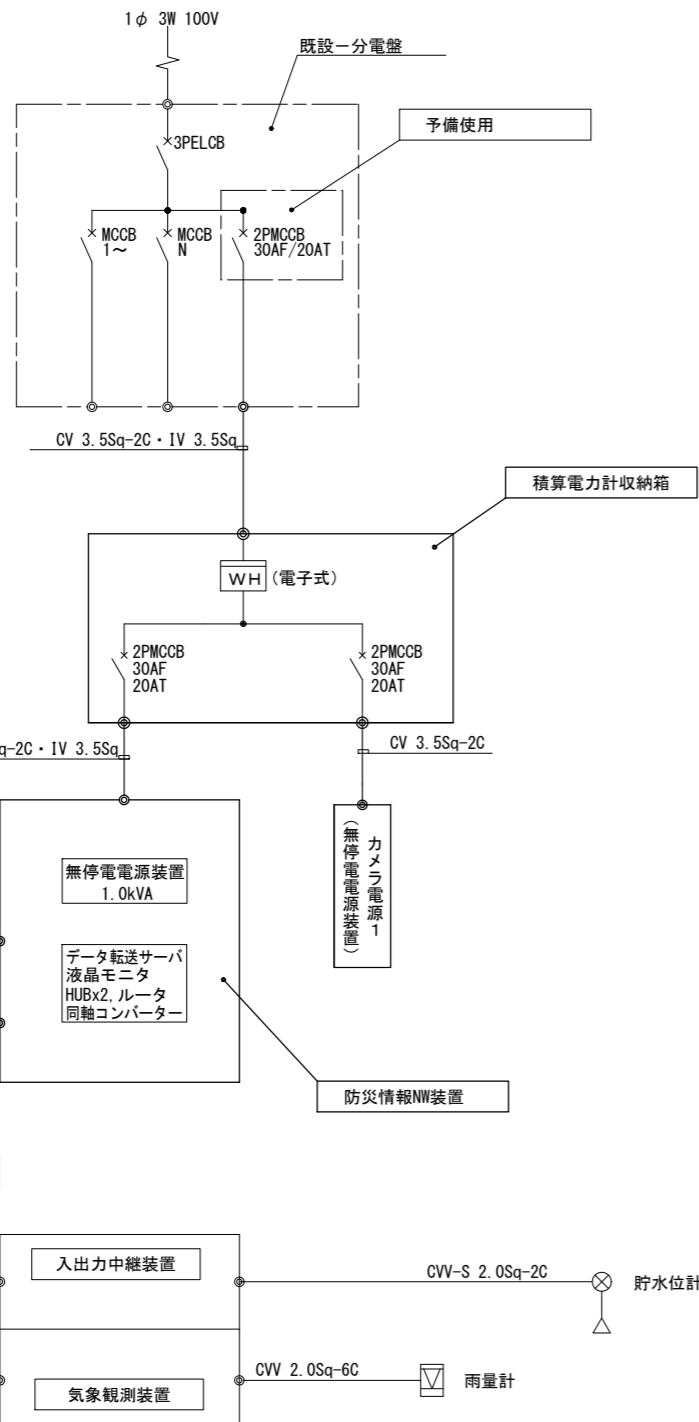


特記事項
1. 外形及び寸法は参考とする。

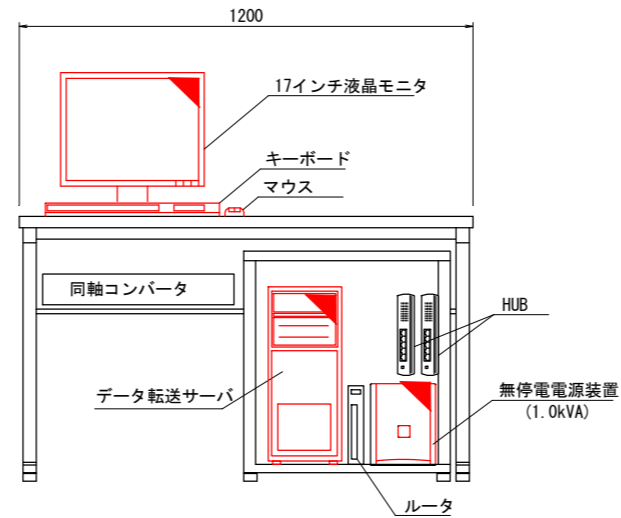
自家発電装置不明
(-)

迫川上流地区 荒砥沢ダム 機器構成図

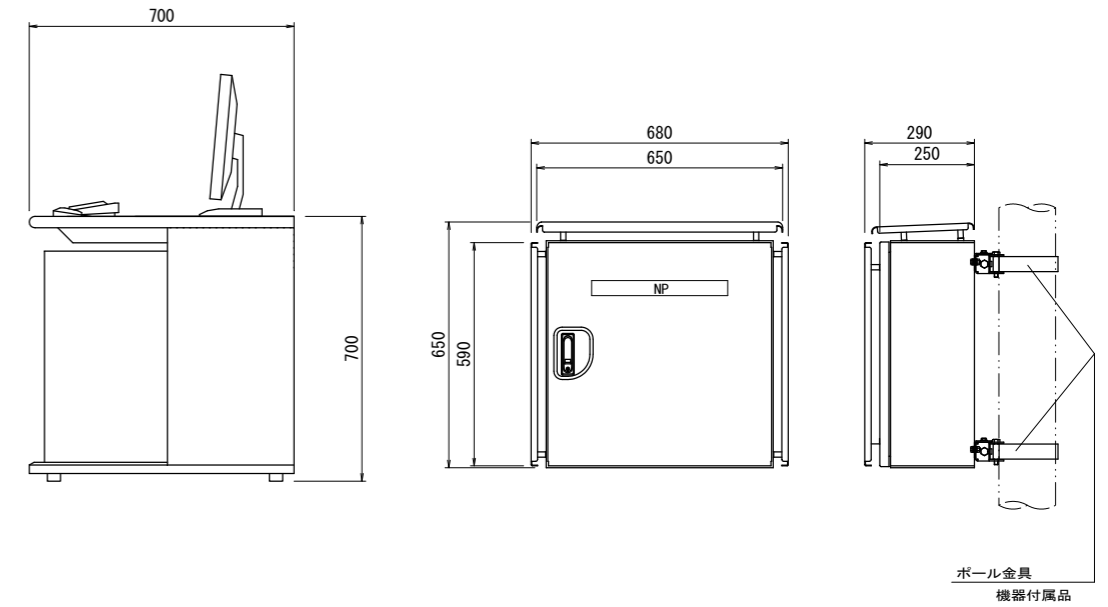
ネットワーク機器単線結線図 NONSCALE



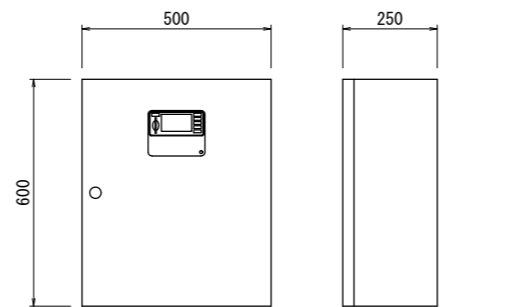
防災情報NW装置 外形図 SCALE:1/10



カメラ中継盤 2面 SCALE:1/10

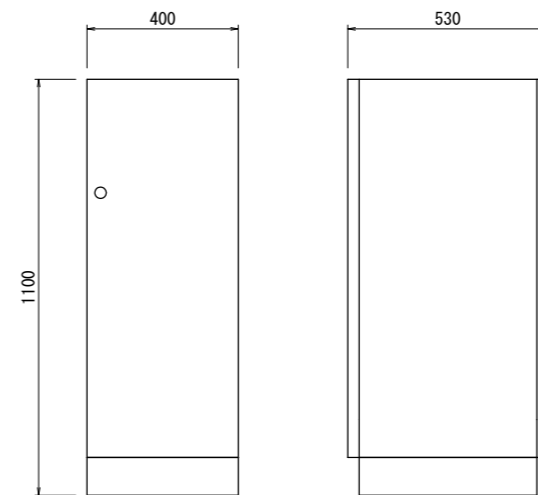


積算電力計収納箱外形図 SCALE:1/10

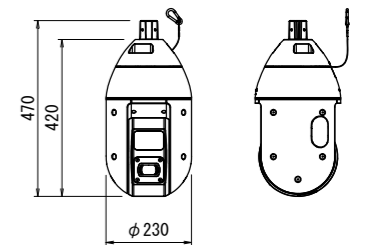


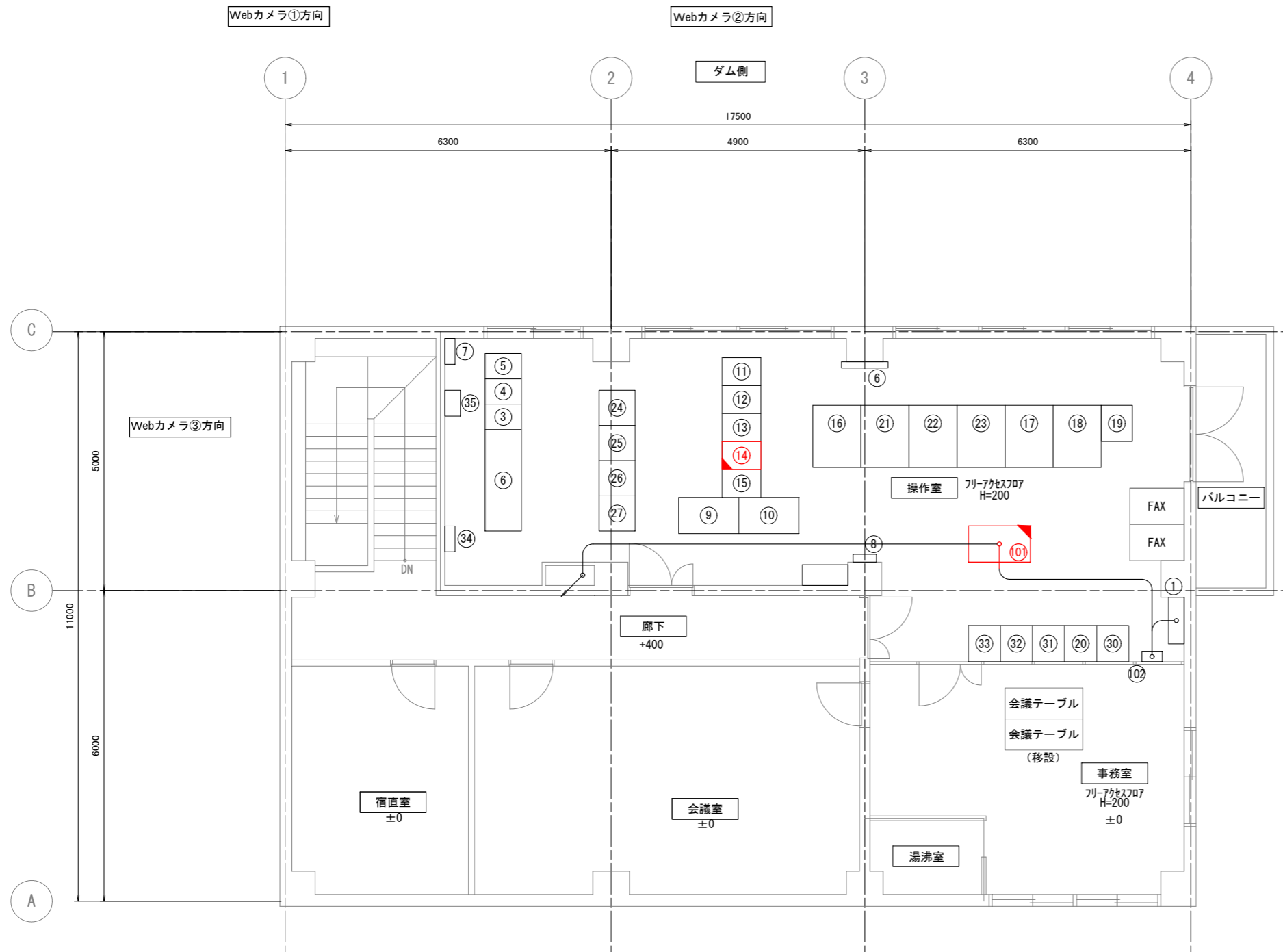
N P	積算動力計箱
材質	SS (指定色塗装)
取付ベース	木板ベース (計器部25mm、スイッチ部15mm)
板厚	扉1.6mm、ボディ1.6mm
ハンドル	封印付キーハンドル

無停電電源装置 (カメラ用) (140W) SCALE:1/10



Webカメラ 2台 SCALE:1/10





操作室機器名称一覧表

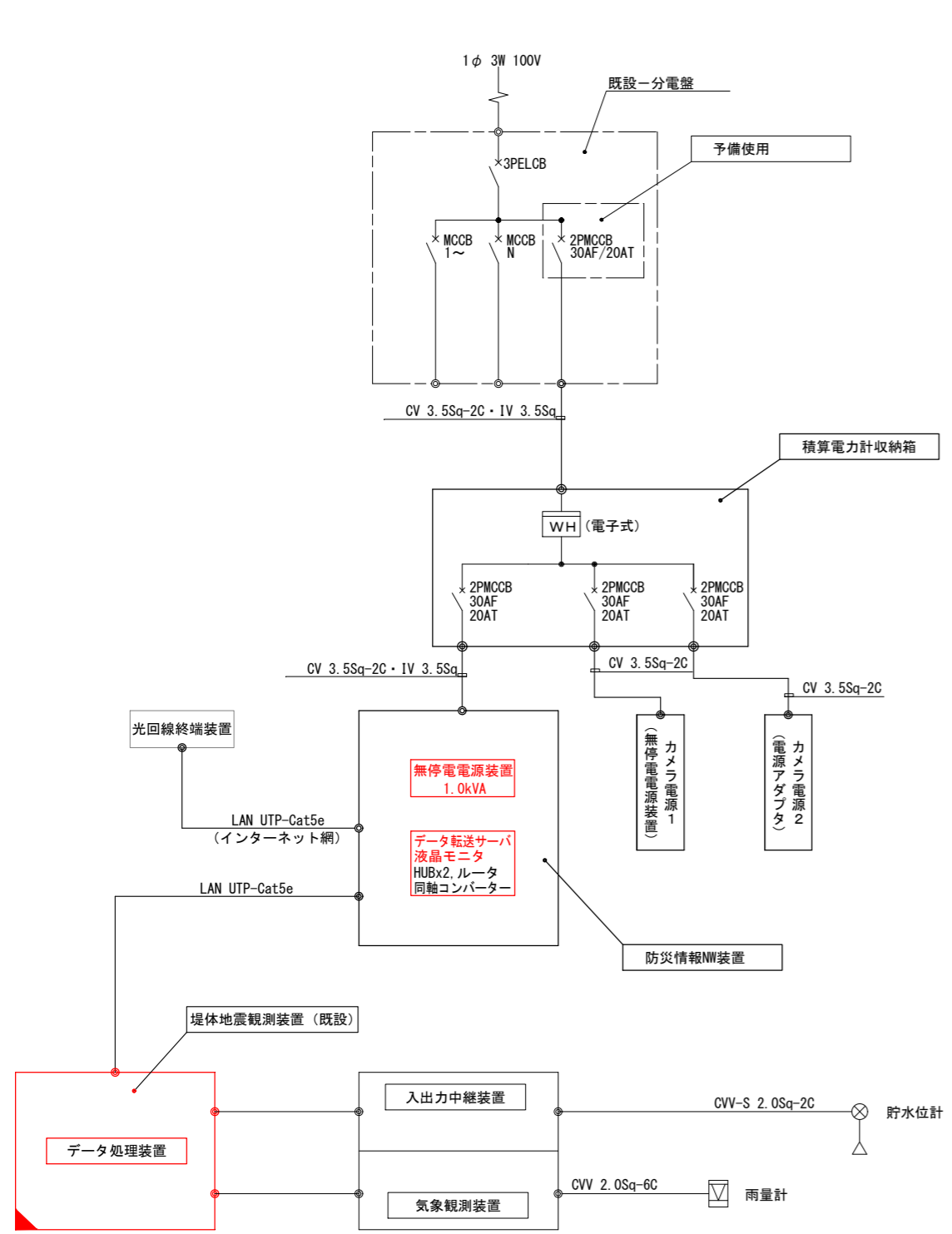
番号	記号	名称	備考
①		操作室分電盤	
②			
③		TM・AL親局装置	
④		有線AL装置	
⑤		CCTV制御装置	
⑥		柳目局向MDF	
⑦		直流分電盤	
⑧		時計装置	
⑨		伝送処理装置	
⑩		データ処理用CPU	
⑪		小田ダム水位計測装置	
⑫		気象観測装置	
⑬		主水位計・水温計制御装置	
⑭		地震観測・データ収録装置Ⅱ	一部改造
⑮		地震観測・データ収録装置Ⅰ	
⑯		CCTV操作卓	
⑰		表示設定操作卓	
⑱		表示設定端末装置	
⑲		水防小田ダム無線機	
⑳		記録用端末装置	
㉑		テレメータ放流警報操作卓	
㉒		遠方手動操作卓	
㉓		遠方手動操作卓	
㉔		光ケーブル接続・中継端子盤	
㉕		入出力処理装置	
㉖		情報伝達処理装置	
㉗		演算処理装置Ⅰ・Ⅱ	
㉘			
㉙			
㉚		カラーハードコピー	
㉛		日・月・年報記録用プリンタ	
㉜		気象観測用プリンタ(ドットインパクト)	
㉝		警報プリンタ	
㉞		サイレン・回転灯制御盤	
㉟		乾燥空気充填装置	
㊱			
㊲			
㊳			
㊴			
㊵			
㊶			
㊷			
㊸			
㊹			
㊺			
㊻			
㊼			
㊽			
㊾			
㊿			
⑩①		防災情報NW装置	一部更新
⑩②		積算電力計収納箱	既設
⑩③		無停電電源装置(140Wカメラ用)	既設

特記事項
 1. 外形及び寸法は参考とする。

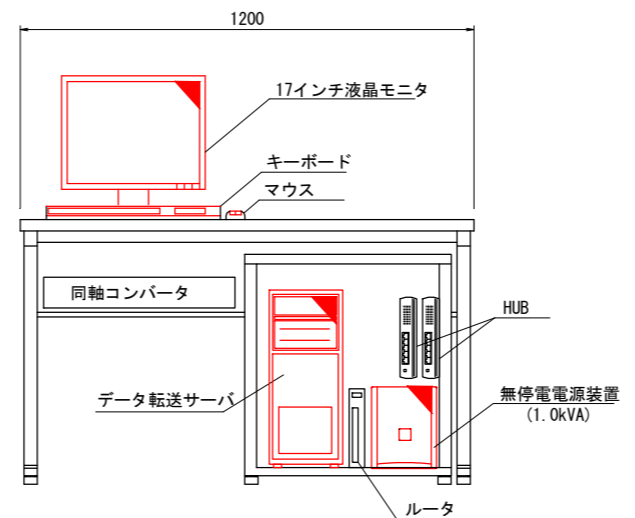
自家発電装置不明
 (-)

迫川上流地区 小田ダム 機器外観図

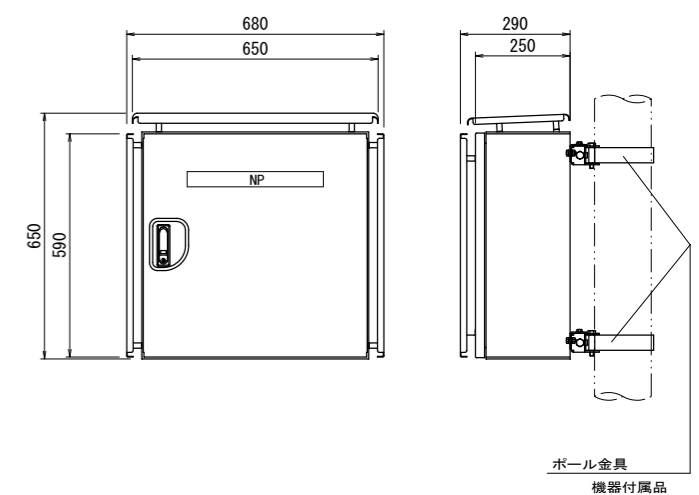
ネットワーク機器単線結線図 NONSCALE



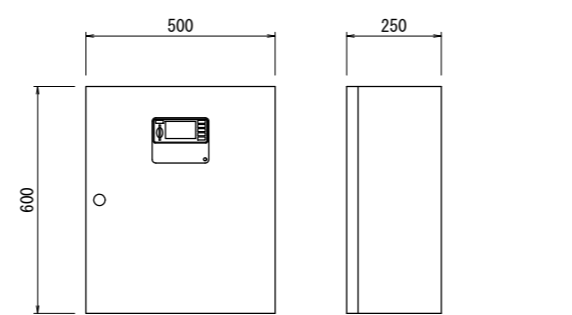
防災情報NW装置 外形図 SCALE:1/10



カメラ中継盤 3面 SCALE:1/10

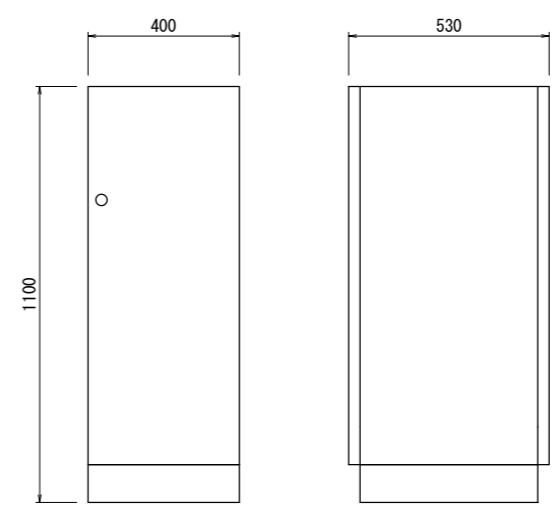


積算電力計収納箱外形図 SCALE:1/10

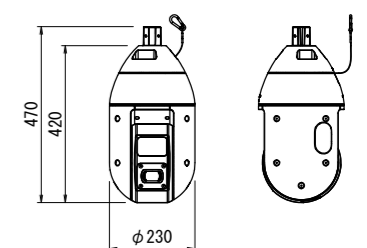


N P	積算動力計箱
材質	SS (指定色塗装)
取付ベース	木板ベース (計器部25mm、スイッチ部15mm)
板厚	扉1.6mm、ボディ1.6mm
ハンドル	封印付キーハンドル

無停電電源装置 (カメラ用) (140W) SCALE:1/10



Webカメラ 3台 SCALE:1/10



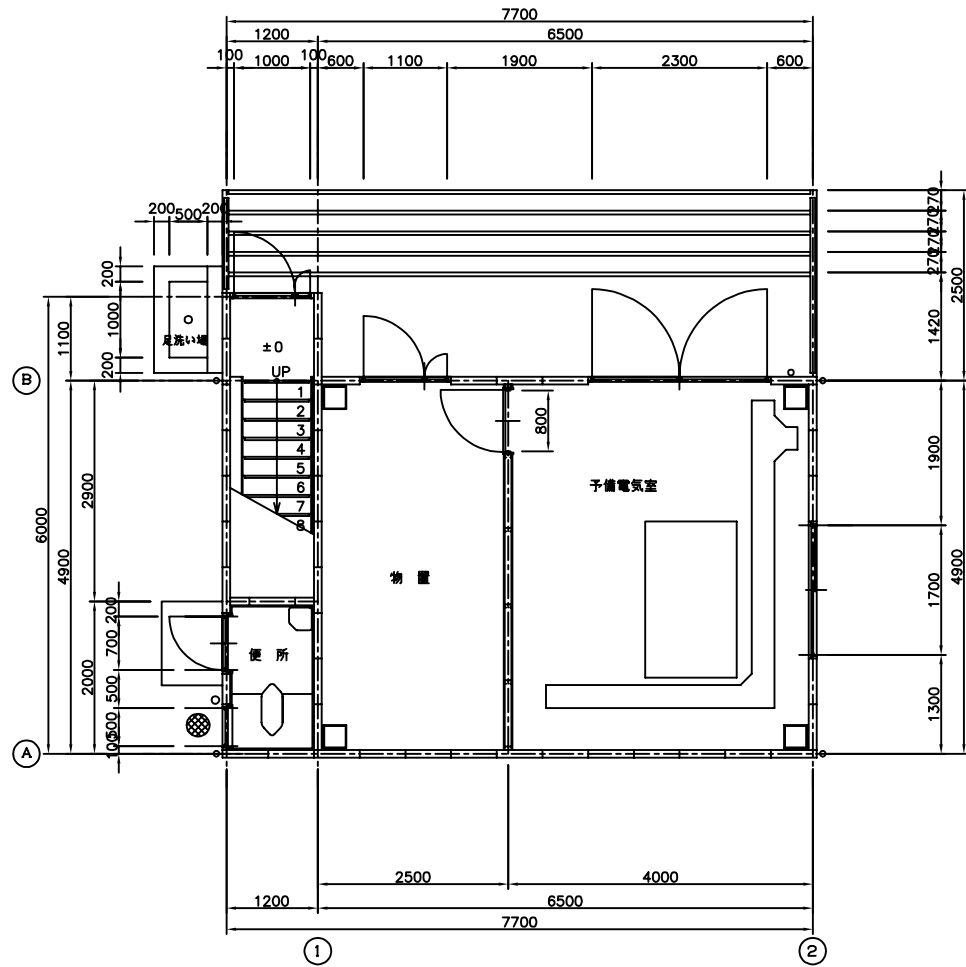
旧迫川地区(一の堰頭首工) 全体配置図

S=1/100

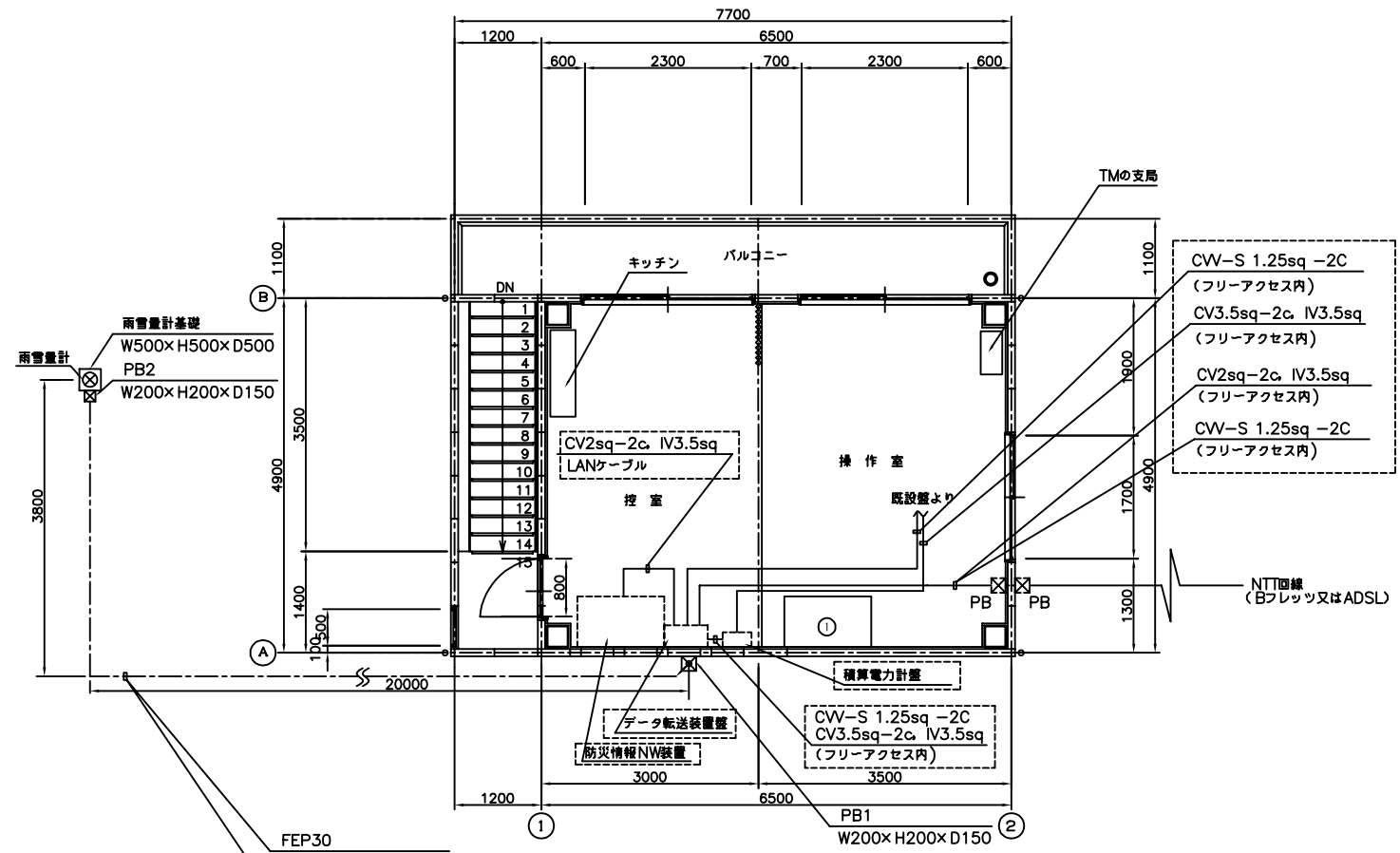
別紙5-10 点検対象施設図面
迫川上流地区 一の堰頭首工(1/2)

操作室機器名称一覧表

番号	記号	名称	備考
①		操作盤	



1階平面図 S=1/100



2階平面図 S=1/100

雨量計
雨量計基礎
W500×H500×D500
PB2
W200×H200×D150

FEP30
CV2sq-2c IV3.5sq
FEP30
CW-S 1.25sq -2C

CW-S 1.25sq -2C
(フリーアクセス内)
CV3.5sq-2c IV3.5sq
(フリーアクセス内)
CV2sq-2c IV3.5sq
(フリーアクセス内)
CW-S 1.25sq -2C
(フリーアクセス内)

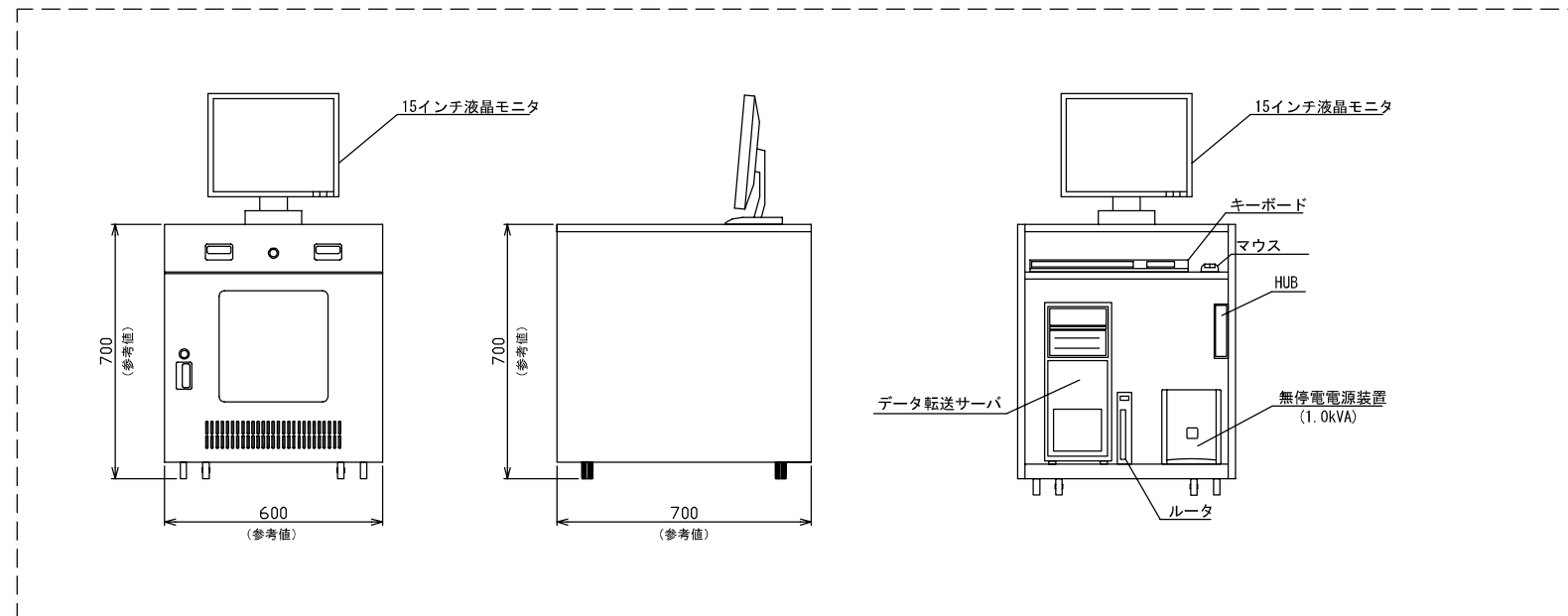
NTT回線
(Bフレックス又はADSL)

積算電力計
データ転送装置
防災情報NW装置

CW-S 1.25sq -2C
CV3.5sq-2c IV3.5sq
(フリーアクセス内)

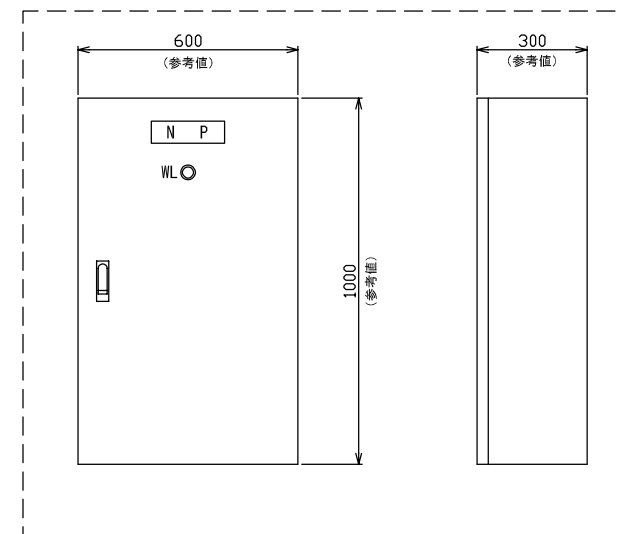
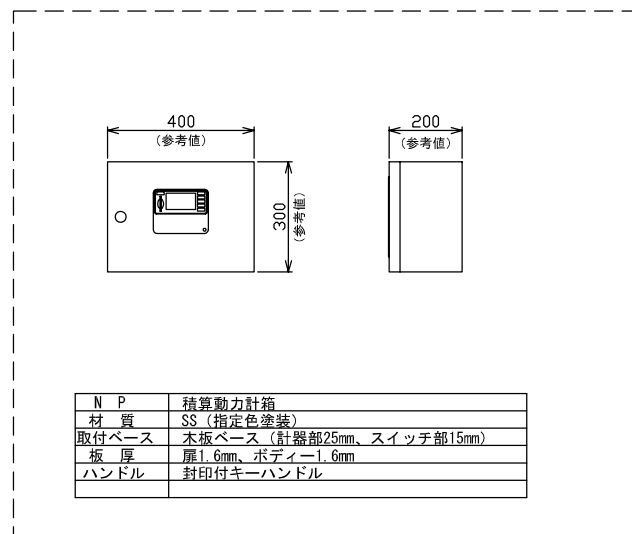
防災情報NW装置 外形図 S=1/10

防災情報NW装置 内部配置図 S=1/10



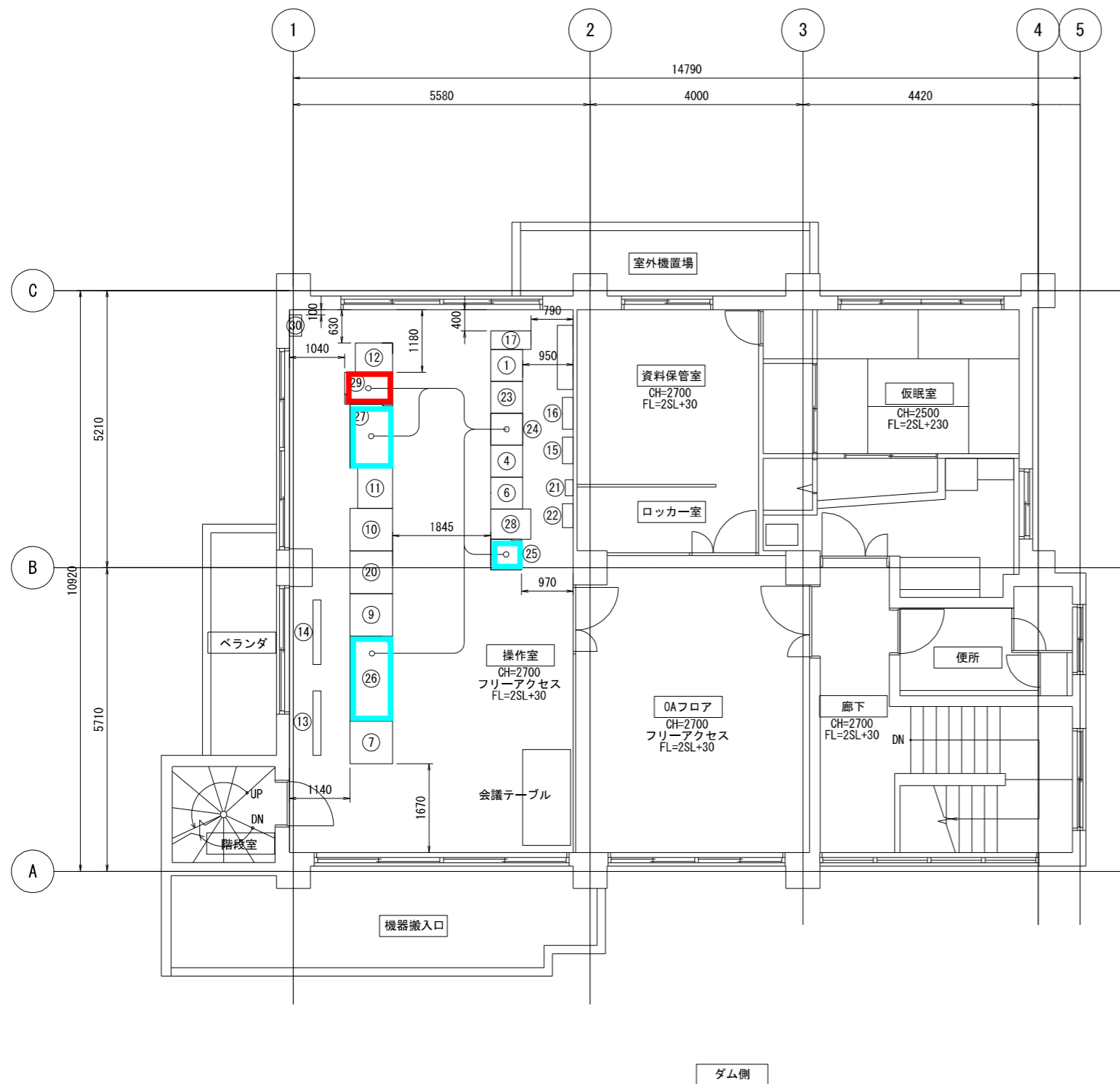
積算電力計収納箱外形図 S=1/10

データ転送装置盤外形図 S=1/10



管理事務所 2階機器配置図 (更新後)

別紙 5 - 1 1 点検対象対象施設図面
大崎地区 岩堂沢ダム (1/2)



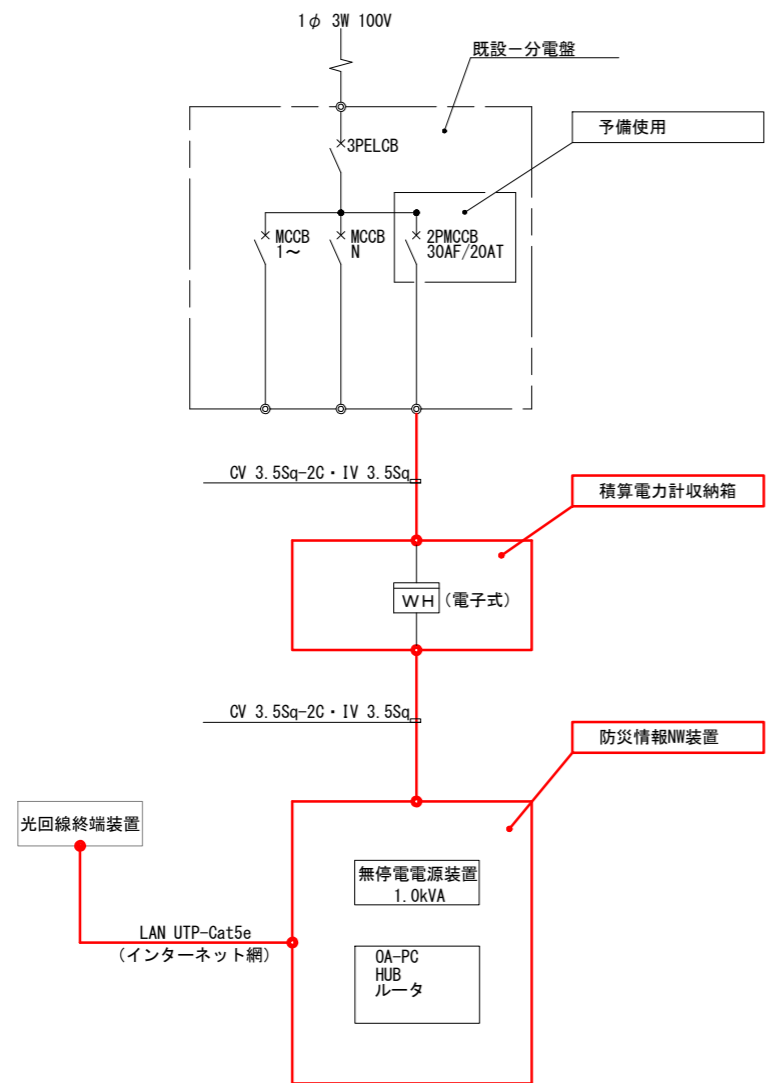
番号	名称	W × D × H	備考
①	光ケーブル接続盤・中継端子盤	600×600×2150	
②	欠番		
③	欠番		
④	CCTV制御装置	600×600×2150	
⑤	欠番		
⑥	放流警報制御監視装置	600×600×2150	
⑦	CCTV操作器	800×800×700	
⑧	欠番		
⑨	ディスプレイ	800×800×700	
⑩	プリンタ (ダムコン)	800×800×700	
⑪	プリンタ (放流設備)	760×650×870/980	
⑫	プリンタ (堤体観測装置・地震観測装置)	550×700×1040	
⑬	CCTV表示装置		
⑭	大型表示装置		
⑮	サイレン制御盤	550×250×850	
⑯	管理設備用分電盤	600×200×1400	
⑰	無停電電源装置	350×760×1025	
⑱	警報表示器	600×200×500	
⑲	欠番		
⑳	移動無線親局装置	800×800×700	
㉑	堤頂天端照明スイッチボックス	300×120×300	
㉒	投光器スイッチボックス	500×200×400	
㉓	入出力処理装置 1	600×600×2150	
㉔	入出力処理装置 2	600×600×2150	
㉕	気象観測装置	570×580×1250	
㉖	データ処理装置 (非常停止スイッチ箱含む)	800×800×700	
㉗	点検・応急対策ガイド装置	800×800×700	
㉘	堤体観測装置・地震観測装置 (データ処理)	1200×800×700	
㉙	堤体観測装置	570×750×1745	
㉚	データ転送サーバ及び入出力I/F装置	600×900×700	他目的使用
㉛	積算電力計盤	400×230×700	

大崎地区 岩堂沢ダム 機器構成図

自家発電装置
(運転時間72時間)

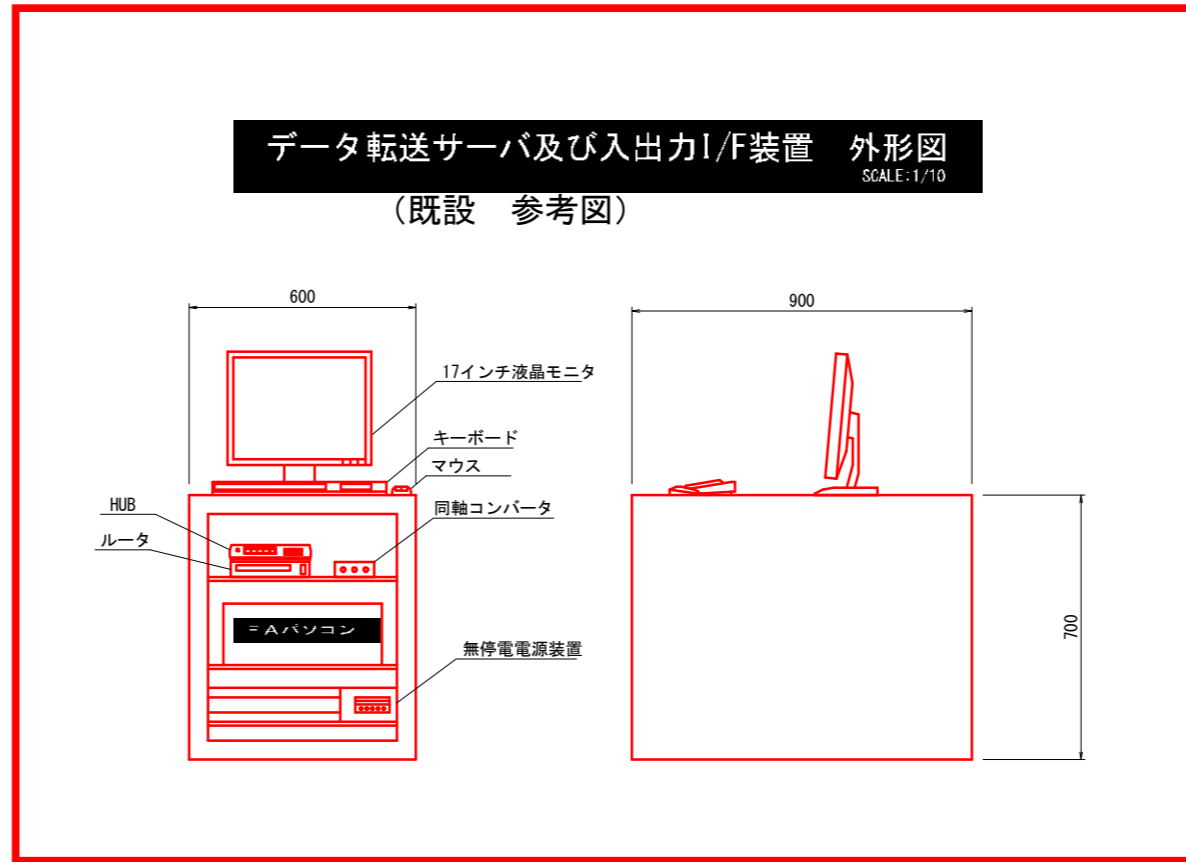
R5更新機器

ネットワーク機器単線結線図 NONSCALE

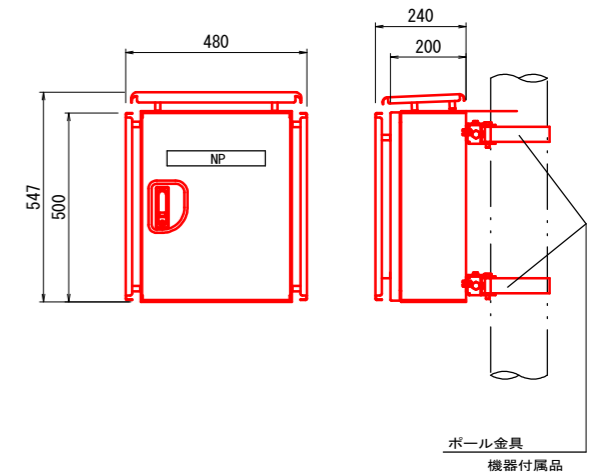


データ転送サーバ及び入出力I/F装置 外形図 SCALE:1/10

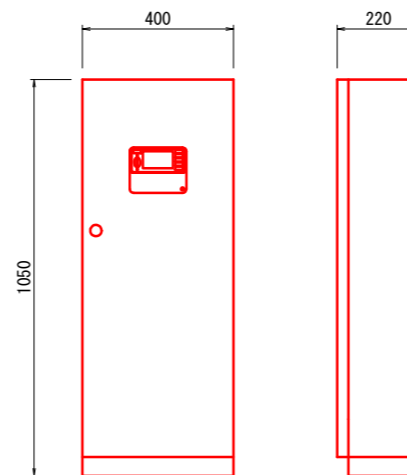
(既設 参考図)



カメラ中継盤 2面 SCALE:1/10

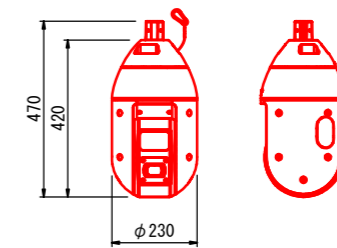


積算電力計収納箱外形図 SCALE:1/10



N P	積算動力計箱
材質	SS (5Y7/1)
板厚	扉1.6mm、ボディ1.6mm
ハンドル	平面キーハンドル

Webカメラ 2台 SCALE:1/10

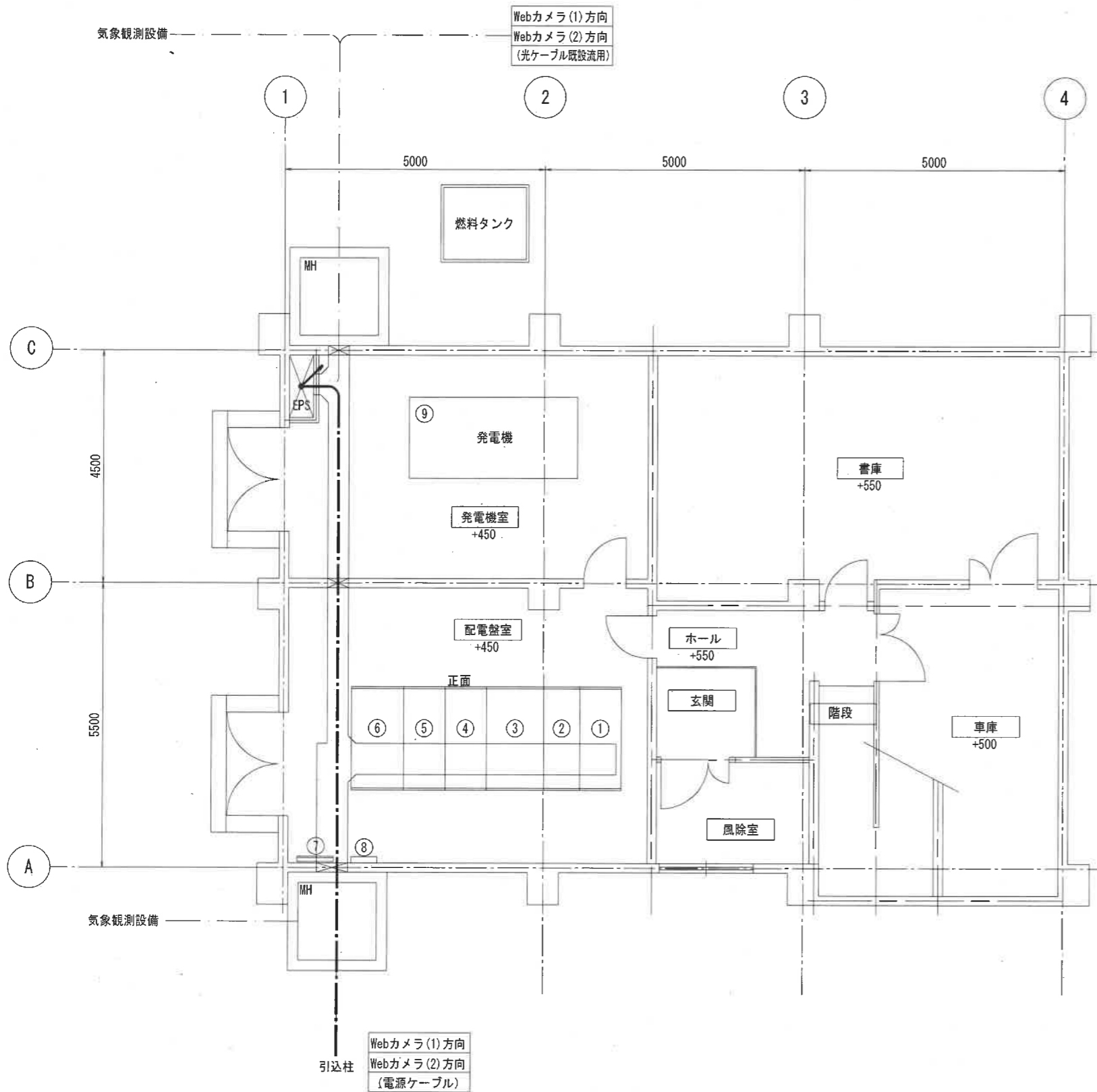


管理事務所1階配置平面図 (計画)

S=1:50

別紙5-12 点検対象施設図面
鳴瀬川地区 二ツ石ダム(1/4)

施工図



1階 機器名称一覧表

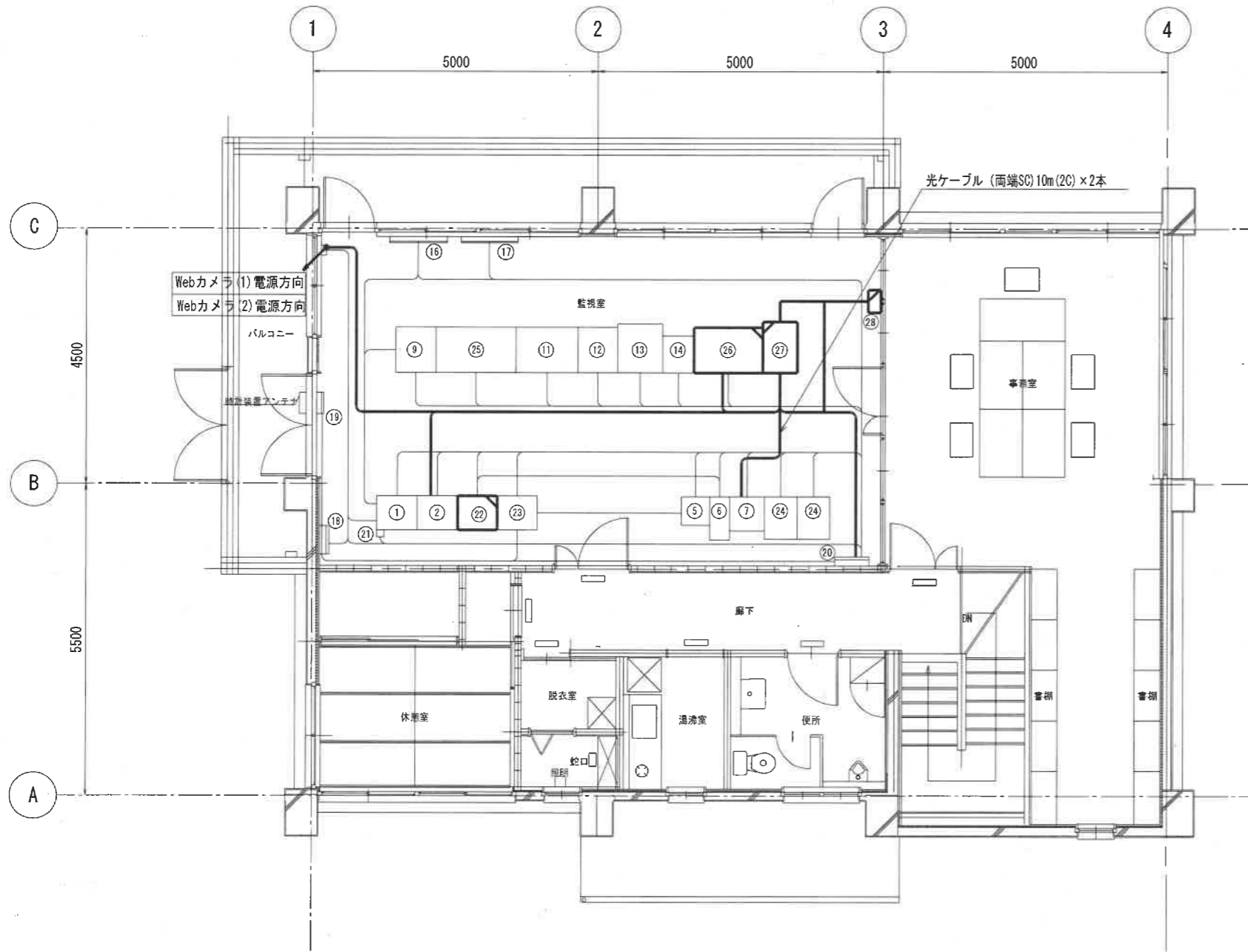
No.	機器名称	W×D×H	備考
①	引込受電盤	800×2000×2350	既設
②	コンデンサ盤	700×2000×2350	既設
③	主変圧器盤	1100×2000×2350	既設
④	自家発切替・動力配電盤	800×2000×2350	既設
⑤	動力変圧器・配電盤	800×2000×2350	既設
⑥	電灯変圧器・配電盤	1000×2000×2350	既設
⑦	接地端子盤	700×100	既設
⑧	保安器盤	500×120	既設
	光回線終端装置	800×2000×2350	既設
⑨	発電機		既設

管理事務所2階配置平面図 (計画)

別紙5-12 点検対象施設図面
鳴瀬川地区 ニツ石ダム(2/4)

S=1:50

施工図



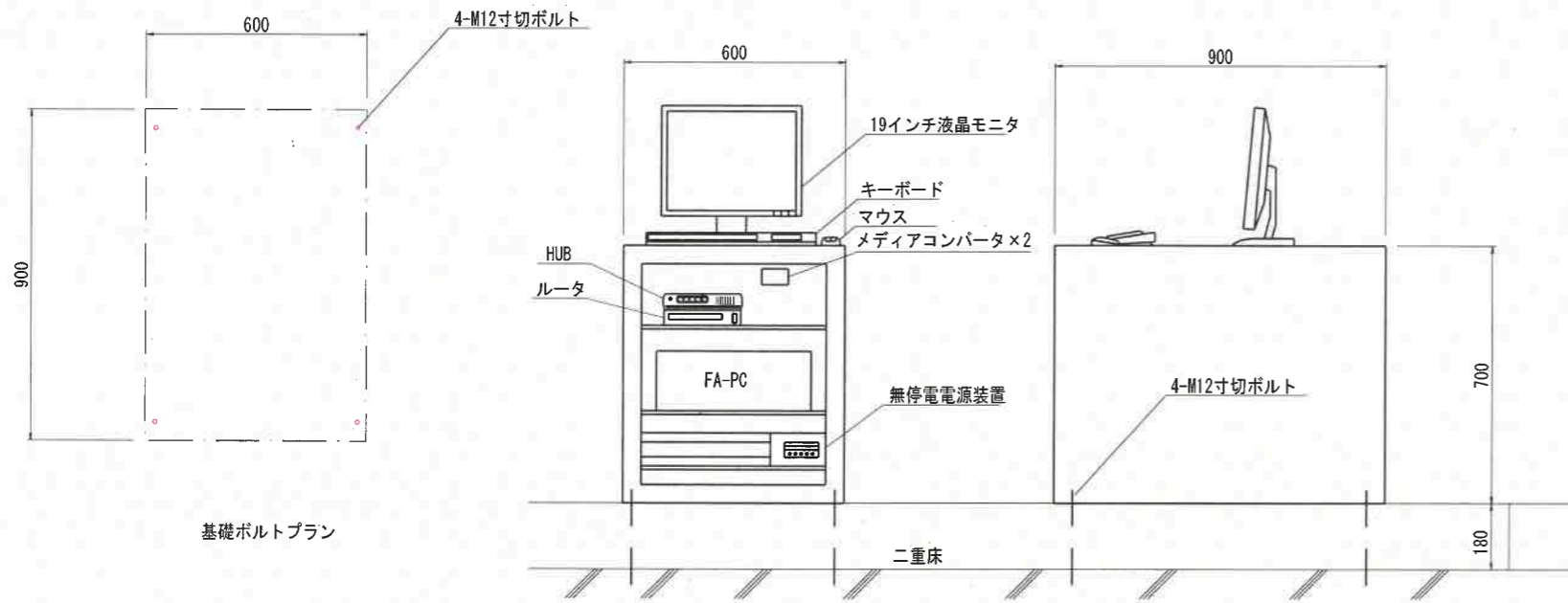
No.	機器名称	W×D×H	備考
①	放流警報制御監視装置	700×600×2150	既設
②	光ケーブル接続盤、気象観測装置	700×600×2150	既設
③	欠番		-
④	欠番		-
⑤	耐雷トランス	500×500×780	既設
⑥	無停電電源装置	350×760×1020	既設
⑦	CCTV制御装置 (光ケーブル予備 4C 成端)	600×600×2050	既設
⑧	欠番		-
⑨	CCTV操作卓	700×800×700	既設
⑩	欠番		-
⑪	ディスプレイ卓	1100×800×700	既設
⑫	移動無線装置	700×800×700	既設
⑬	プリンタ (警報装置)	800×860×900	既設
⑭	カラープリンタ	550×650×980	既設
⑮	欠番		-
⑯	CCTV表示装置		既設
⑰	大型表示装置		既設
⑱	サイレン・回転灯制御盤	550×300×850	既設
⑲	時計装置		既設
⑳	管理設備用分電盤	600×250×1500	既設
㉑	同軸避雷器 (放流警報、移動無線)		既設
㉒	入出力処理装置2 (Web配信装置のみ改造)	700×600×2150	一部改造
㉓	入出力処理装置1	700×600×2150	既設
㉔	堤体観測装置・地震観測装置	570×750×2070	既設
㉕	データ処理装置、点検・応急対策カイド装置 (非常停止スイッチ箱 (既設) 含む)	1400×800×700	既設
㉖	堤体観測装置・地震観測装置 (データ処理)	1200×800×700	改造
㉗	防災情報ネットワーク装置	600×900×700	新設
㉘	積算電力計箱	400×250×800	新設

機器外観図

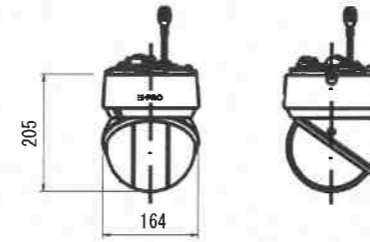
別紙 5-12 点検対象施設図面
鳴瀬川地区 ニツ石ダム(3/4)

施工図

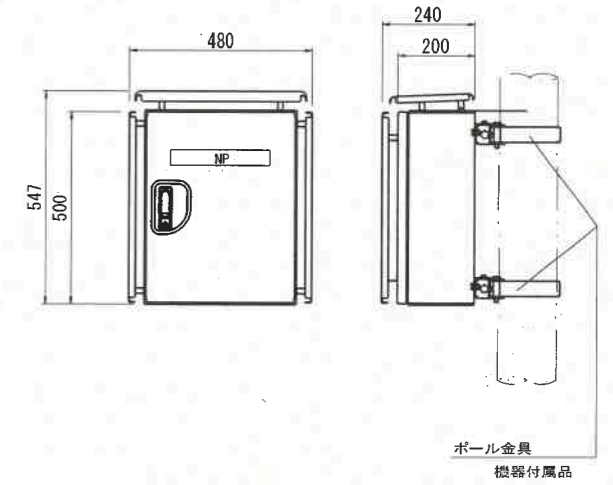
防災情報NW装置 外形図 SCALE:1/10



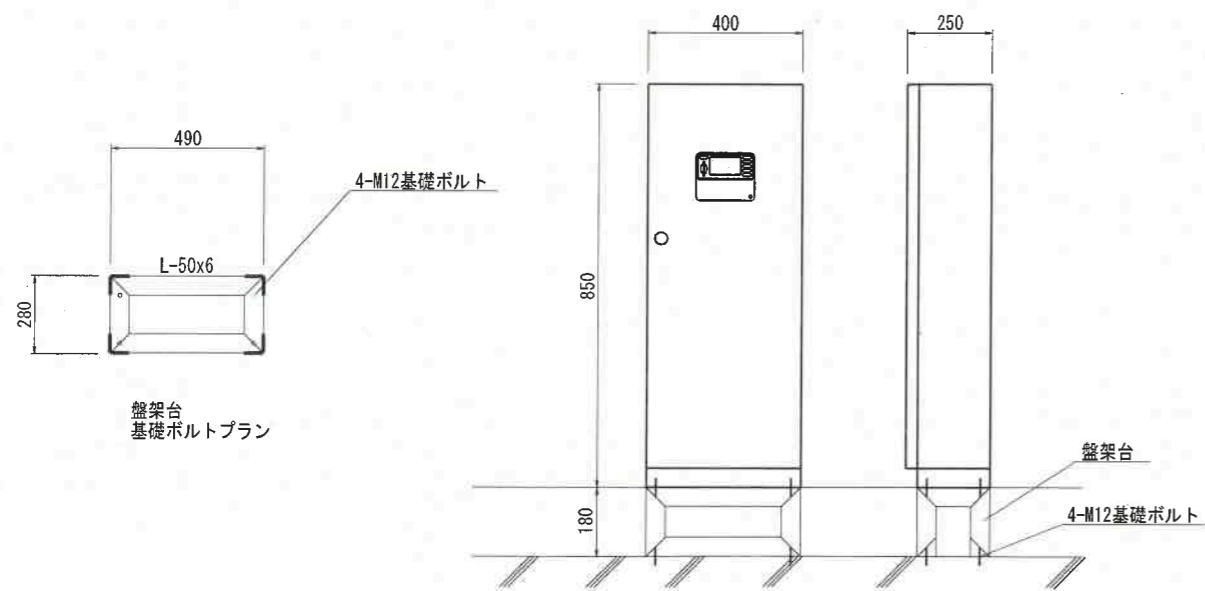
Webカメラ 2台 SCALE:1/10



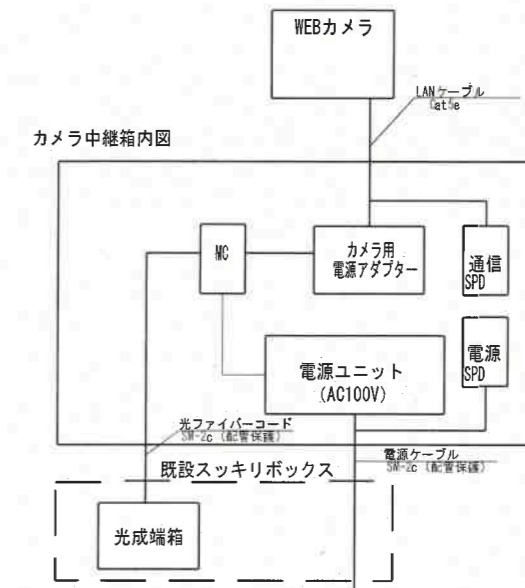
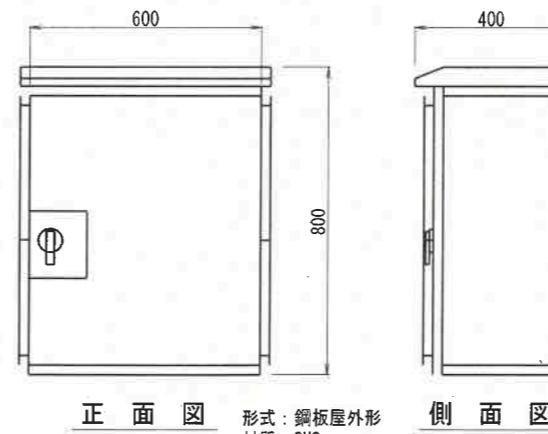
カメラ中継箱 2面 SCALE:1/10



積算電力計箱外形図 SCALE:1/10



三ヶ内屋外中継装置外形図 縮尺:10 既設利用



N P	積算電力計箱
材質	SS (SUS316)
板厚	扉2.3mm、ボディ2.3mm
ハンドル	平面キーハンドル

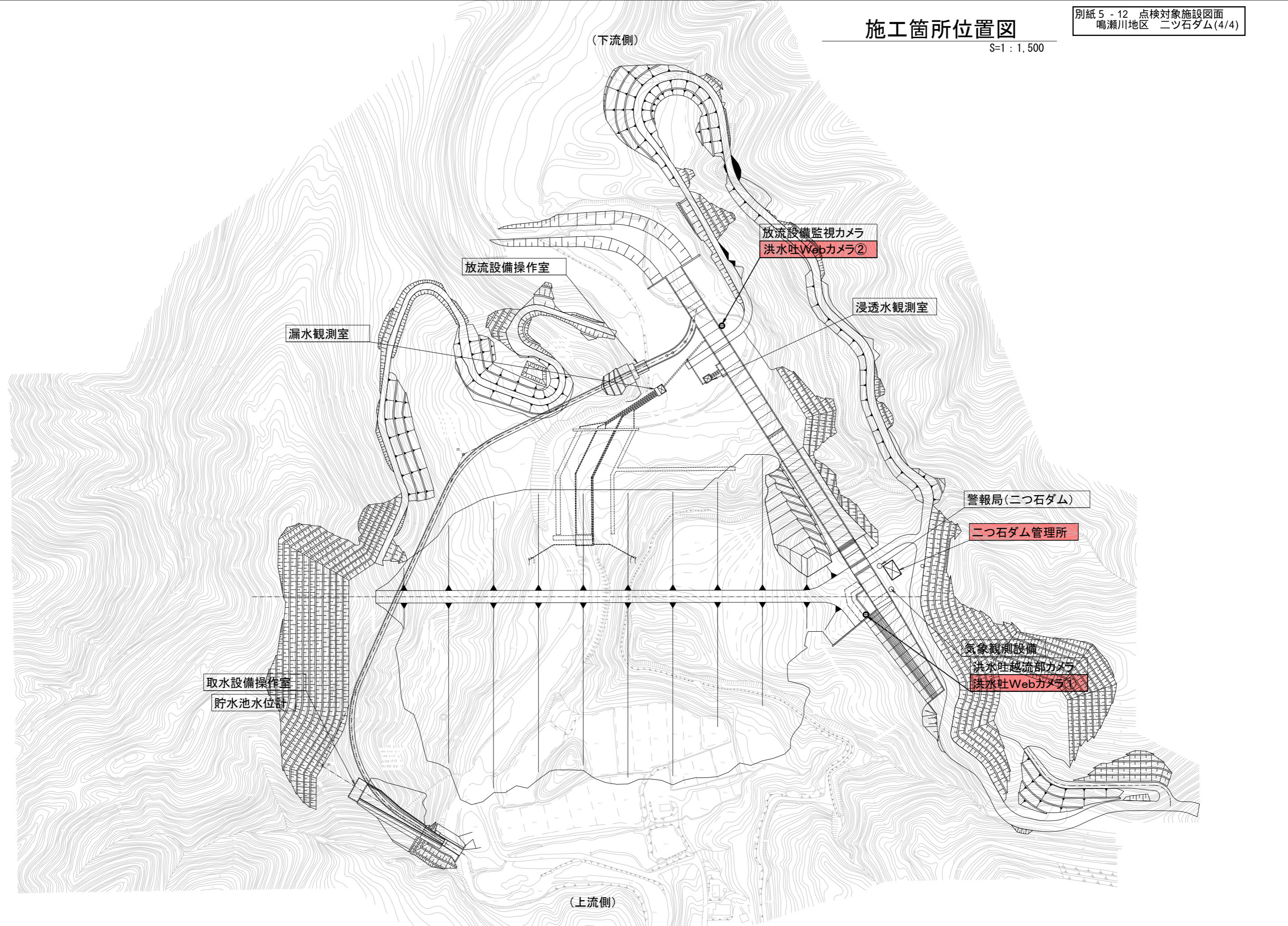
施工箇所位置図

別紙 5 - 12 点検対象施設図面
鳴瀬川地区 ニツ石ダム(4/4)

S=1 : 1,500

(下流側)

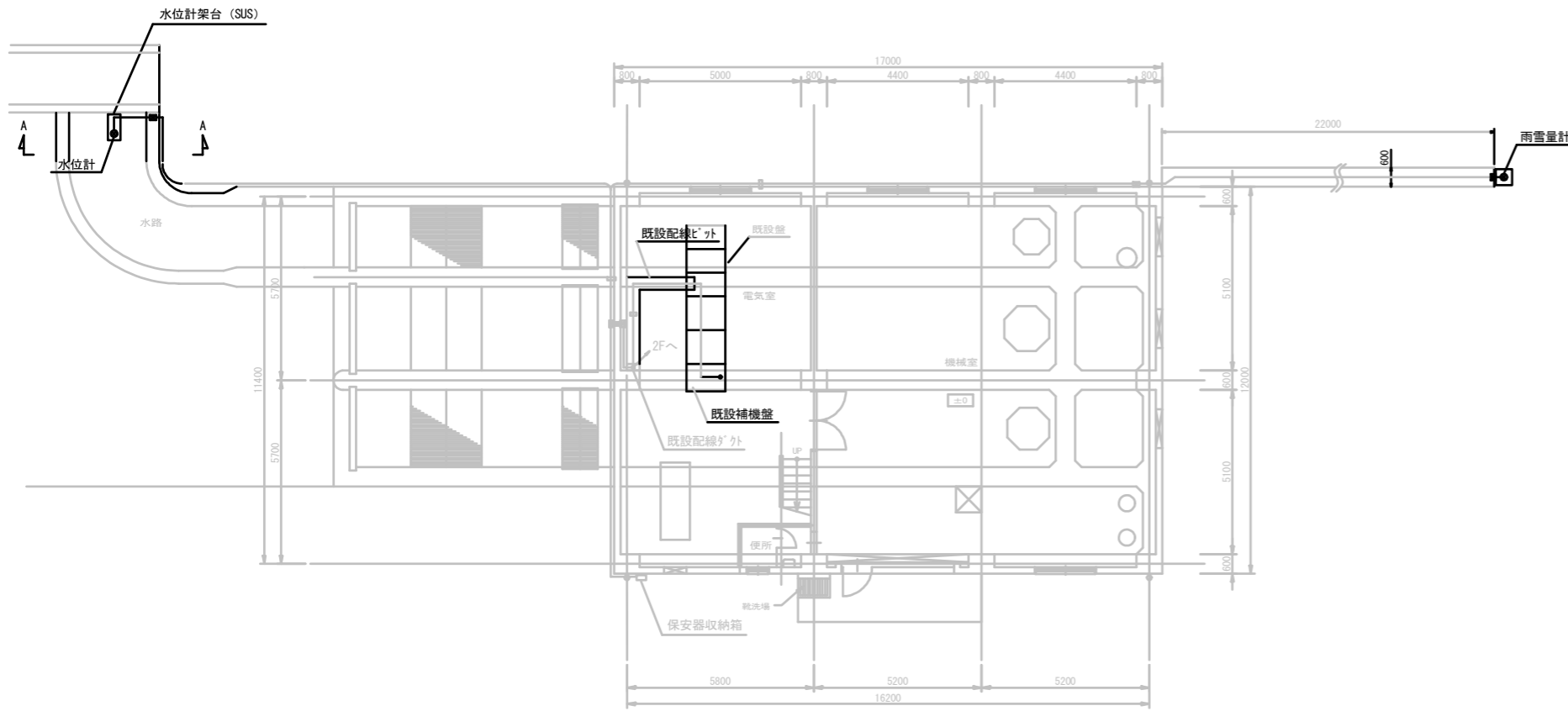
(上流側)



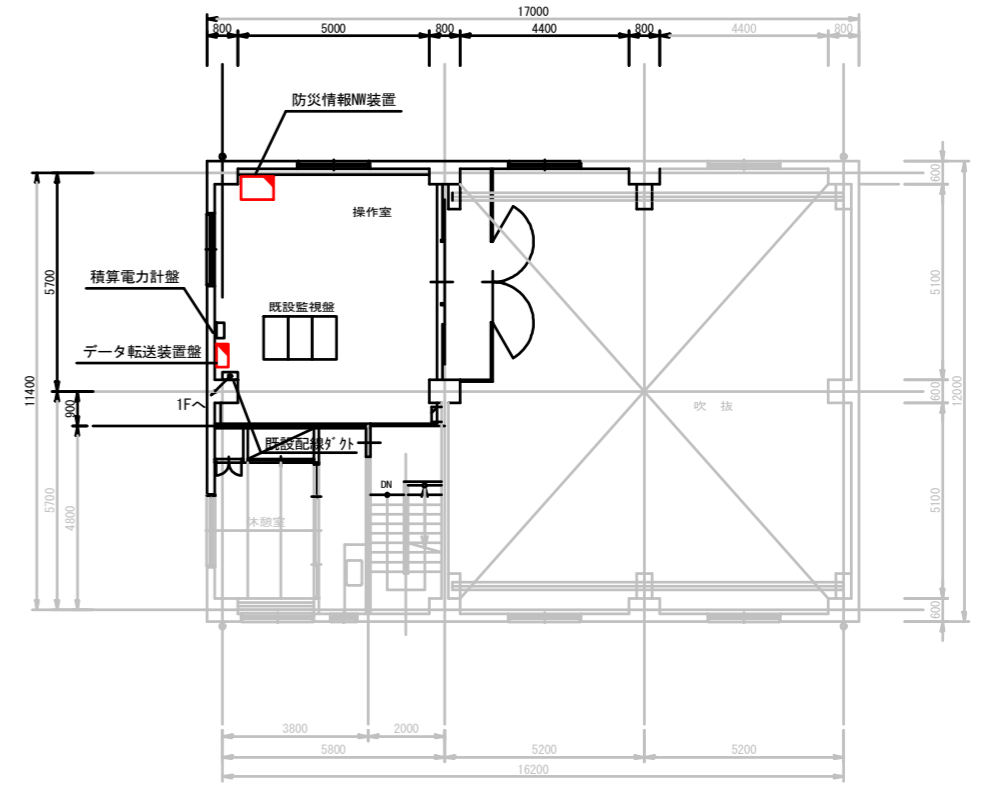
中田地区（糠塚排水機場） 全体配置図

別紙 5-13 点検対象施設図面
中田地区 糠塚排水機場(1/2)

1階平面図 S=1/100

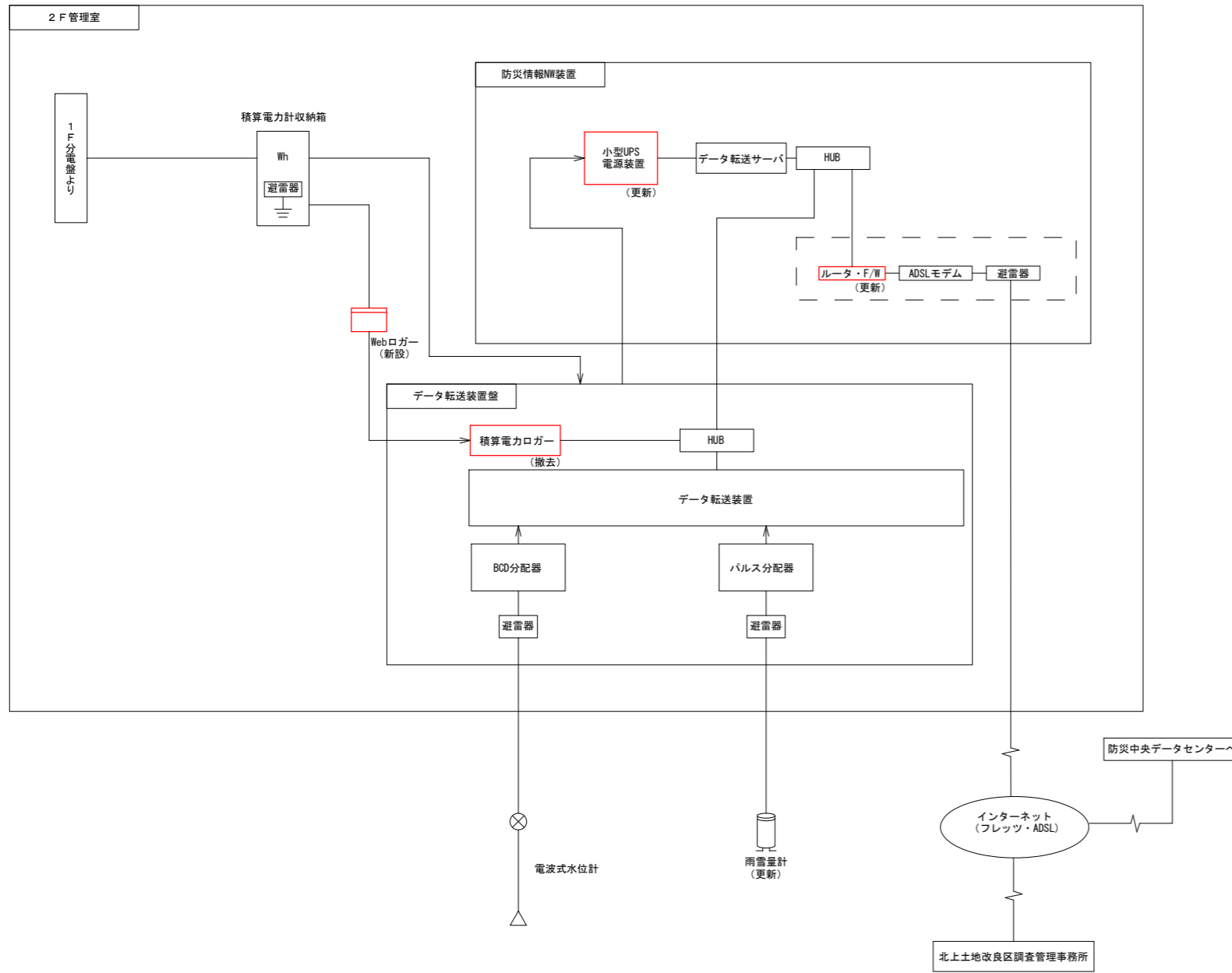


2階平面図 S=1/100



システム構成図

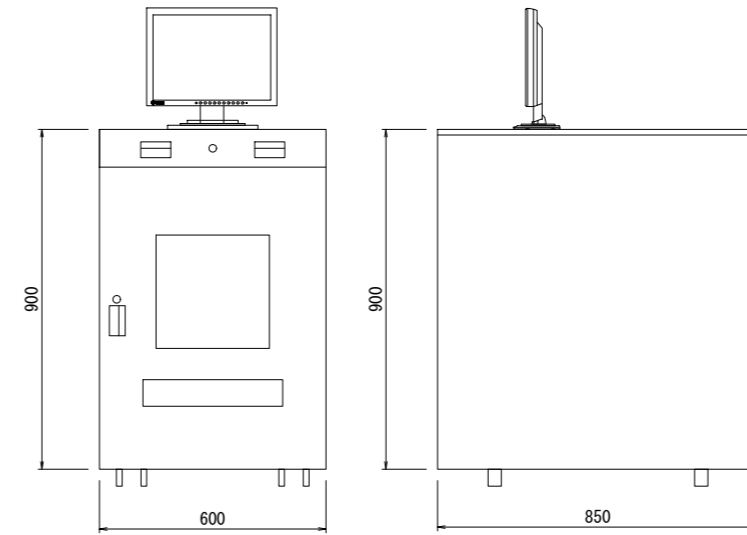
S=NON SCALE



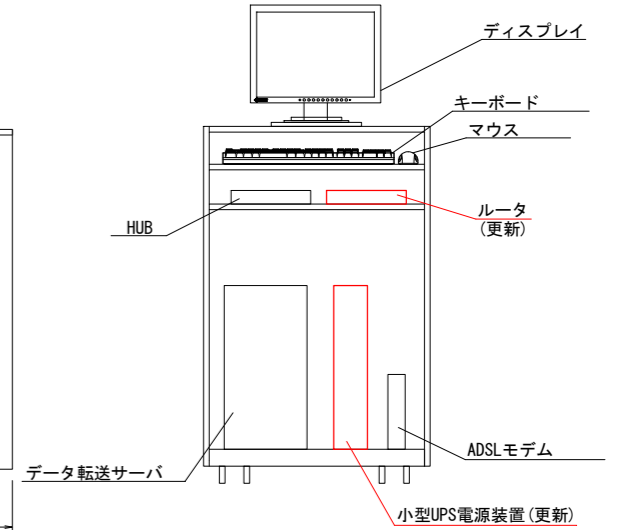
機器外形図

S=1:10

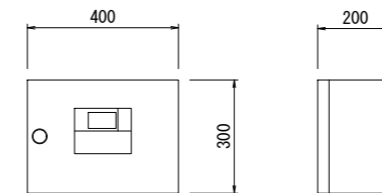
防災情報NW装置 外形図



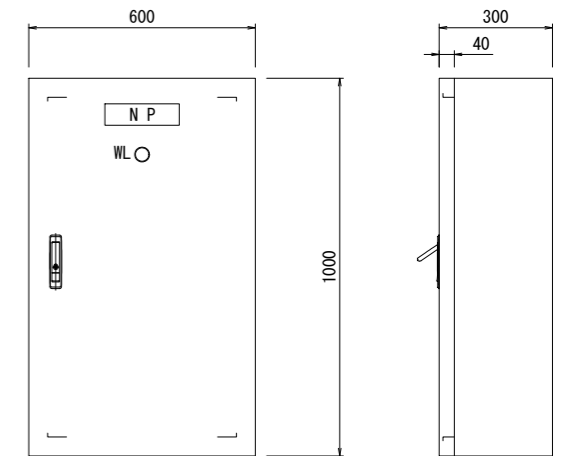
防災情報NW装置 内部配置図



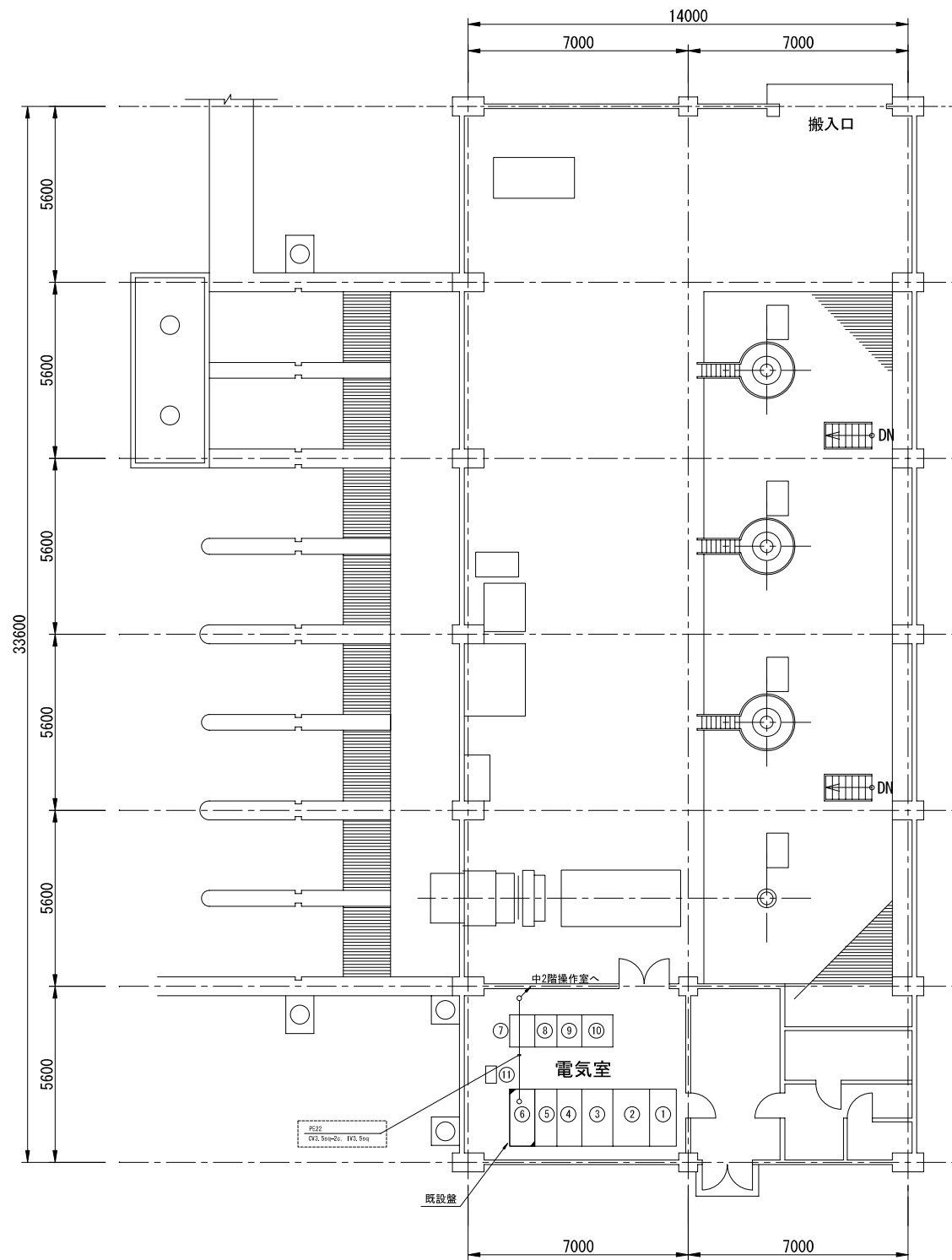
積算電力計収納箱外形図



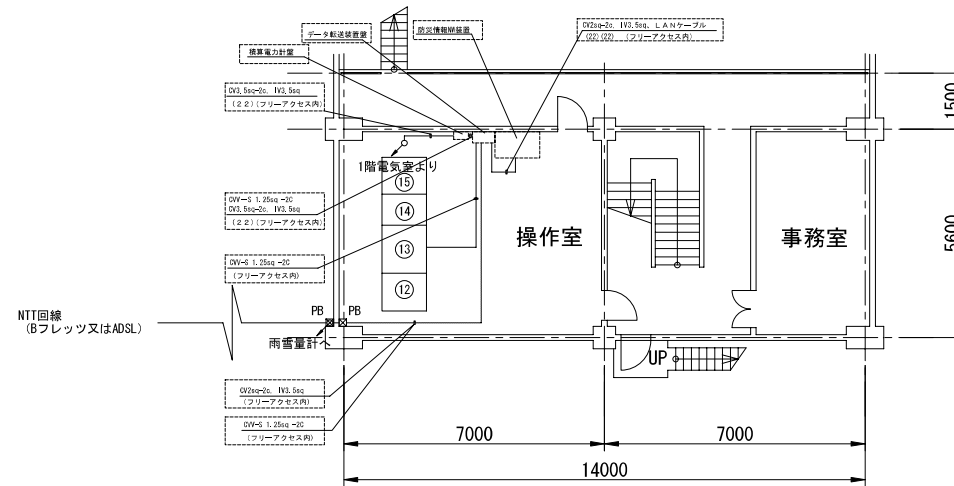
データ転送装置盤外形図



N P	積算電力計箱
材質	SS(指定色塗装)
取付ベース	木板ベース(計器部25mm、スイッチ部15mm)
板厚	扉1.6mm、ボディ1.6mm
ハンドル	封印付キーハンドル



1階平面図 S=1/200



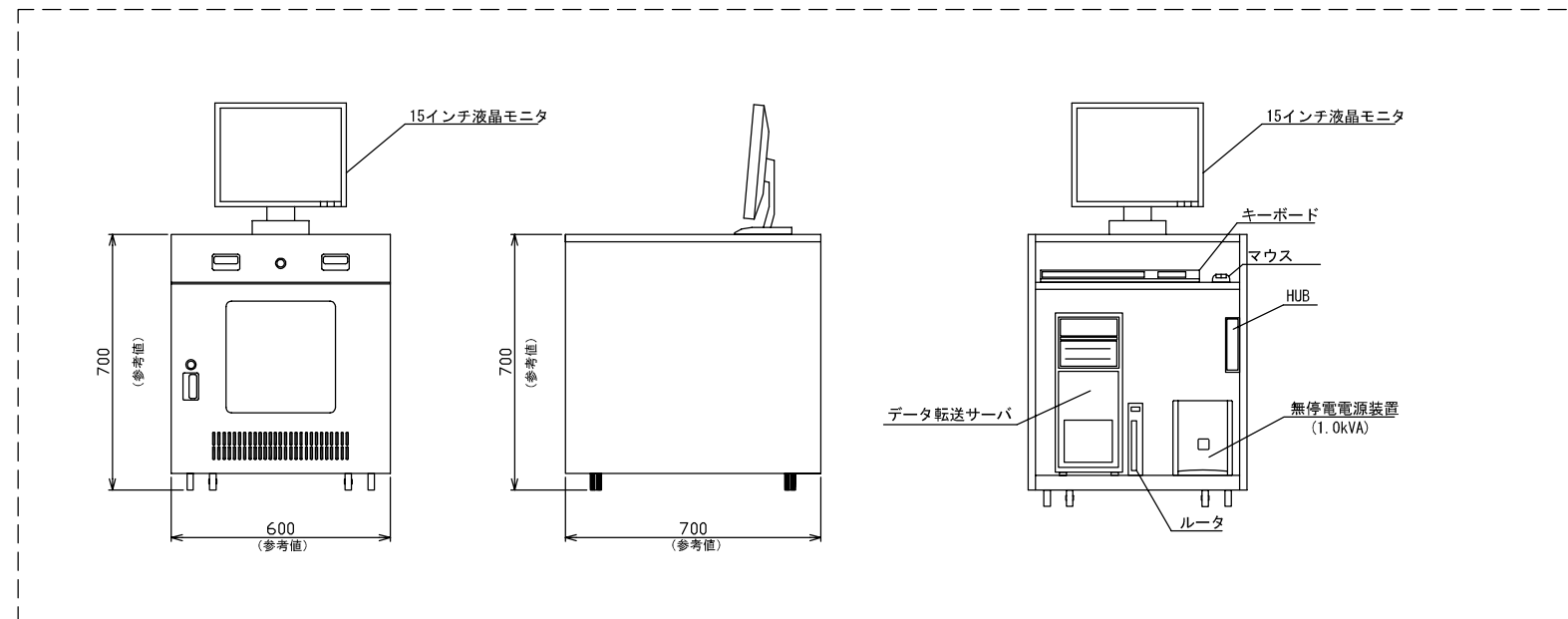
中2階平面図 S=1/200

操作室機器名称一覧表

番号	記号	名称	備考
①		引込受電盤	
②		主変圧器盤	
③		主変2次/所内変圧器盤	
④		1、2号主ポンプ盤	
⑤		3号主ポンプ盤	
⑥		低圧主幹盤	
⑦		低圧動力(1)	
⑧		低圧動力(2)	
⑨		補助継電器盤	
⑩		直流電源装置	
⑪		遠制御電器盤	
⑫		監視操作卓	
⑬		監視操作卓	
⑭		監視操作卓	
⑮		監視操作卓	

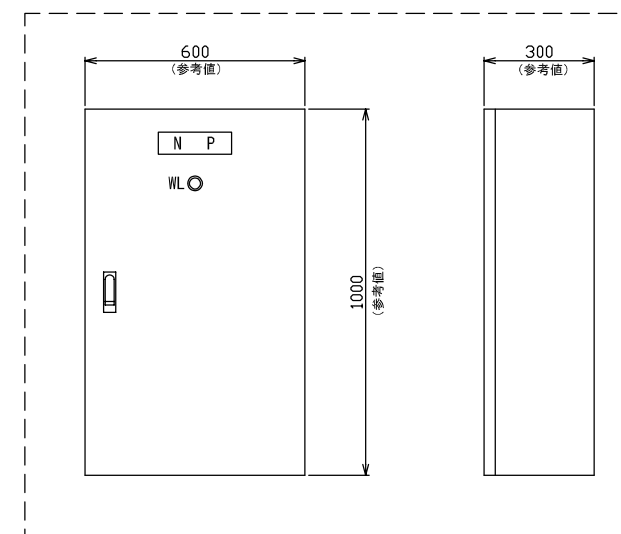
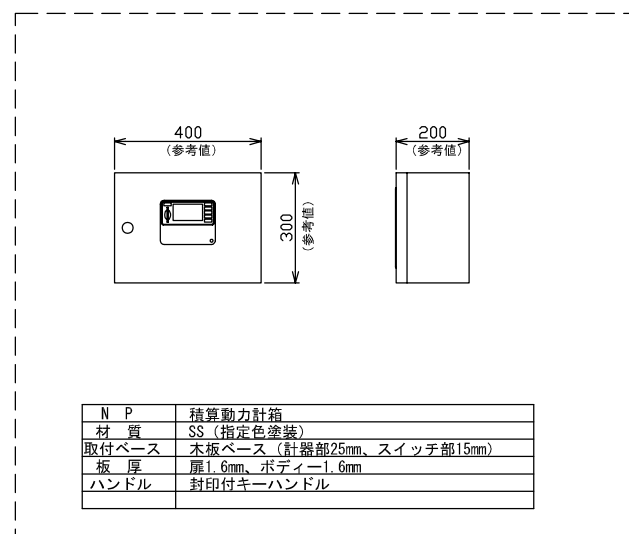
防災情報NW装置 外形図 S=1/10

防災情報NW装置 内部配置図 S=1/10



積算電力計収納箱外形図 S=1/10

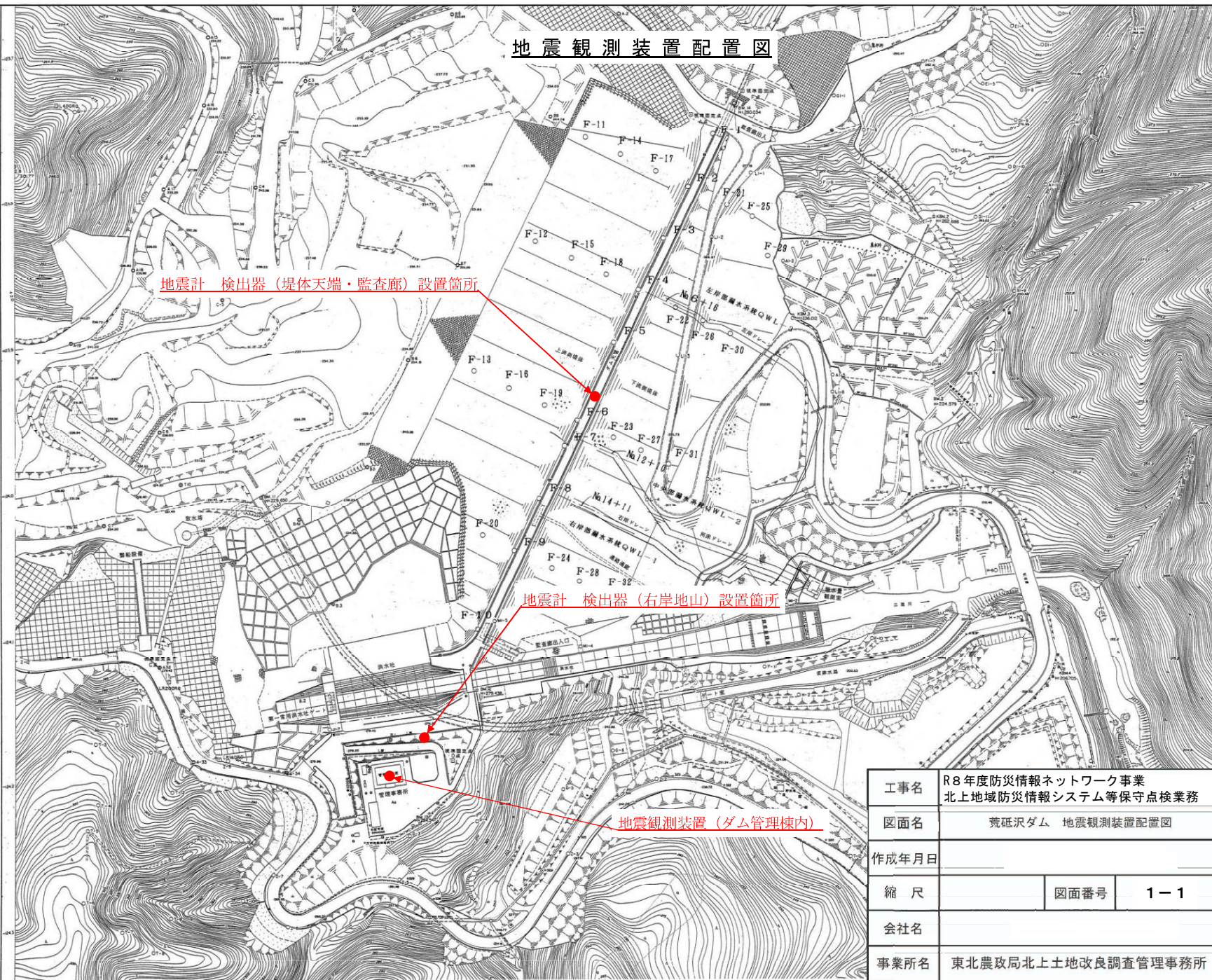
データ転送装置盤外形図 S=1/10



1. 迫川上流地区 荒砥沢ダム 施工図

- 1-1. 地震観測装置配置図
- 1-2. 地震計設置位置図
- 1-3. 地震計設置断面図（堤体天端）
- 1-4. 地震計基礎設置図（監査廊内）
- 1-5. 地震計設置図（右岸地山部）
- 1-6. ダム管理棟2階機器配置図
- 1-7. 地震観測装置システムブロック図

地震観測装置配置図



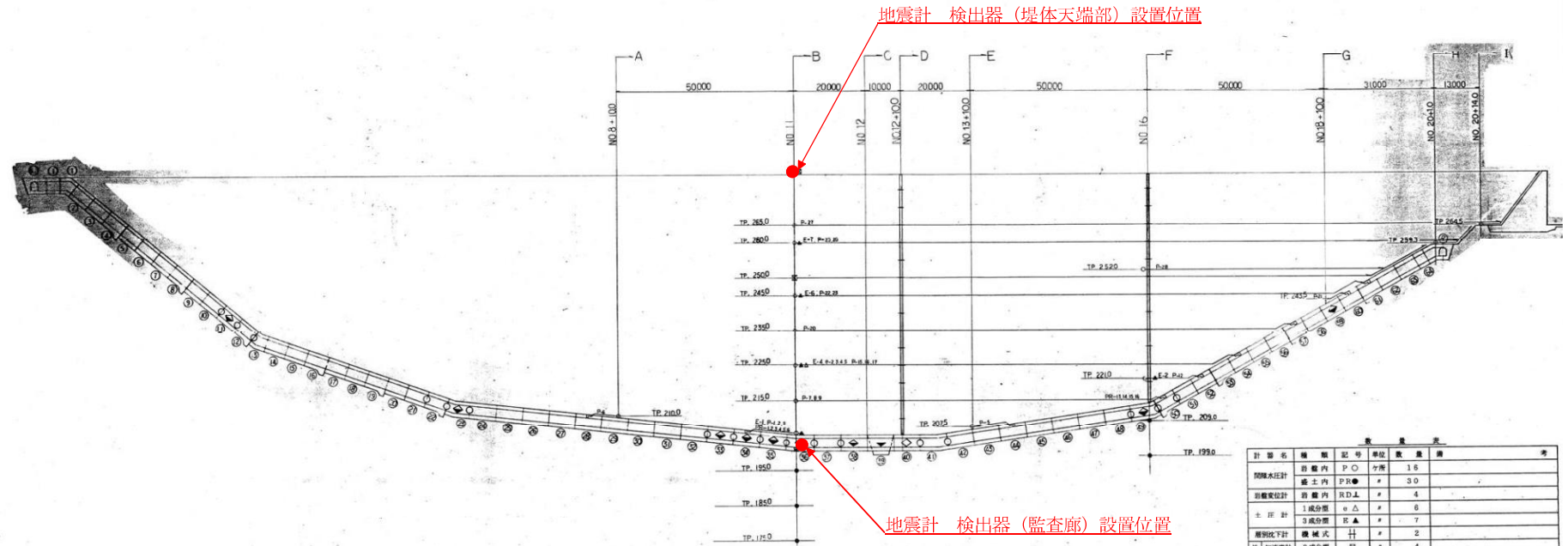
地震計 検出器 (堤体天端・監査廊) 設置箇所

地震計 検出器 (右岸地山) 設置箇所

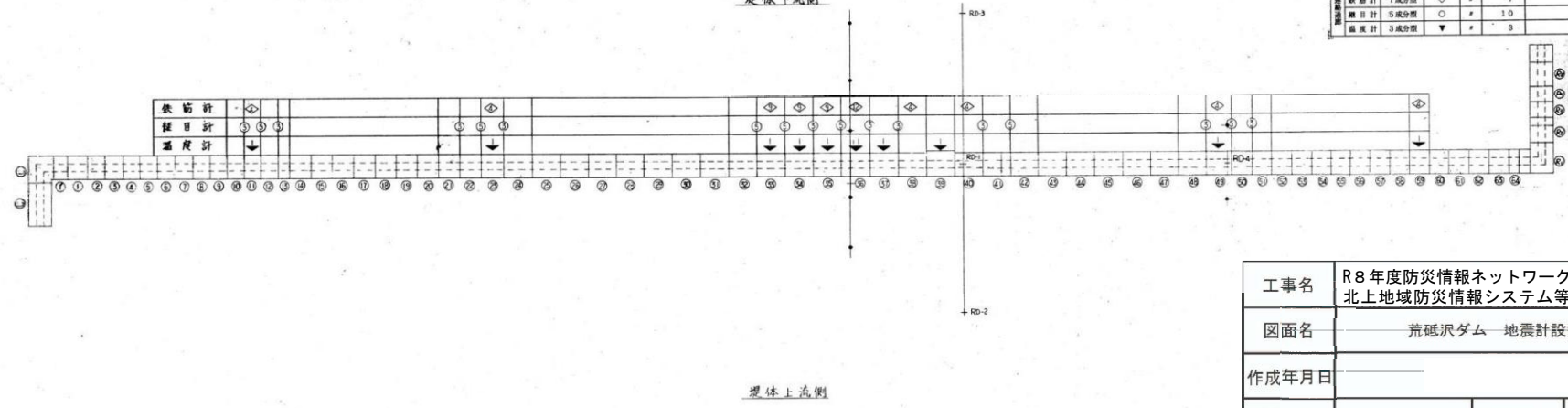
地震観測装置 (ダム管理棟内)

工事名	R8年度防災情報ネットワーク事業 北上地域防災情報システム等保守点検業務		
図面名	荒砥沢ダム 地震観測装置配置図		
作成年月日			
縮尺		図面番号	1-1
会社名			
事業所名	東北農政局北上土地改良調査管理事務所		

地震計設置位置図



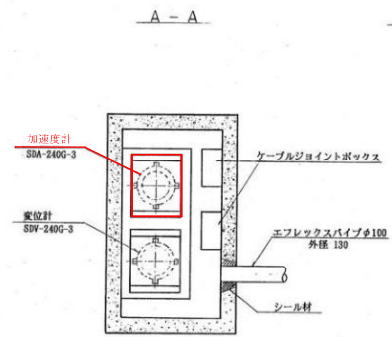
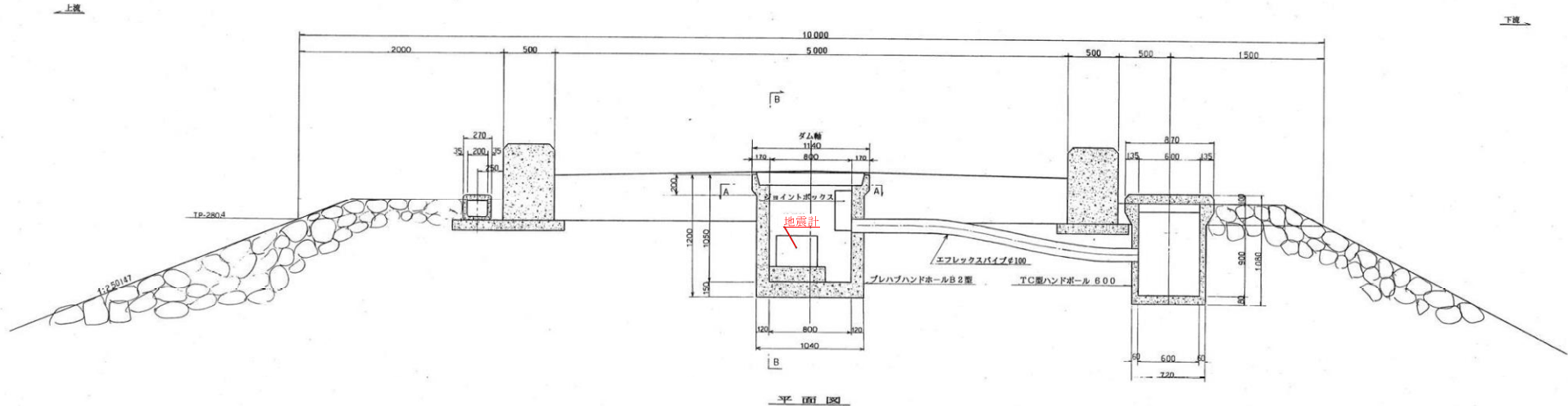
平面図
堤体下流側



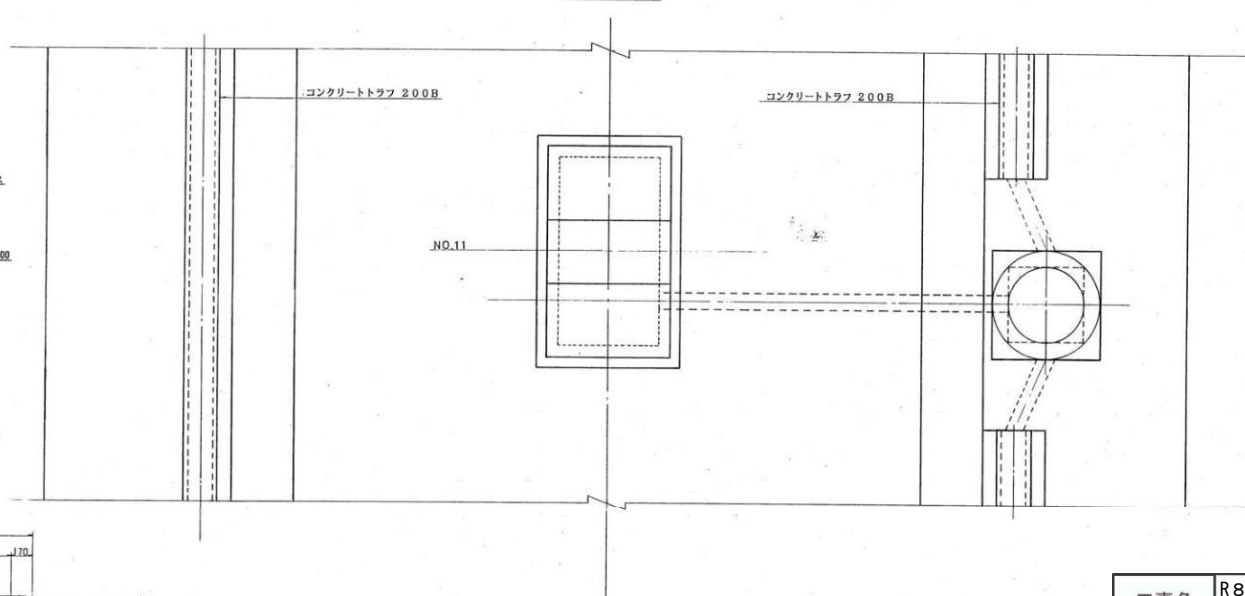
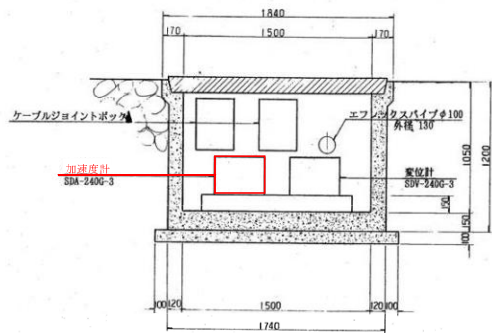
数量表					
計器名	種類	記号	単位	数量	備考
防除水圧計	計器内	P ○	ヶ所	18	
	堤土内	P R ●	#	30	
防範水位計	計器内	R D △	#	4	
土圧計	1成分器	U △	#	8	
	3成分器	R ▲	#	7	
	機械式	井	#	2	
加速度計	3成分器	◎	#	4	
変位計	2成分器	◎	#	1	
変位器	鉄線計	4.0, 11.0線	○	#	63
	鋼目計	3.0線	○	#	65
	鋼線計	1.11線	▼	#	17
温度計	鉄線計	7成分器	○	#	7
	鋼目計	5成分器	○	#	10
	鋼線計	3成分器	▼	#	3

工事名	R8年度防災情報ネットワーク事業 北上地域防災情報システム等保守点検業務		
図面名	荒砥沢ダム 地震計設置位置図		
作成年月日			
縮尺		図面番号	1-2
会社名			
事業所名	東北農政局北上土地改良調査管理事務所		

地震計設置断面図 (堤体天端)

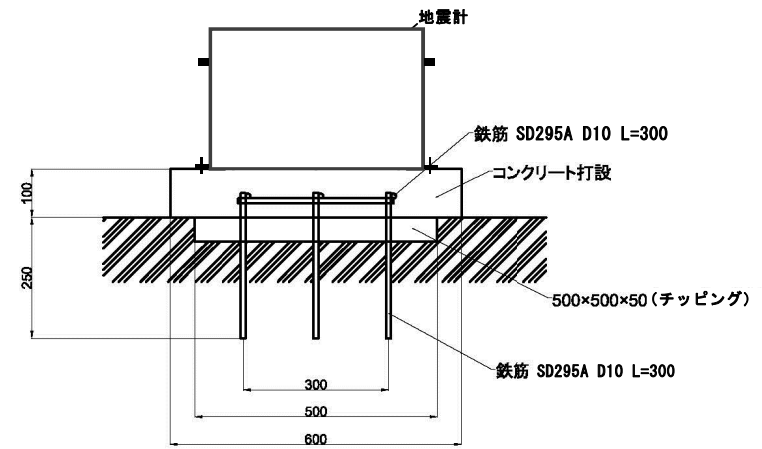
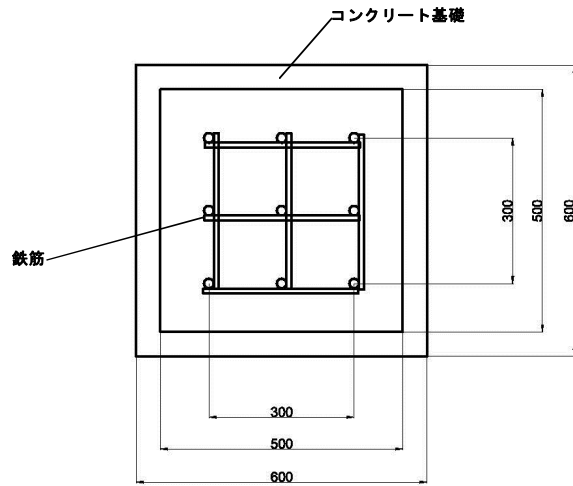


B - B



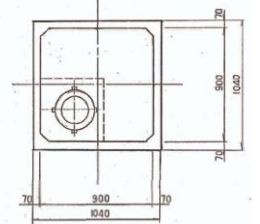
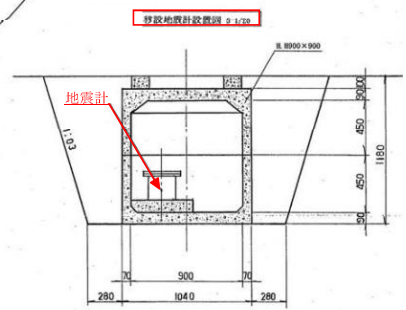
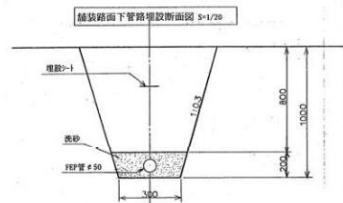
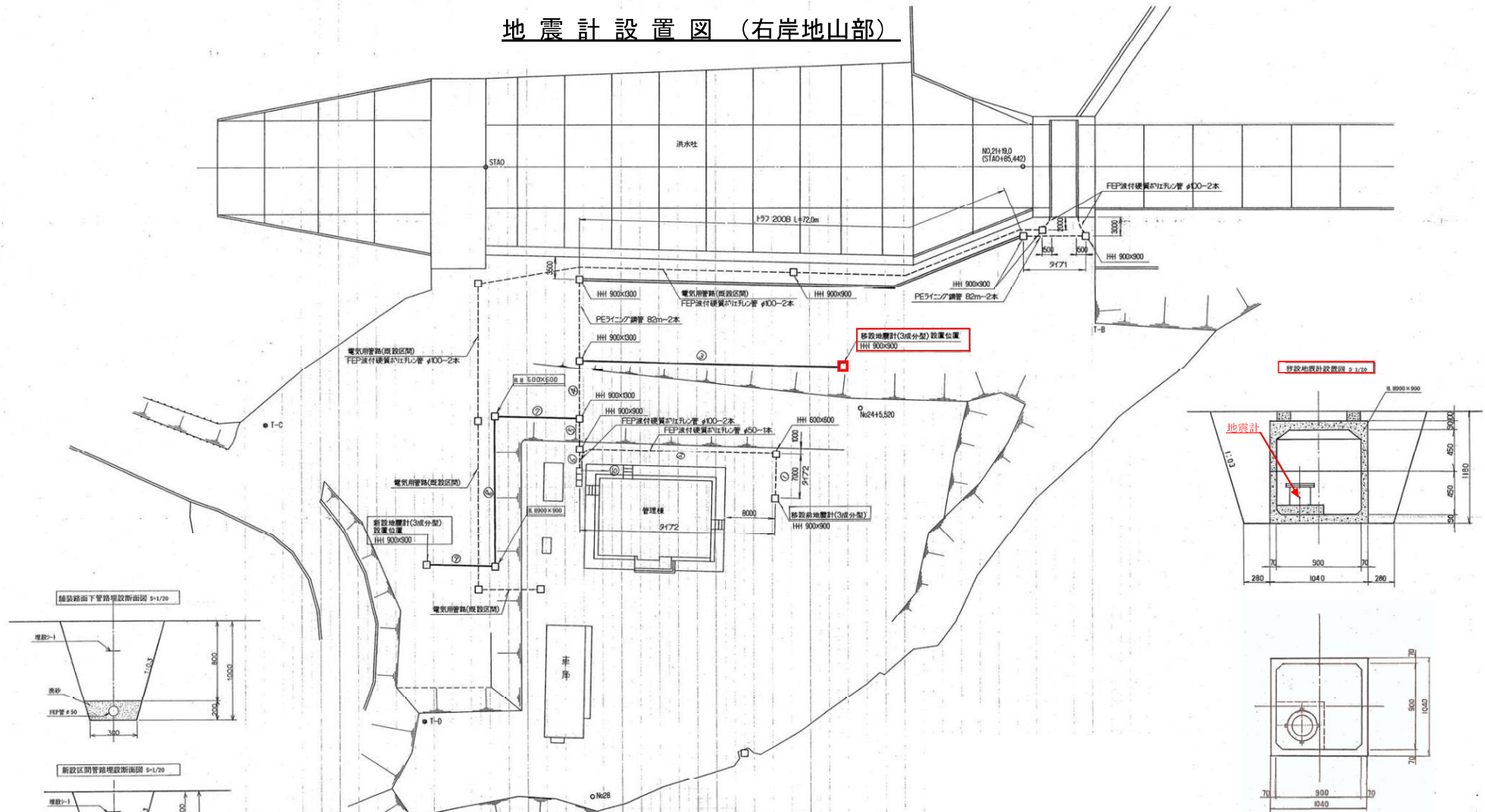
工事名	R8年度防災情報ネットワーク事業 北上地域防災情報システム等保守点検業務		
図面名	荒砥沢ダム 地震計設置断面図 (堤体天端)		
作成年月日			
縮尺		図面番号	1-3
会社名			
事業所名	東北農政局北上土地改良調査管理事務所		

地震計基礎設置図（監査廊内）



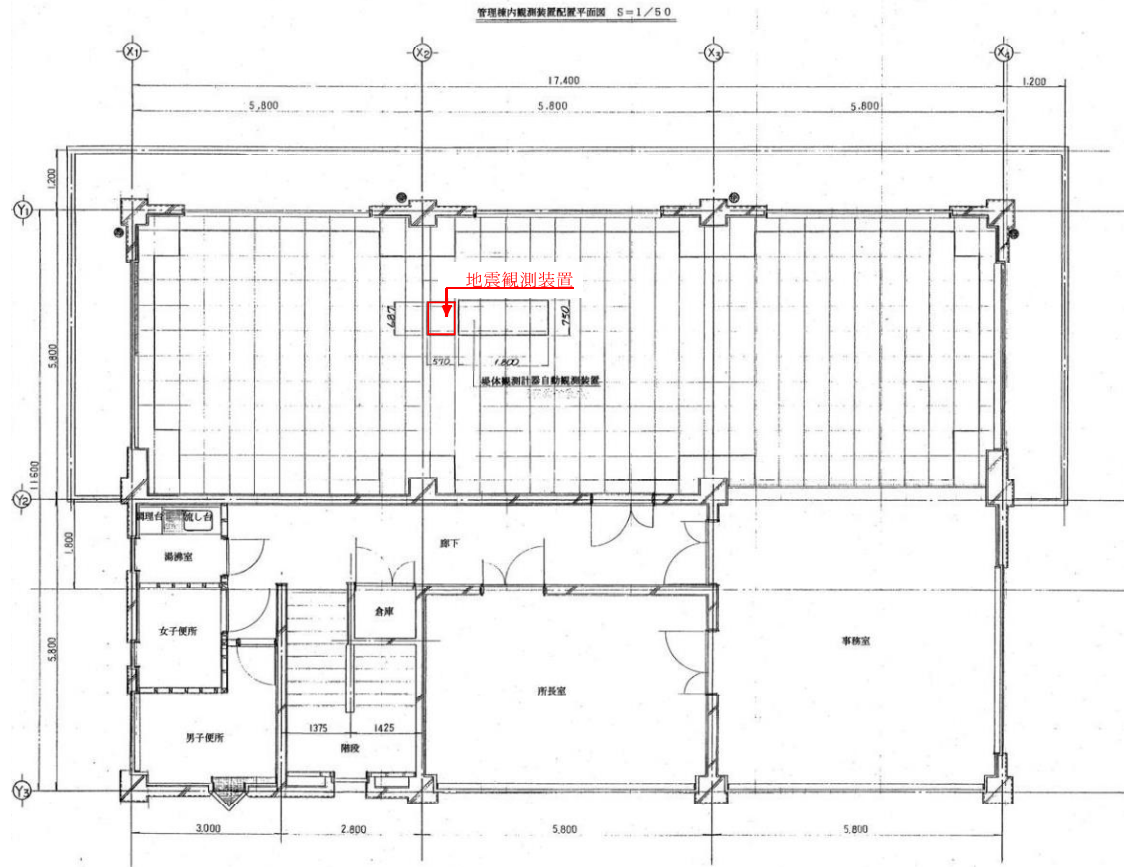
工事名	R8年度防災情報ネットワーク事業 北上地域防災情報システム等保守点検業務		
図面名	荒砥沢ダム 地震計基礎設置図（監査廊内）		
作成年月日			
縮尺	図面番号	1-4	
会社名			
事業所名	東北農政局北上土地改良調査管理事務所		

地震計設置図 (右岸地山部)



工事名	R8年度防災情報ネットワーク事業 北上地域防災情報システム等保守点検業務		
図面名	荒砥沢ダム 地震計設置図 (右岸地山部)		
作成年月日			
縮尺		図面番号	1-5
会社名			
事業所名	東北農政局北上土地改良調査管理事務所		

ダム管理棟 2階機器配置図

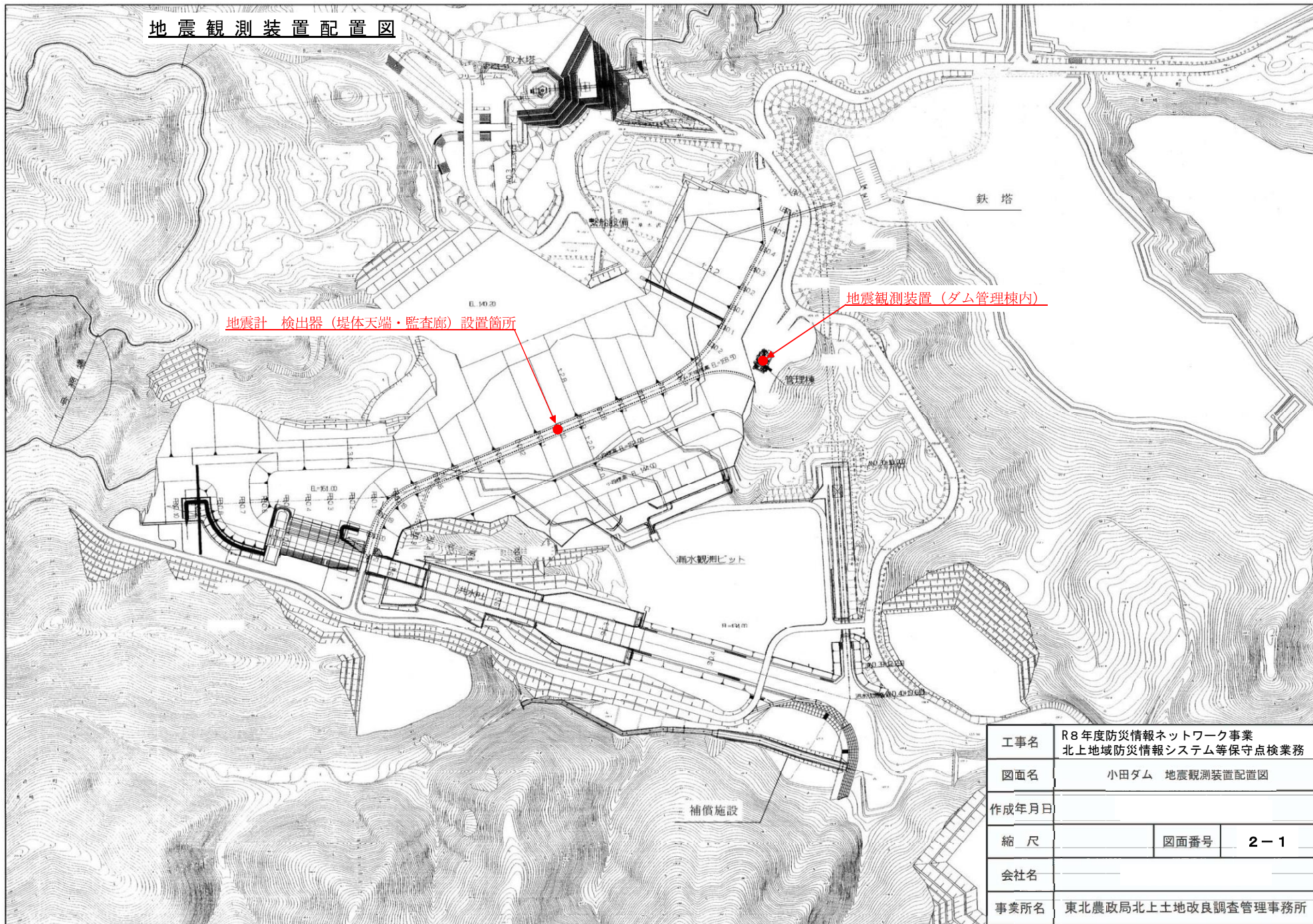


工事名	R8年度防災情報ネットワーク事業 北上地域防災情報システム等保守点検業務		
図面名	荒砥沢ダム ダム管理棟 2階機器配置図		
作成年月日			
縮尺	図面番号	1-6	
会社名			
事業所名	東北農政局北上土地改良調査管理事務所		

2. 迫川上流（二期）地区 小田ダム 施工図

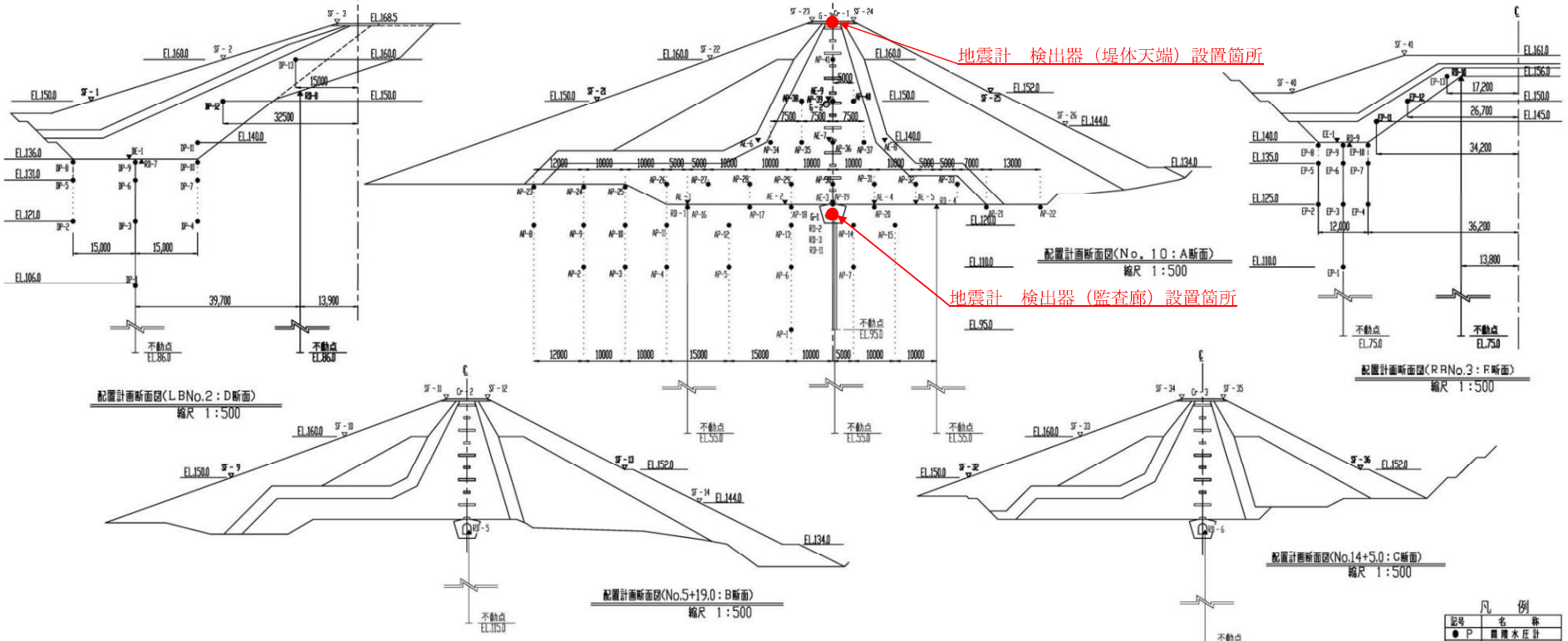
- 2-1. 地震観測装置配置図
- 2-2. 地震観測計器配置断面図
- 2-3. 地震計設置位置図
- 2-4. ダム管理事務所2階機器配置図
- 2-5. 地震観測装置システムブロック図

地震観測装置配置図



工事名	R8年度防災情報ネットワーク事業 北上地域防災情報システム等保守点検業務		
図面名	小田ダム 地震観測装置配置図		
作成年月日			
縮尺	図面番号	2-1	
会社名			
事業所名	東北農政局北上土地改良調査管理事務所		

地震観測計器配置断面図



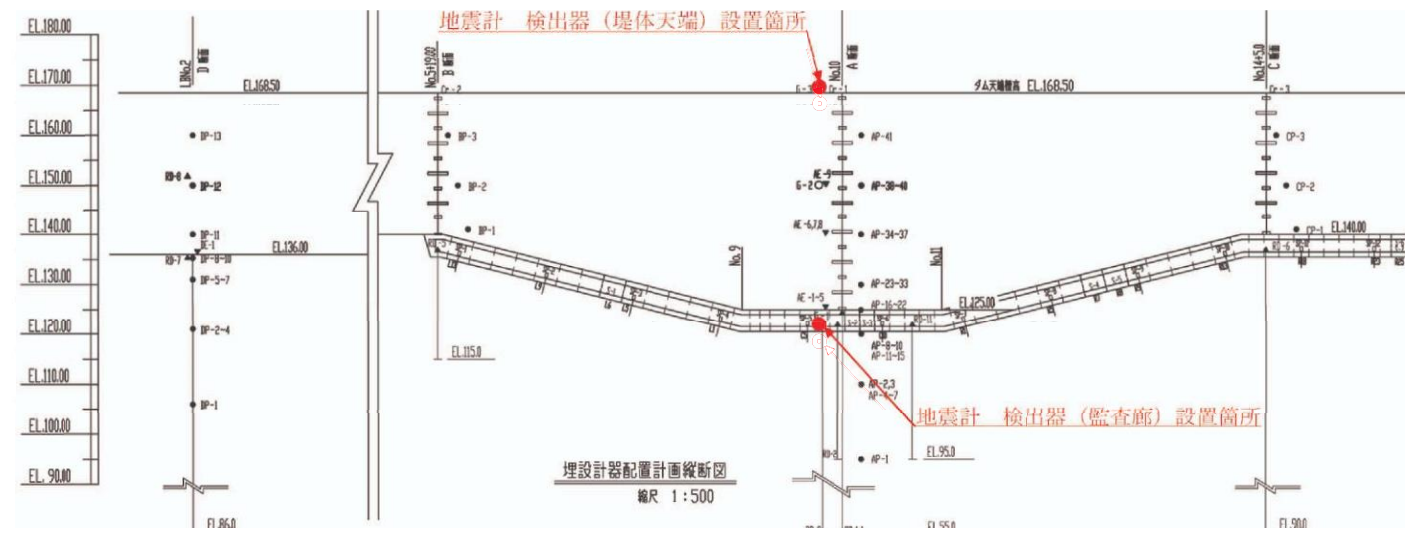
地震計 検出器 (堤体天端) 設置箇所

地震計 検出器 (監査廊) 設置箇所

地震計 検出器 (堤体天端) 設置箇所

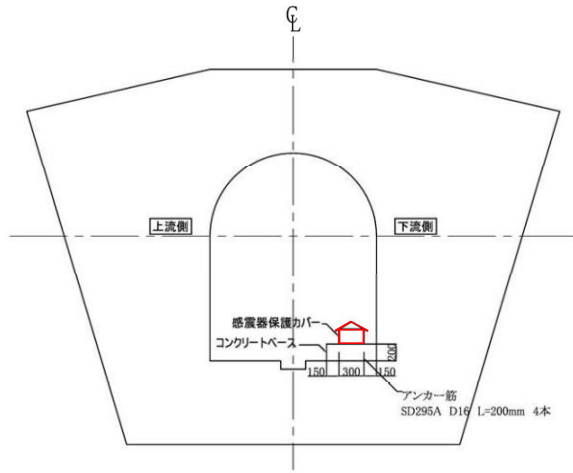
地震計 検出器 (監査廊) 設置箇所

凡例	
● P	簡式水圧計
▼ E	土圧計
□ Cr	層別式下計
○ G	地震計
▽ SF	表面変位計
▲ RD	岩盤の傾斜計
□-SP	湧水圧観測計
S	計測器

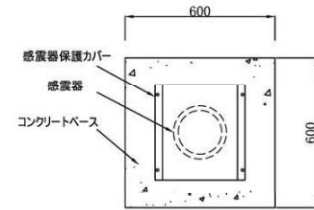


工事名	R8年度防災情報ネットワーク事業 北上地域防災情報システム等保守点検業務		
図面名	小田ダム 地震観測計器配置断面図		
作成年月日			
縮尺	図面番号	2-2	
会社名			
事業所名	東北農政局北上土地改良調査管理事務所		

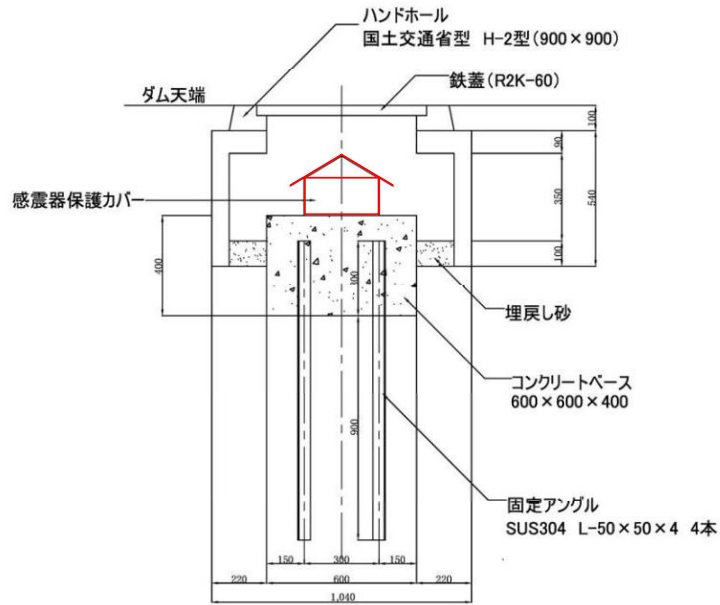
地震計設置図



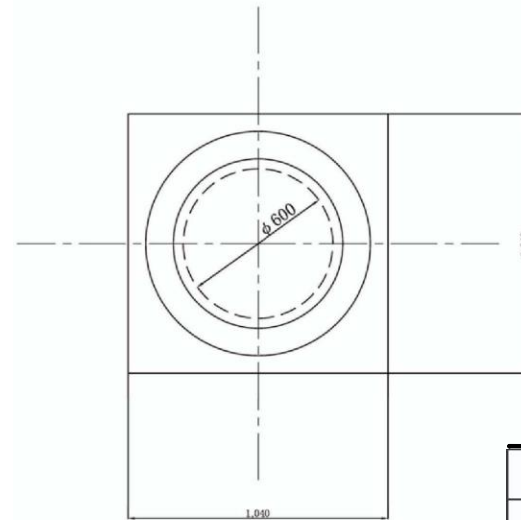
監査廊内地震計設置断面図 1:30
(DNO.9+15)



監査廊内地震計設置平面図 1:10



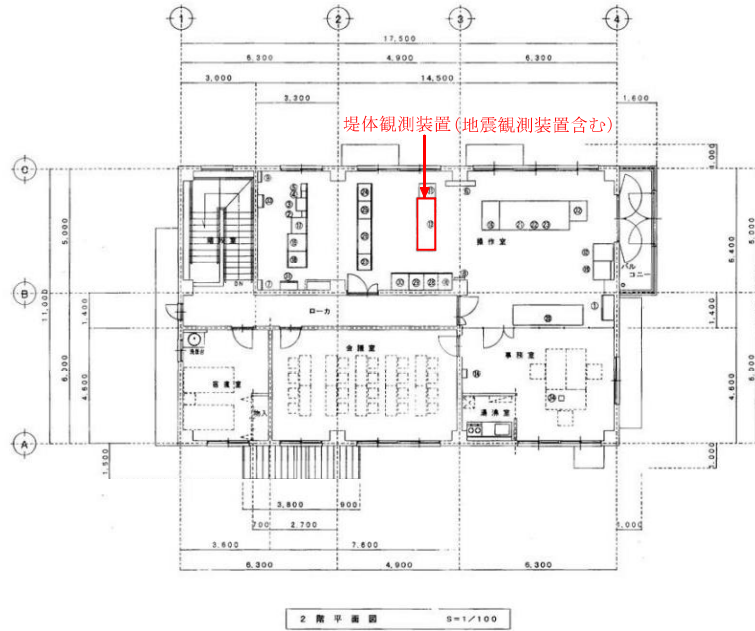
天端部地震計設置断面図 1:10
(DNO.9+15)



天端部地震計設置平面図 1:10

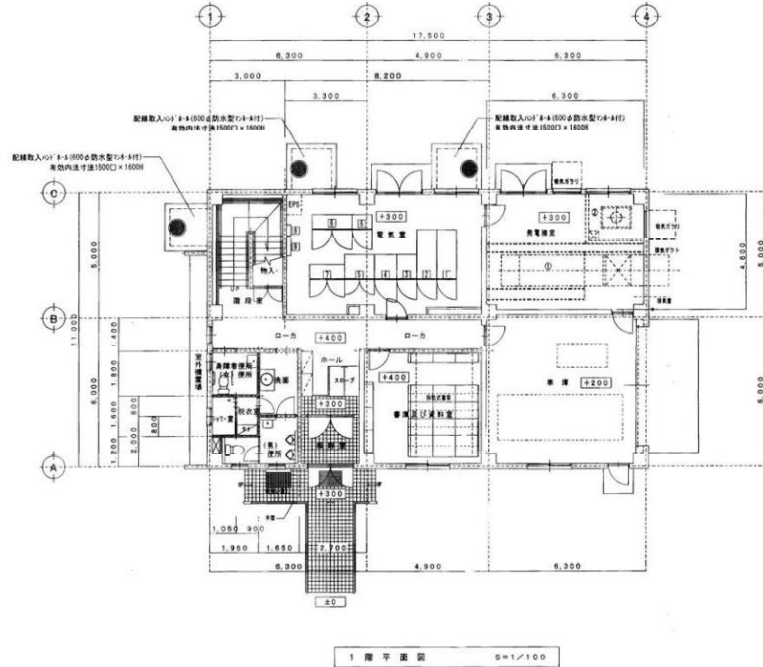
工事名	R8年度防災情報ネットワーク事業 北上地域防災情報システム等保守点検業務		
図面名	小田ダム 地震計設置位置図		
作成年月日	_____		
縮尺	図面番号	2-3	
会社名	_____		
事業所名	東北農政局北上土地改良調査管理事務所		

ダム管理事務所 2階機器配置図



凡例 (2階)

番号	名称	備考
①	分電盤	
②	7.500kVA変圧機設置	
③	デジタル多層複合機設置	
④	無線LAN無線機設置	
⑤	中継器子機 (MDP)	
⑥	情報計測機	
⑦	遠隔計測機	
⑧	時計設置	
⑨	ガイドローラ	
⑩	気象観測機	
⑪	堤体観測機・地震観測機 (ゲート付近)	
⑫	気象観測用プリンタ	
⑬	堤体観測機・地震観測機 (ゲート付近)	
⑭	警報表示機	
⑮	TM-A/L観測機	
⑯	CCITV操作機	
⑰	CCTV制御機	
⑱	業務用プリンタ	
⑲	記録用複合機	
㉑	日月時計用プリンタ	
㉒	操作記録用プリンタ	
㉓	カラーヘッドコピー	
㉔	気象警報機	
㉕	遠方手動操作機 (ゲート及び操作機)	
㉖	操作設定操作機	
㉗	演算処理機	
㉘	情報処理機	
㉙	入出力制御機	
㉚	充電器・予備機	
㉛	制水器具	
㉜	水道計測計器	
㉝	水道計測計器プリンター	
㉞	凍結防止装置制御機	
㉟	警報用プリンタ	
㊱	サイレン・回転制御機	
㊲	移動無線基地局 (可搬)	

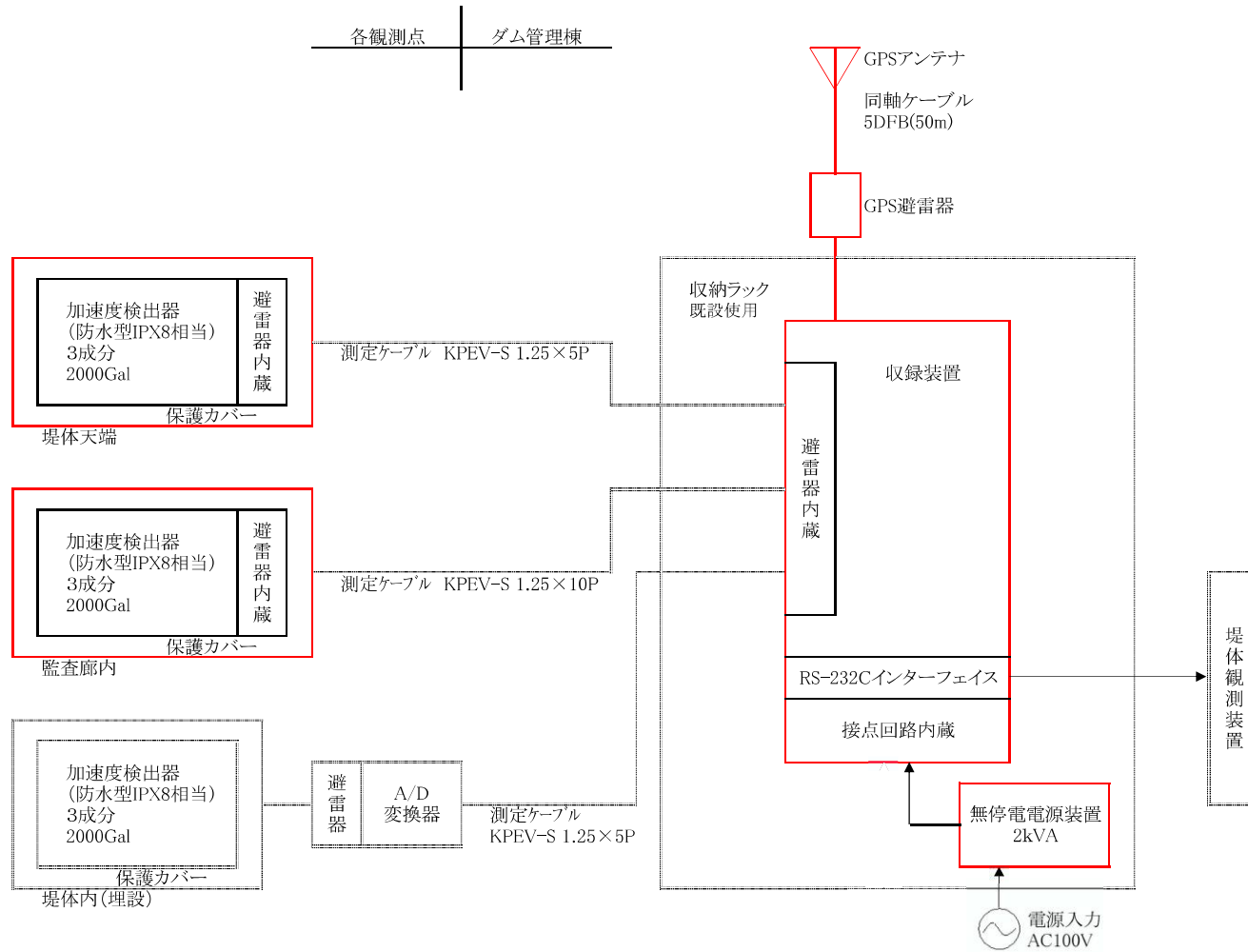


凡例 (1階)

番号	名称	備考
①	高圧引込受電機 (機)	
②	主変圧機 (機)	
③	切換機 (機)	
④	動力変圧機 (機)	
⑤	無停電電源装置 (機)	
⑥	操作電源装置・蓄電池機	
⑦	遠隔電線装置 (多重線機)	
⑧	制水計測中継機ボックス	
⑨	埋地機子機	
⑩	非常用自家発電機 室内型 (1-F)	
⑪	燃料タンク (9.90L)	

工事名	R8年度防災情報ネットワーク事業 北上地域防災情報システム等保守点検業務		
図面名	小田ダム ダム管理事務所 2階機器配置図		
作成年月日			
縮尺	図面番号	2-4	
会社名			
事業所名	東北農政局北上土地改良調査管理事務所		

地震観測装置 システムブロック図



既設使用
 更新箇所

工事名	R8年度防災情報ネットワーク事業 北上地域防災情報システム等保守点検業務		
図面名	小田ダム 地震観測装置システムブロック図		
作成年月日			
縮尺	図面番号	2-5	
会社名			
事業所名	東北農政局北上土地改良調査管理事務所		

<荒砥沢ダム用>

AccuSEIS Omni

地 震 観 測 装 置
点 検 報 告 書

令和 年 月

添付資料

現地試験記録

1. 即時校正記録 波形
 最大値表
 震度情報

2. 後トリガ記録 波形
 最大値表
 震度情報

3. 即時計測記録 波形
 最大値表
 震度情報

4. 起動試験結果 波形
 最大値表
 震度情報

地震観測装置(AccuSEIS Omni) 総合評価表

1) 作業期間： 令和 年 月 日 _____

2) 作業者名： _____

3) 地 点： _____

4) 総合評価

評 価 内 容	判 定	備 考
検出器の設置状況評価		
検出器及び測定ケーブル系統の導通抵抗、絶縁抵抗評価		
AccuSEIS Omni収録装置 地震記録収録機能評価 (地震観測可能)		
AccuSEIS Omni無停電電源機能評価 (内蔵バッテリー)		
無停電電源機能評価 (UPS)		
現地システムコントローラーの評価 (印字含む)		
遠方監視装置システムコントローラーの評価 (印字含む)		
光送受信器の機能評価		
外部表示機/接点ユニットの設置状況、動作状況の評価		
外部出力状況、メール配信ソフト、その他通信機能の評価		

判 定	A:正常、正常復帰	B:観測に支障ないが注意必要	C:異常(別途処置要)
	D:異常(処置不可)	E:オーバーホール必要	F:更新希望

バッテリー推奨交換時期

種 類	メーカー	型式	推奨交換時期	備 考
内蔵バッテリー			年 月	
無停電電源装置			年 月	

5) 特記事項

以上、御報告いたします。

地震観測装置(AccuSEIS Omni) 点検調整チェックシート (1/3)

1. 検出器 (別紙、検出器チェックシート)

項目	判定基準	チェック	備考
コイル抵抗値 (導通抵抗)	測定値が判定基準を満足する事。(検出器入力端子より各コイルの導通抵抗をマルチメータにて測定する。)		
絶縁抵抗値	測定値が判定基準を満足する事。(観測盤の検出器入力端子より耐雷器を含めた各コイルの対地間、線間の絶縁抵抗を10V以下のマルチメータにて測定する。)		
設置状況確認	方向が指定通りであり、水平であること。		
外観チェック	錆、傷等のない事。設置状態に異常の無い事。		

2. AccuSEIS Omni 収録装置 (内蔵バッテリー、起動試験除く)

項目	判定基準	チェック	備考
待機状態のランプ チェック	POWERランプが点灯している事。		
	SENSORランプが点灯している事。		
	TIME-LOCKランプが点灯している事。		
	RECORD、TRIGGERランプが消灯している事。		
	ERRORランプが消灯している事。		
設定確認 1	設定確認表 1 を実施し確認する事。		
GPS受信状況、及び 内部時計	gpsinfoコマンドにより、GPSの正常受信が確認できる事。		
	緯度・経度の情報が現地に即している事。		
	AccuSEIS Omni内蔵時計がコマンド確認により常に正常な事。		
校正試験	即時校正動作が正常に実施できる事。(手動校正コマンド)		*波形添付
	校正レベルの値が基準値の±5%以内である事。 ※校正動作試験チェックシート参照		
	校正波形(正弦波)に大きなひずみがない事。		
	校正波形周波数が5Hz(振幅小)及び2.5Hz(振幅大)の±10%以内である事。(校正動作で得られたデータを再生しPCの画面で目視確認。)		
即時計測試験	即時計測動作が正常に実施できる事。(手動コマンド:30秒間)		*波形添付
	即時計測記録の値、波形が正常である事 (特に起動チャンネルは常時微動がトリガレベルを下回っている事、ノイズの混入等無い事。)		
リアルタイム記録、 及び後トリガ記録 作成	30分毎に連続記録ファイルが作成されている事。		*波形添付
	後トリガ記録作成が、正常に実施できる事。(600秒間)		
	作成した後トリガ記録の再生、印刷が可能である事。		

チェック：○正常、×異常(未処置)、△異常(復旧)、◎交換・補充、－実施せず

地震観測装置(AccuSEIS Omni) 点検調整チェックシート (2/3)

3. 無停電機能、電源関連

項目	判定基準	チェック	備考
システム受電状況	電源部入出力電圧が、AC100V±10%以内である事。		AC V
AccuSEIS Omni 内蔵バッテリー	ACオン接続時のバッテリー電圧 (DC 13.0~14.0V)		DC V
	AccuSEIS Omni からの受電電圧 (DC 13.0~14.0V)		DC V
	バッテリー単体の電圧 (DC 13.0~14.0V)		DC V
	停電開始10分後のバッテリー電圧 (DC 12.0~14.0V)		DC V
	停電復帰30分後のバッテリー電圧 (DC 13.0~14.0V)		DC V
無停電電源装置 の確認	5分間の停電試験を行い、正常に動作している事。		
	ファン風量が適当である事。(手をかざす)		
	ファンモーターに異音の無い事。		
	吹き出し口が異常に汚れていない事。		

4. システムコントローラ (含むソフトウェア)

項目	判定基準	チェック	備考
設定確認 2	設定確認表 2 を実施し確認すること。		
設定確認 3	設定確認表 3 を実施し確認すること。		
本体	OmniTerminalの操作が正常に行える事。		
	OmniTerminalによる手動通信が正常に行われ、手動通信フォームによる保存、消去、コマンド操作が正常に行える事。		
	OmniTerminal以外のTelnet、FTP等による、AccuSEIS Omniへのアクセス、ダウンロード、アップロードが可能な事。		
	AccuSEIS Omniの設定変更等が可能である事。		
	OmniViewによる波形再生、印刷が正常に行える事。		
	OmniTimeKeeperにより、PCの時刻が較正されている事。		
	UPSより設定された時刻でPCがシャットダウンする事。		

チェック： ○正常、×異常（未処置）、△異常（復旧）、◎交換・補充、－実施せず

地震観測装置(AccuSEIS Omni) 設置調整チェックシート (3/3)

5. 総合動作試験 (振動試験、もしくは発振器等による模擬起動動作を行う)

項目	判定基準	チェック	備考
AccuSEIS Omni	TRIGGER、RECORDランプが点灯する事。		*波形添付
	EVENTファイルが作成される事。		
	地震起動、震度情報等による接点動作が正常に行われる事。 (接点接続先で確認できる場合は、出力先でも確認する)		
	起動Chの擬似信号入力によるトリガレベル超えでの動作を確認する。		
OmniTerminal	システムコントローラでの設定した自動処理動作が正常に行なわれる事。		*印刷資料添付
OmniViewによる 確認	遅延時間が設定通りである事。		
	終了判定タイマーが設定通りである事。		
	記録波形が模擬試験動作と一致する事。		

6. 観測システムの最終確認

項目	判定基準	チェック	備考
コネクタ等の確認	確実に接続されている事。		
ネジ、端子の確認	確実に締められている事。		
設定の確認	OmniCheckログ、etc・log・logsaveフォルダを確認する事。		
調整後の設定確認	指示通りの設定になっている事。		

チェック： ○正常、×異常 (未処置)、△異常 (復旧)、◎交換・補充、－実施せず

地震観測装置(AccuSEIS Omni) 設定確認表(1/2)

地点名：

1. AccuSEIS Omni収録装置

記入日	令和 年 月 日
室内温度	℃

設定項目		設定値, 設定状態	備考, 補足
機器名		AccuSEIS	
L A N①	IPadr.		MACadr.
L A N②	IPadr.		MACadr.
収録チャンネル数			omniinfo
OmniVersion		Ver.	/etc/OMNIVERSION
リアルタイム記録領域総量(固定)			df (/dev/hda2)
イベントトリガ使用領域状況		/ MB	df (使用量/総量) 使用率 %
震度演算設定	1		intensity_ch.conf
	2		
	3		
チャンネル間論理式	起動		intertrig.conf(1-2, 2-2)
	終了		
トリガ判定チャンネル の起動, 終了判定 レベル (開始判定/終了判定)	Ch.	Gal/ Gal	基礎部監査廊 上下流方向
	Ch.	Gal/ Gal	基礎部監査廊 ダム軸方向
	Ch.	Gal/ Gal	基礎部監査廊 鉛直方向
	—		
イベントトリガ判定回数		回/ 秒間	katsutrig.conf(4, 5/100)
サンプリング周波数		Hz	omniinfo SAMPLE=
フィルタタイプ			omniinfo FILT_TYPE=
フィルタカットオフ周波数		Hz	omniinfo FILT_CUTOFF=
イベントトリガ時の遅延時間		秒	intertrig.conf(3-2)
イベントトリガ時のOFF判定時間		秒	katsutrin.conf(8)
イベントトリガ時の最大記録長		秒	intertrig.conf(3-1)
タイムアウト時間		秒	katsutrig.conf(6)
イベントトリガメモリ領域 100%時の記録作成動作			
自動校正モード設定			crontab 毎月1日2:20に校正実行
通報イベント設定			alert20,24
RS232Cポート接続			接続機器: 接点出力ユニット
GPS関連取得情報 (高度はアンテナ位置)	緯度		gpsinfo
	経度		
	高度		
	衛星数		
その他のオプション機能			

地震観測装置(AccuSEIS Omni) 設定確認表(2/2)

地点名： _____

2. システムコントローラ本体 (含むプリンタ)

設定項目	設定内容	備考
設置個所		
コントローラ機種 (PC)		
オペレーティングシステム		
ネットワークユーザー名		
パスワード		
ワークグループ名		
IPアドレス		
サブネットマスク		
デフォルトゲートウェイ		
起動時のスタートアップ設定		
焼き付け防止の処置		
プリンタ		
接続外部入出力装置		

3. ソフトウェア

設定項目	設定内容	備考
通信ソフトウェア	Omni Terminal Ver.	
波形再生ソフトウェア	Omni View Ver.	
時刻較正ソフトウェア	Omni Time Keeper Ver.	時刻チェック間隔： 分
通信ソフト起動時の設定		
通信地点設定		
ポート設定		
ソフトウェア保存フォルダ		
データ保存フォルダ		
波形印刷時指定ページチャンネル数		
自動保存設定		
最大値自動印刷設定		
波形自動印刷設定		
震度情報自動印刷設定		

4. 所見

検出器チェックシート1

検出器番号

設置箇所:

型番:

製造番号:

項目	判定基準	判定	備考
検出器本体	水平に設置されている事。		
	設置方向が正常である事(X+下流方向、Y+右岸方向)。		
	アンカーボルトにより固定されている事。		
	外観に錆、傷等のない事。		
光送受信器	無停電電源装置入力電圧がAC100V±10%以内であること。		AC V
	無停電電源装置出力電圧がAC100V±10%以内であること。		AC V
	DC電源出力(15V)が正常であること。		DC V
	DC電源出力(5V)が正常であること。		DC V
	3分間の停電試験を行い、問題がないこと。		
	停電時にDC電源出力が変動しないこと。		
保護カバー (地表型のみ)	アンカーボルトにより固定されている事。		
	検出器、ケーブル、結束部を圧迫していない事。		
	外観に錆、傷等のない事。		

チェック: ○正常、×:異常(修正等要)、チェック内容斜線:設備無し

検出器チェックシート2

検出器設置場所	検出器No.	測定方向	Ch.	PST	設置時 平成 年 月 日		前回点検時 平成 年 月 日		今回点検時 令和 年 月 日		備考	
					コイル抵抗 (Ω)	絶縁抵抗 (Ω)	コイル抵抗 (Ω)	絶縁抵抗 (Ω)	コイル抵抗 (Ω)	絶縁抵抗 (Ω)		
	1	X 上下流方向		P								
				S								
				T								
	2	Y ダム軸方向		P								
				S								
				T								
	3	Z 鉛直方向		P								
				S								
				T								
4	X 上下流方向		P									
			S									
			T									
5	Y ダム軸方向		P									
			S									
			T									
6	Z 鉛直方向		P									
			S									
			T									
					コイル抵抗判定基準		正常:出荷時の値の±20%以内		× 不可:正常値範囲外			
					絶縁抵抗判定基準		正常:20MΩ以上		△ 絶縁低下:1MΩ以上		× 不可:1MΩ未満	
					その他記号		＼ チェック実施せず		◎ 正常復帰(備考欄参照)		∞ 20MΩ以上	

検出器チェックシート2

検出器設置場所	検出器No.	測定方向	Ch.	PST	設置時 平成		前回点検時 平成		今回点検時 令和		備考	
					コイル抵抗 (Ω)	絶縁抵抗 (Ω)	コイル抵抗 (Ω)	絶縁抵抗 (Ω)	コイル抵抗 (Ω)	絶縁抵抗 (Ω)		
	7	X 上下流方向		P								
				S								
				T								
	8	Y ダム軸方向		P								
				S								
				T								
	9	Z 鉛直方向		P								
				S								
				T								
10	X 上下流方向		P									
			S									
			T									
11	Y ダム軸方向		P									
			S									
			T									
12	Z 鉛直方向		P									
			S									
			T									
コイル抵抗判定基準					○ 正常:出荷時の値の±20%以内	× 不可:正常値範囲外						
絶縁抵抗判定基準					○ 正常:20MΩ以上	△ 絶縁低下:1MΩ以上	× 不可:1MΩ未満					
その他記号					∖ チェック実施せず	◎ 正常復帰(備考欄参照)	∞ 20MΩ以上					

検出器チェックシート2

検出器設置場所	検出器No.	測定方向	Ch.	PST	設置時 平成		前回点検時 平成		今回点検時 令和		備考	
					コイル抵抗 (Ω)	絶縁抵抗 (Ω)	コイル抵抗 (Ω)	絶縁抵抗 (Ω)	コイル抵抗 (Ω)	絶縁抵抗 (Ω)		
	13	X 上下流方向		P								
				S								
				T								
	14	Y ダム軸方向		P								
				S								
				T								
	15	Z 鉛直方向		P								
				S								
				T								
16	X 上下流方向		P									
			S									
			T									
17	Y ダム軸方向		P									
			S									
			T									
18	Z 鉛直方向		P									
			S									
			T									
コイル抵抗判定基準					○ 正常:出荷時の値の±20%以内	×	不可:正常値範囲外					
絶縁抵抗判定基準					○ 正常:20M Ω 以上	△ 絶縁低下:1M Ω 以上	×	不可:1M Ω 未満				
その他記号					／ チェック実施せず	◎ 正常復帰(備考欄参照)	∞	20M Ω 以上				

<小田ダム用>

強震計測装置 SM-27
現地調整及び点検報告書

設置個所:

令和 年 月 日実施

設置場所:

強震計測装置	型式: SM-27	製造番号 No.	感震器設置場所
感震器1	型式:	製造番号 No.	()
感震器2	型式:	製造番号 No.	()
感震器3	型式:	製造番号 No.	()
感震器4	型式:	製造番号 No.	()
感震器5	型式:	製造番号 No.	()
感震器6	型式:	製造番号 No.	()

システムバージョン Ver. _____ プリンター 有 無 型式: _____

DSPバージョン Ver. _____ 外部表示器 有 無 型式: _____

モデム 有 無 型式: _____

1.感震器(外観、据付状況、観測方向)

- 1-1.損傷ないこと
- 1-2.ボルトの緩みがないこと
- 1-3.水平に設置されていること
- 1-4.保護カバーが正しく設置されていること
- 1-5.観測方向が正しく設置されていること

	感震器1	感震器2	感震器3	感震器4	感震器5	感震器6
1-1						
1-2						
1-3						
1-4						
1-5						
+X方向						
+Y方向						

2.強震計測装置 状況確認

2-1.電源電圧測定

- a) 電源電圧 AC100V±10V _____ V
- b) 感震器供給電圧 DC13V±2V _____ V

2-2.プリンター及び、記録紙

- a) 記録紙への印刷が明瞭に読み取れる
- b) 紙送りが正常に行われる
- c) ハードコピーができる

2-3.液晶表示部

- a) 画面の表示内容及び、タッチパネル動作が正常

2-4.GPS受信確認

- a) 液晶画面にパラボラアンテナマークが表示している 衛星取得数 _____
 (1つの場合 2つの場合 3つの場合 4つ以上の場合)

2-5.カード記録数及びデータバックアップ

- a) 残り記録可能数 約 _____ 分
- b) カード1及び2データを保存する

判定印は、次ページ以降にも適応し本表示を省略する チェック→良:○、否:×、除外:—

3.強震計測装置 設定条件確認

3-1.設定条件

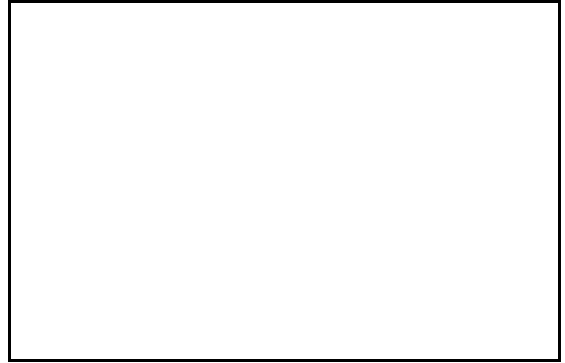
- a) プリンターで印刷し次ページに添付する
- b) プリンターで印刷出来ない場合、書き写し別紙に添付する

--	--	--

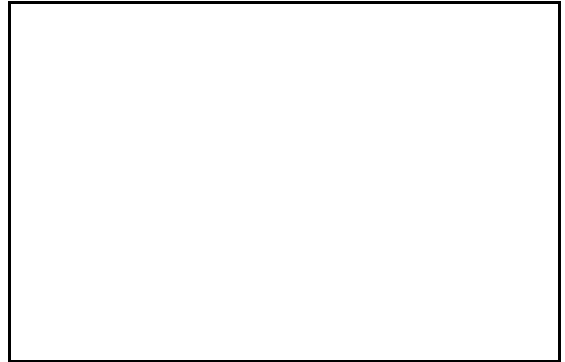
3-2.地震データ

- a) 記録されている地震記録を印刷する。
- b) 最新の地震データ波形を印刷する。

地震記録



最新の地震データ波形



3-3.故障データ

- a) 記録されている故障データを印刷する。

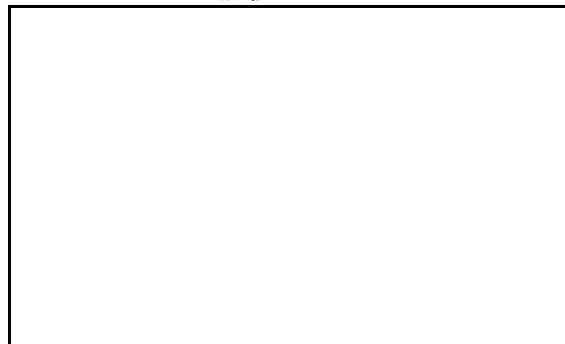
故障データ



3-4.点検データ

- a) 記録されている点検データを印刷する。

点検データ



4.強震計測装置 動作試験

4-1.セルフテスト

- a) エラーが発生しないことを確認する
- b) プリンターで印刷し次ページに添付する
- c) リスト印刷し、下記に添付する

4-2.センサーテスト

- a) 異常なく、画面に【OK】が表示されることを確認
- b) プリンターで印刷し次ページに添付する
(セルフテスト画面でオフセットキャンセルが終了していることを確認する。)

4-3.手動起動テスト

- a) 正常に起動すること
- b) 波形に問題のないことを確認する
- c) プリンターで印刷し次ページに添付する

4-4.加振試験

- a) 感震器を手動で揺すり、地震として感知すること
- b) 波形に問題のないことを確認する
- c) プリンターで印刷し次ページに添付する

4-5.故障検出テスト

4-5-1.停電

- a) 【軽故障あり】を表示すること
- b) 故障ランプが点灯すること
- c) プリンターで印刷し、下記に添付する
- d) 停電状態を3分間維持し、重故障が発生しないことを確認
- e) 3分後に設定条件を印刷し、停電保証用電池電圧が11.6V以上であることを確認

_____ V

--

4-5-2.復電

- a) 【軽故障あり】の表示が消えること
- b) 故障ランプが消灯すること
- c) プリンターで印刷し、下記に添付する

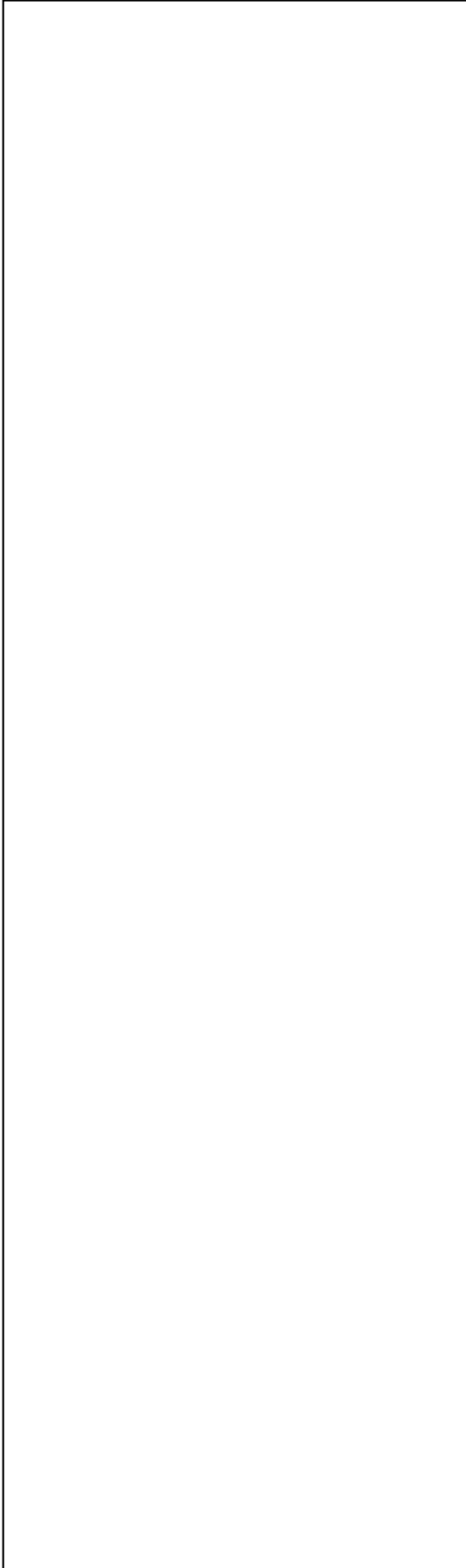
セルフテスト

--


セルフテスト(リスト印刷)

--

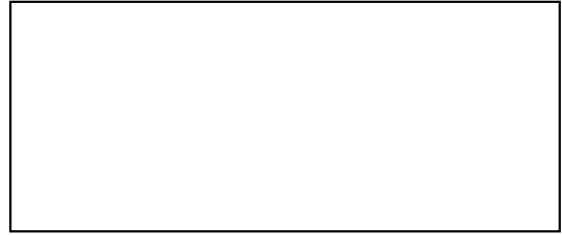
センサーテスト



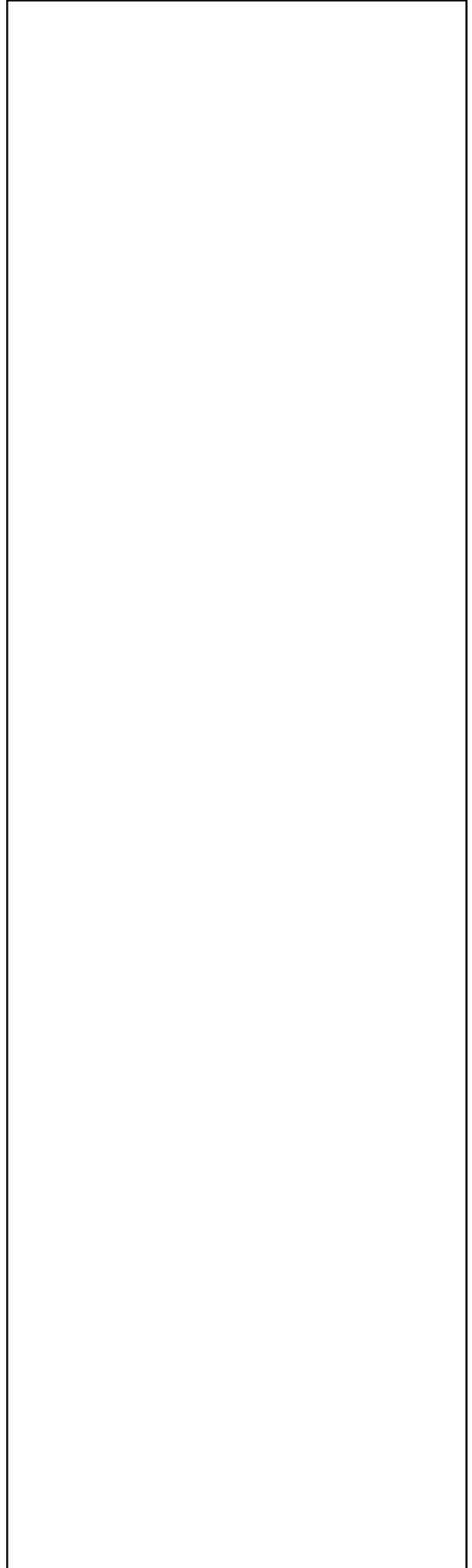
故障検出テスト
停電



復電



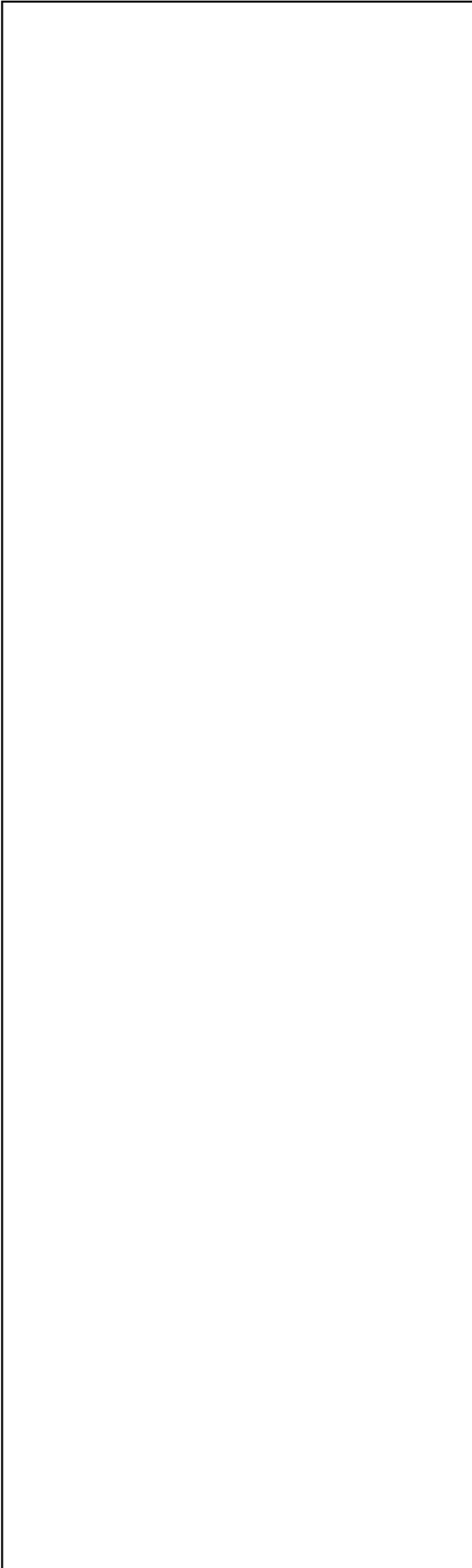
手動起動



加振試験結果



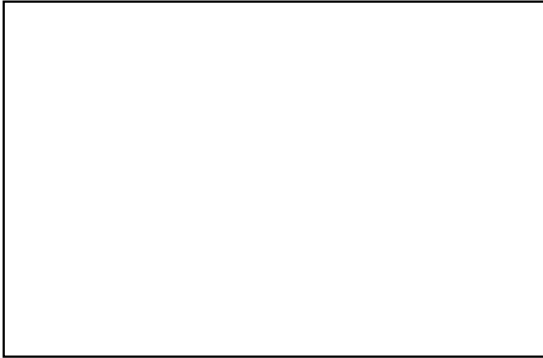
加振試験



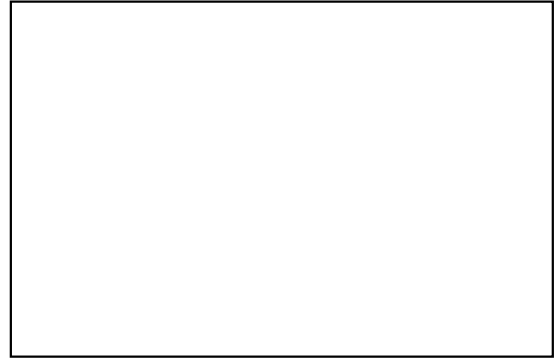
加振試験 記録データ

記録データ

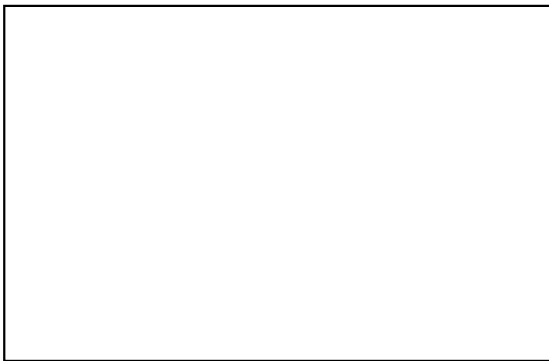
感震器1 記録データ



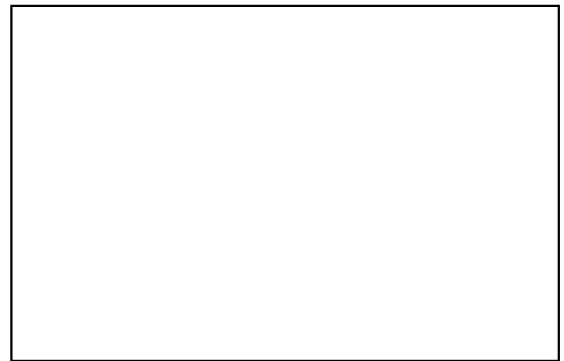
感震器4 記録データ



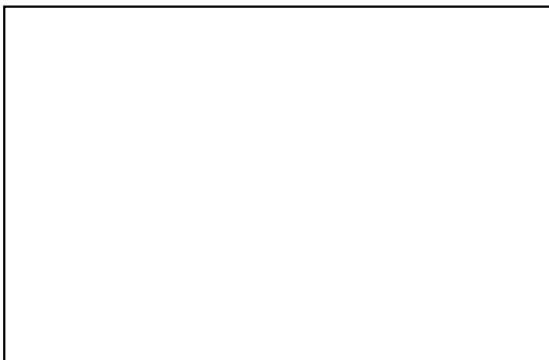
感震器2 記録データ



感震器5 記録データ



感震器3 記録データ



感震器6 記録データ



5.強震計測装置 設定条件の再設定

- a) システム全体初期化を行う
- b) 管理番号の初期化を行う
- c) 設定条件の再設定を行う
- d) 設定条件をプリンターで印刷する

--	--	--

6.強震計測装置 地震待機中状態確認

- a) 待機中画面になっていること
- b) パラボラアンテナマークが表示されていること
- c) 残り記録可能数
- d) 現在時刻が表示されていること
- e) 液晶のバックライトが消灯すること
- f) 動作中ランプのみが点灯すること

約 _____ 分

特記事項

その他備品及び消耗品

- ・停電補償用電池(3年周期) 電池交換: 継続・交換
 最終交換実施日: 平成 _____ 年 _____ 月
 次回交換予定 : 令和 _____ 年 _____ 月
- ・記録紙 残 : _____ 巻 納品 : _____ 巻 計 : _____ 巻
- ・ICカード 装着品 : _____ 枚 予備 : _____ 枚

設置年月日: 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 前回点検日: 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 現地調整日: 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 報告書作成日: 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 担当: _____